



G8 LABOUR AND
EMPLOYMENT MINISTERS
MEETING 2008 NIIGATA
にいがた2008
労働大臣会合開催の記録



本編			
はじめに			
ごあいさつ	厚生労働大臣 舩添 要一	5	
ごあいさつ	にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会最高顧問 新潟県知事 泉田 裕彦	7	
ごあいさつ	にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会会長 新潟市長 篠田 昭	8	
第 1 章 G8 労働大臣会合の概要			
① 開催日及び会場		11	
② 会合日程		11	
③ 各国・機関の参加者		13	
④ 主議題		14	
⑤ 議長総括のポイント		14	
⑥ 新潟宣言 (全文)		14	
第 2 章 G8 労働大臣会合の開催			
1 会合日程			
5 月 11 日 (日)		17	
① 到着・レジストレーション		17	
② ソーシャルパートナーとの対話		18	
③ 政労使記者会見		19	
④ バイ会談等		20	
⑤ 歓迎行事		21	
⑥ 産業視察		27	
⑦ 厚生労働大臣主催レセプション・夕食会		29	
5 月 12 日 (月)		31	
① G8 労働大臣会合		31	
② 写真撮影		33	
③ コーヒーブレイク		34	
④ 昼食会		35	
⑤ 産業実演		36	
⑥ 日本文化鑑賞		39	
⑦ 新潟県・新潟市主催レセプション		43	
5 月 13 日 (火)		47	
① 共同記者会見		47	
② 水上バスでの移動		48	
③ 写真撮影		48	
④ 昼食会		49	
⑤ 出発		50	
2 会場の様子		51	
3 支援ボランティアの活躍		53	
4 各国・機関代表団から新潟へのメッセージ		55	
5 開催の支援		57	
① 会場装飾		57	
② 参加者への記念品		63	
③ 花のおもてなし		64	
④ 果物のおもてなし		66	
⑤ 同伴者・アウトリーチの視察		67	
第 3 章 G8 労働大臣会合開催までのあゆみ			
1 誘致の取り組み		71	
① 記者発表		71	
② にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会		72	
③ 国への要望		72	
④ 機運醸成の主な取り組み		73	
⑤ 政府視察の受け入れ		74	
2 開催までの取り組み		75	
① にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会の活動		75	
② 支援ボランティア・活動協力職員の募集と活動準備		76	
③ 各国大使らの視察受け入れ		80	
④ 歩行者用サイン整備 (外国語併記)		86	
⑤ 英語版街歩き支援マップの作成と配布		86	
⑥ クリーンアップキャンペーン		87	
3 広報・PR		89	
① イベントでの PR		89	
② プレスツアーの実施		90	
③ G8 労働大臣会合準備会合での新潟 PR		91	
④ ジュニア労働サミットの開催		92	
⑤ メディア・ミックス広報活動		94	
⑥ 県・市民企画の支援		98	
⑦ 国際理解教材の作成と配布		100	
⑧ サミット給食		101	
4 協議会構成団体による活動		102	
① 労働団体の取り組み		102	

資料編

第 1 章 G8 労働大臣会合開催までのあゆみ	
1 誘致の取り組み	105
① 記者発表	105
② にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会	105
③ 誘致の体制	105
④ 誘致活動	106
⑤ 過去の開催地への視察	106
⑥ 支援決議とアピール	107
⑦ 開催計画提案書の作成	108
⑧ 政府視察の受け入れ	108
⑨ 機運醸成の主な取り組み	108
2 開催までの取り組み	111
① にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会の活動	111
② 支援ボランティア・活動協力職員の募集と活動準備	113
③ 各国大使らの視察受け入れ	116
④ 宿泊・輸送	119
⑤ 地元対応	120
⑥ 歩行者用サイン整備（外国語併記）	121
⑦ 英語版街歩き支援マップの作成と配布	122
⑧ クリーンアップキャンペーン	123
⑨ 防犯・防火対応	124
⑩ 工事調整	125
⑪ 危機管理	126
3 広報・PR	127
① イベントでの PR	127
② プレスツアーの実施	128
③ G8 労働大臣会合準備会合での新潟 PR	129
④ ジュニア労働サミットの開催	130
⑤ メディア・ミックス広報活動	133
⑥ プレスリリース	136
⑦ 県・市民企画の支援	139
⑧ 国際理解教材の作成と配布	141
⑨ サミット給食	142
4 協議会構成団体による活動	143
① 労働団体の取り組み	143
第 2 章 G8 労働大臣会合の開催	
1 会合日程	146
5 月 11 日（日）	146
① 到着	146
② レジストレーション	146
③ ソーシャルパートナーとの対話	146
④ 政労使記者会見	147
⑤ バイ会談等	148
⑥ 歓迎行事	149

⑦ 産業視察	151
⑧ 厚生労働大臣主催レセプション・夕食会	152
5 月 12 日（月）	153
① G8 労働大臣会合	153
② 写真撮影	154
③ コーヒーブレイク	154
④ 昼食会	155
⑤ 産業実演	155
⑥ 日本文化鑑賞	157
⑦ 新潟県・新潟市主催レセプション	161
5 月 13 日（火）	164
① 共同記者会見	164
② 水上バスでの移動	164
③ 写真撮影	165
④ 昼食会	165
⑤ 出発	166
2 開催の支援	167
① 会合当日の運営体制	167
② 会場装飾	171
③ 参加者への記念品	179
④ コングレスバッグ・プレスキットの準備	180
⑤ 同伴者・アウトリーチの視察	181
⑥ 報道機関への対応	183
⑦ 花のおもてなし	185
⑧ 果物のおもてなし	186
⑨ その他	187
第 3 章 G8 労働大臣会合開催後の活動	
1 G8 労相会合展	190
2 パネル写真展	190
第 4 章 参考資料	
1 主議題と議長総括	192
2 2008 年サミットと各閣僚会合・関連国際会議の開催地	196
3 会合参加者数	197
4 にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会	
① にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会設立趣意書	198
② にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会規約	198
③ にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会名簿	199
④ にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会事務局規程	201
⑤ 事務局	203
⑥ 予算	205
⑦ 協議会のあゆみ	207

● ごあいさつ



厚生労働大臣 舩添 要一

平成9年（1997年）の神戸会合以来、11年ぶりに我が国での開催となったG8労働大臣会合は、地元新潟の県・市をはじめ多くの関係者の皆様方のご協力により、成功裏に終えることができました。

今回のG8労働大臣会合では、「澁淵（はつらつ）とした持続可能な社会の実現に向けたベストバランスを求めて」を主議題として、労働者一人ひとりに着目し、仕事と生活の調和を図ることのできる社会の促進や、労働弱者・地域間格差の是正に対応した労働政策の遂行の必要性を確認しました。また、同会合でははじめて地球環境問題、とりわけ気候変動に関係する雇用・社会的課題について議論を行い、こうした課題に政府、労働者、使用者が互いに協力して対処することが重要であるとして、「新潟宣言」を発表いたしました。今会合でまとめられた合意事項は、G8労働・雇用大臣共通の決意として、国際的な協調を図りながら、我が国でも必要な政策を進めてまいりたいと考えております。

今会合は、新潟市の朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）において、3日間にわたり開催いたしました。その間には地元主催の歓迎行事や地元産業の見学なども行われ、参加した各国の代表団の方々から会合における新潟の「おもてなし」に対して賞賛の声を多数いただきました。新潟の皆様方には、準備段階から会合本番まで多大なご尽力をいただき、また、地域の魅力が様々なかたちで世界に発信され、会合参加者全ての心に開催地「新潟」が強く印象に残る会合となったことと思います。G8労働大臣会合の開催を温かく迎えてくださったことに心より御礼申し上げますとともに、国際都市「新潟」としての今後ますますのご発展を期待いたします。

コラム

G8労働大臣会合のロゴマーク



赤い円は日本海に輝く太陽、青い波は新潟から臨む日本海、緑の波は新潟平野の田園風景をイメージし、G8労働大臣会合開催地“NIIGATA”を表すとともに、すべての働く人々の幸せを目指し、豊かな勤労者生活(赤)と持続的な社会と地球環境の調和(青と緑の波)というメッセージを表現しています。

● ごあいさつ



にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会 最高顧問

新潟県知事 **泉田 裕彦**

2008 年 5 月 11 日から 13 日まで、朱鷺メッセを会場に開催された本県初の閣僚級国際会議「G8 労働大臣会合」を、成功裏に終了することができました。

会合の最終日には、「格差解消に向けた G8 労働・雇用大臣の決意」として議長総括が取りまとめられ、環境に優しい働き方を促進するとの「新潟宣言」が盛り込まれました。G8 の枠組みでは初めて働き方と環境の問題が取り上げられ、「新潟宣言」という形で取りまとめられたことは評価すべきことであり、また大変意義深いものと考えております。

代表団からは、これで「新潟」という名前が世界で広く認知されるとの励ましをいただきました。この新潟という地域が世界に開かれていくことにより、多くの人に目的地として新潟を考えていただくきっかけになり、次につながっていくことを期待しております。

伝統文化や県産食材など工夫を凝らした新潟ならではのおもてなしに、各国代表団からは大変好評をいただきました。短い期間ではありましたが、今回初めて新潟を訪れた方々にも新潟らしさを十分に感じていただけたものと思います。

この会合を通じて、世界の閣僚級の国際会議を開催する能力の高さが示され、「世界に通じるものづくりの技術」、「四季折々の自然に彩られた観光資源」、「新鮮でおいしい食材をいかした食文化」など新潟の誇る魅力を世界にアピールできたのではないかと思います。

G8 労働大臣会合の開催で得られた経験・実績を資産として、今後の国際コンベンション等の誘致につなげ、新潟の拠点性を高めることにより、交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげるとともに、北東アジアのゲートウェイ、表玄関化に向けた取組を進めてまいりたいと考えております。

最後に、G8 労働大臣会合の開催にあたり、多大なる御支援・御協力をいただきました厚生労働省、協議会の構成団体など関係者の皆様をはじめ、会合受入に御理解・御協力をいただきました県民の皆様に対して、あらためて心より感謝申し上げます。

● ごあいさつ



にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会 会長

新潟市長 **篠田 昭**

2008 年サミットの関係閣僚会合として、「G8 労働大臣会合」が平成 20 年 5 月 11 日から 13 日までの 3 日間にわたり本市で開催されました。

会合では、生活・賃金水準や格差の解消が世界的な課題であることが示され、「格差解消に向けた G8 労働・雇用大臣の決意」として議長総括が発表されました。

また、「環境問題に対応した労働政策の遂行」が G8 の枠組みでは初めて取り上げられ、議長総括の中に、成長、雇用、生産性及び環境問題の相互のバランスに着目した『新潟宣言』が盛り込まれました。

環境に配慮した働き方は、私たちの生き方の基本となるものであり、この原則をうたった宣言に「新潟」の名が冠されたことは、私たちにとっても画期的なことを考えております。

行事での案内役をはじめとして、各国・機関代表団らの活動を支えてくださった市民ボランティアの皆さま、クリーンアップ活動や、防犯・防火の取り組みを進めていただいた市民の皆さまのお力で、参加者からは「美しいまち」、「最高のホスピタリティ」との賛辞をいただきました。

また、会場周辺への自動車乗り入れ自粛の呼びかけに対して、多くの皆さまからご協力いただき、円滑に会合が運営されました。

舛添厚生労働大臣が、記者会見において「新潟が国際都市として発展することを確信する」と言葉を締めくくられたことは、新潟の都市機能、魅力、そして地元の取り組みに高い評価をいただいたものと考えています。

本誌は、G8 労働大臣会合にあたり、当協議会が取り組んだ活動を中心に取りまとめたものです。今後の国際会議の誘致や運営の一助になれば幸いです。

横浜市と共同で行った開港都市サミット誘致の発表から約 2 年間の取り組みの中で、厚生労働省をはじめ本協議会の構成団体、県民・市民の皆さまからいただいたご理解とご協力に対し、感謝を申し上げます。

CHAPTER
1

第1章 G8労働大臣会合の概要

Summary of the G8 Labour and Employment Ministers Meeting

1. 略称・語句説明

- 会 合：G8労働大臣会合
協 議 会：にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会
活 動 協 力 職 員：G8労働大臣会合活動協力職員
支 援 ボ ラ ン テ ィ ア：G8労働大臣会合支援ボランティア
朱 鷺 メ ッ セ：新潟コンベンションセンター
リ ヅ ー と び あ：新潟市民芸術文化会館
み な と び あ：新潟市歴史博物館
リ エ ソ ン：各国・機関代表団に帯同する厚生労働省職員のこと。
各国・機関代表団の日本での活動の補助を行います。
レ ジ ス ト レ ー シ ョ ン：会議の参加登録手続きのこと
バ イ 会 談：二国間会談のこと

2. 基準時点

本誌の記述は、原則として、平成20年5月11日時点のものです。

1 開催日及び会場

■開催時期：平成 20 年 5 月 11 日(日) ～ 13 日(火)

■会場：朱鷺メッセ



朱鷺メッセ

2 会合日程

月 日	プログラム	会 場
5 月 11 日 (日)	ソーシャルパートナーとの対話	朱鷺メッセ 2 階スノーホール
	歓迎行事	北方文化博物館
	産業視察	亀田製菓(株)本社工場
5 月 12 日 (月)	厚生労働大臣主催レセプション・夕食会	ホテル日航新潟
	G8 労働大臣会合セッション 1	朱鷺メッセ 4 階マリンホール
	昼食会	ホテル日航新潟
	産業実演及び展示見学	朱鷺メッセ 2 階エスプラナード・アトリウム
	G8 労働大臣会合セッション 2	朱鷺メッセ 4 階マリンホール
5 月 13 日 (火)	日本文化鑑賞	リューとぴあ
	新潟県・新潟市主催レセプション	行形亭
	G8労働大臣会合セッション3・総括討議	朱鷺メッセ 4 階マリンホール
	共同記者会見	朱鷺メッセ 2 階スノーホール
	写真撮影	みなとぴあ
	昼食会	ぼるとカーブドッチ

※太字部分は、協議会が関与したプログラム

会場関係施設位置図



コラム サミットとは

G8 及び EU の首脳が集う「主要国首脳会議」がサミットと呼ばれています。首脳会合の前に開催される各閣僚会合を含めた全体をサミットと呼ぶ場合もあり、2008 年の北海道洞爺湖サミットでは、全国で 10 の関連会合が開催されました。

首脳会合に参加する 8 カ国は、G8=Group of 8 と呼ばれています。現在のメンバーは、日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシアの 8 カ国です。サミットは現在、この 8 カ国の持ち回りで開催されています。

サミットは、主要国の首脳同士が一つのテーブルを囲みながら、非公式かつ自由な意見交換を通じ、国際社会が直面する様々な課題を解決していくひとつの仕組みです。

3 各国・機関の参加者

参加国・機関	代 表
日 本	舩添厚生労働大臣
カ ナ ダ	シャレット人材資源・社会開発省次官
フ ラ ンス	ド・ロビアン社会連帯担当大使
ド イ ツ	ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官
イ タ リ ア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
ロ シ ア	サフォノフ保健社会発展省次官
イ ギ リ ス	ティムズ雇用・福祉改革担当閣外大臣
ア メ リ カ	ラズリー労働副長官
E U	シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
I L O	ソマビア事務局長
O E C D	グリア事務総長
インドネシア	スバルノ労働・移住大臣
タイ	ウライワン労働大臣
日 本	上川内閣府特命担当大臣（少子化対策・男女共同参画）

※インドネシア及びタイはアウトリーチ（招待）国として参加



会議開始前、EU 代表団と歓談する舩添大臣



ソマビア事務局長 (ILO) (左)らと挨拶を交わす泉田知事と篠田市長



朱鷺メッセ4階マリナーホール

4 主議題

「澁淵（はつらつ）とした持続可能な社会の実現に向けたベストバランスを求めて」

5 議長総括のポイント

- ・「格差解消に向けたG8労働・雇用大臣の決意」として発表されました。
- ・「環境問題に対応した労働政策の遂行」がG8の枠組みでは初めて取り上げられました。
- ・議長総括の中に、成長、雇用、生産性及び環境問題の相互のバランスに着目した「新潟宣言」が盛り込まれています。

6 新潟宣言（全文）

政府、使用者、労働者は成長、雇用、生産性及び環境問題の相互のバランスをとるために協力する必要がある。職場レベルの社会対話、社会協力はこの目的に向けた重要な寄与となる。この活動を促進することが、我々の「新潟宣言」である。



ソマビア事務局長 (ILO)
(右から2人目)

議長を務める舩添大臣



サフォノフ次官(ロシア)



シャレット次官(カナダ)とド・ロビアン大使(フランス) (奥左から2、3人目)



CHAPTER
2

第2章
G8労働大臣会合の開催
Holding of the G8 Labour and Employment Ministers Meeting

5/11 SUN

G8労働大臣会合 | 1日目

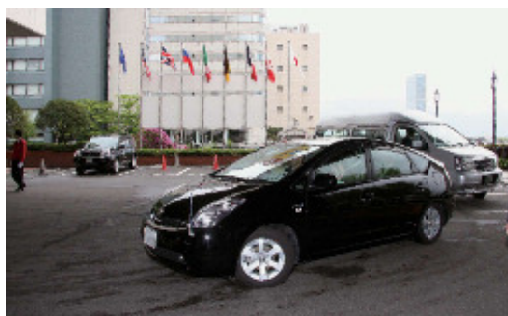
 気 温 : 11.9℃
 風 速 : 2.7 (m/s)
 天気概況 : 昼 | 曇り一時雨のち晴れ 夜 | 晴れ

1 到着・レジストレーション

 日時 : 平成 20 年 5 月 10 日 (土) 12 : 00 ~ 20 : 00
 11 日 (日) 8 : 00 ~ 13 : 00

場所 : ホテルオークラ新潟

新潟駅や新潟空港に到着した各国・機関代表団は、厚生労働省が設置したレジストレーションデスクで登録手続きを行い、ID やレセプションの招待状などを受け取りました。



国旗が各国・機関代表団の到着を歓迎



レジストレーションデスク

2 ソーシャルパートナーとの対話

日時 : 平成 20 年 5 月 11 日 (日) 14 : 00 ~ 16 : 00 場所 : 朱鷺メッセ 2 階スノーホール B

本会合に先立ち、各国・機関代表とソーシャルパートナー（国際的労使団体）との対話が行われました。



各国・機関代表とソーシャルパートナーとが、格差問題等について協議した



発言する高木連合会長(中央)

3 政労使記者会見

日時：平成 20 年 5 月 11 日(日) 16:30 ~ 17:00 場所：ホテル日航新潟 4 階クリスタルホール

厚生労働省、ソーシャルパートナーの代表らによる記者会見が行われました。



厚生労働省松井総括審議官を中央に使用者団体、労働者団体の代表らが着席した



記者会見を行う厚生労働省、労働者団体、使用者団体代表ら

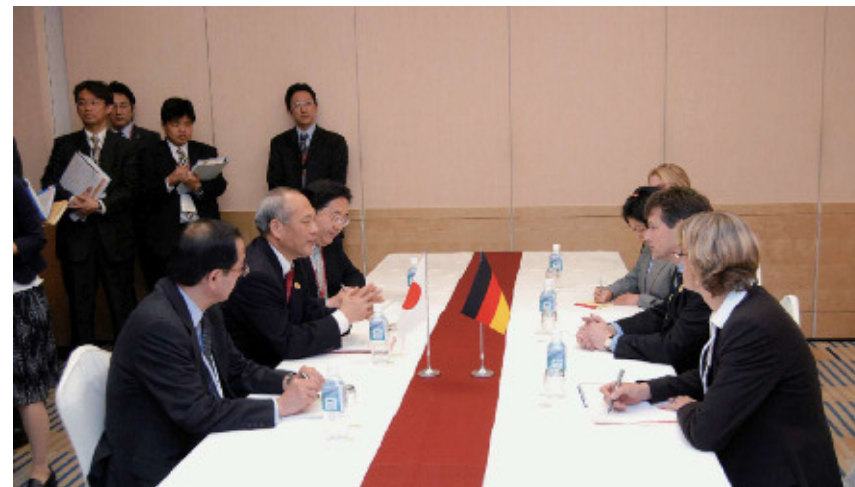


4 バイ会談等

開催日：平成 20 年 5 月 11 日(日) ~ 13 日(火)

場所：朱鷺メッセ、ホテル日航新潟

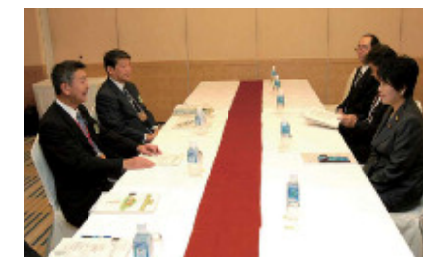
会議や行事の合間に、各国・機関代表によるバイ会談等が行われました。



舛添大臣とヴァッサーヘーヴェル次官(ドイツ)との会談



上川大臣と泉田知事との懇談



上川大臣と篠田市長との懇談



5 歓迎行事

日時：平成 20 年 5 月 11 日(日) 16:45 ~ 18:00

場所：北方文化博物館

豪農文化を今に伝える北方文化博物館で、泉田知事と篠田市長が各国・機関代表らを迎え、歓迎行事が催されました。



各国・機関代表らの到着を待ちながら、雨の上がった空を見上げる泉田知事、篠田市長と北方文化博物館の伊藤館長



歓迎行事のホストとして、泉田知事、篠田市長とともに各国・機関代表らを迎える伊藤館長（右はグリア事務総長 (OECD)）



到着後、舩添大臣を先頭に、正門から泉田知事、篠田市長、伊藤館長が待つ大門へ向かう各国・機関代表ら





琴と尺八の演奏と点茶・呈茶で各国・機関代表らをおもてなし

見ごろを迎えた満開の藤棚を抜けて、地元の沢海集落の人々が迎える西門広場へ移動



沢海集落の人々による餅つきの披露とつきたての餅の振る舞い



鳶有志による梯子乗りの披露



餅つきと餅の振る舞いで、各国・機関代表らをもてなした沢海集落の人々



子どもたちによる樽砦で各国・機関代表らを見送り



握手で子どもたちを称える各国・機関代表ら



演奏終了後、子どもたちに歩み寄る舩添大臣



各国・機関代表らが乗る車列を見送る泉田知事、篠田市長ら



6 産業視察

日時：平成 20 年 5 月 11 日(日) 18:15 ~ 19:15

場所：亀田製菓(株)

各国・機関代表らは、亀田製菓(株)を訪問しました。米菓の生産工程の見学が行われ、厳重な品質管理などに関心が寄せられました。



各国・機関代表らの到着を取材するために準備する報道関係者



燃料電池バスで各国・機関代表らが到着



柿の種の生産工程を見学し、できたての米菓の美味しさも堪能



関係者を交えて各国・機関代表らが記念撮影



サッカーJ1アルビレックス新潟のユニホームをプレゼント



終了後、視察を受け入れた関係者への取材が行われた

7 厚生労働大臣主催レセプション・夕食会

日時：平成20年5月11日(日) 19:45～21:45 会場：ホテル日航新潟4階朱鷺

会合会場(朱鷺メッセ)に隣接するホテル日航新潟で、舩添厚生労働大臣主催のレセプションと夕食会が行われました。



新潟県着物の女王に迎えらるる参加者



レセプション会場正面の設え



主催者挨拶をする舩添大臣

乾杯のスピーチをする
シュビドラ委員(EU)

乾杯する舩添大臣ら

新潟県着物の女王から記念品を受け取る
シュビドラ委員(EU)

5/12 MON

G8 労働大臣会合 | 2日目

 気 温：12.3℃
 風 速：4 (m/s)
 天気概況：昼 | 晴れのち曇り 夜 | 曇りのち時々晴

1 G8 労働大臣会合

開催日：平成 20 年 5 月 12 日(月) ~ 13 日(火)

場所：朱鷺メッセ 4 階マリンホール

舩添厚生労働大臣が議長を務め、会合が進められました。



会議テーブルの中央に、新潟県をかたどった装花が置かれた



議長を務めた舩添大臣。右隣は上川大臣。



シャレット次官(カナダ) (中央)、ド・ロビアン大使(フランス) (右)



同時通訳装置のレシーバーのチャンネル表示板



議長席側からの様子。6つの同時通訳ブースが全て使われ、報道関係者は後方で取材を行った。

2 写真撮影

日時：平成 20 年 5 月 12 日(月) 12:30 ~ 12:40 場所：朱鷺メッセ 4 階マリンホール

セッション 1 終了後、会議場で写真撮影が行われました。



セッション 1 に参加した各国・機関代表

3 コーヒーブレイク

日時：平成 20 年 5 月 12 日(月) ~ 13 日(火)

場所：朱鷺メッセ 4 階ホワイエ

コーヒーブレイクでは、飲み物とともに、新潟のパティシエが作った洋菓子が用意されました。



コーヒーブレイクのエリア



会合参加者は飲み物や洋菓子を自由に取って楽しんだ



パティシエと談笑する舩添大臣



テーブルには様々な洋菓子が並べられた



色とりどりの洋菓子を前に、笑顔を見せるド・ロビアン大使(フランス) (右端)



飲み物と洋菓子を手に談笑する会合参加者

4 昼食会

日時：平成20年5月12日(月) 12:40～14:00

場所：ホテル日航新潟 3階桃李

セッション1終了後に、各国・機関代表が参加する昼食会が行われました。



昼食会の様子

5 産業実演

日時：平成20年5月12日(月) 14:05～14:35

場所：朱鷺メッセ2階アトリウム

本県産業の基礎となった伝統的技術(鍮起銅器(玉川堂)、曲げ物(足立茂久商店))を2人の職人が披露。江戸時代から続く見事な技に、見学者からは大きな拍手が送られました。この後、各国・機関代表らは会場内に展示した県内製品を見学しました。



日英併記のパネルで実演者を紹介



玉川洋基氏(玉川堂)が銅を叩き、アトリウムに金属音を響かせると、見学者が着席し始めた



実演の開始。活動協力職員が英語で進行。



初めに、足立一久氏(足立茂久商店)が実演。製品や材料を展示し、仕事場の雰囲気再現。



製作工程説明用のサンプルを前に並び、銅の平板から湯沸しを完成させる鑄起銅器の技術を説明



サンプル



玉川氏の製品に触れる見学者



実演の傍らでは、大風や錦鯉が飾られ和の雰囲気盛り上げた



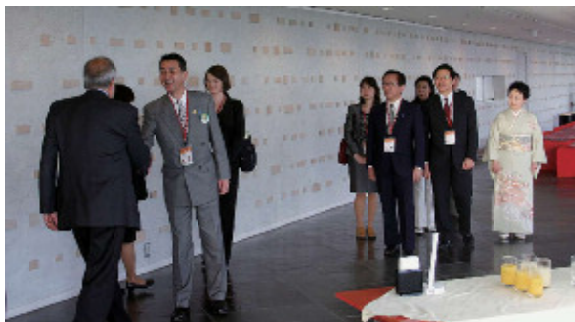
足立氏の製品を手にとって眺めるラズリー労働副長官(アメリカ)


6 日本文化鑑賞

日時：平成20年5月12日(月) 17:30～19:00

場所：リ्यूとびあ

リ्यूとびあ能楽堂で日本を代表する文化の一つである能が上演されました。



6階展望ラウンジに到着した各国・機関代表らに、ウェルカムドリンクが用意された

能楽や演目「船弁慶」について、
実演を交えながら説明する能楽師の観世芳伸氏

笑顔で各国・機関代表を迎える篠田市長。新潟県副知事、新潟市副市長、リ्यूとびあ支配人もももに出迎えた。



特設席で説明を聞く各国・機関代表



6階展望ラウンジからの眺めを楽しむ各国・機関代表と篠田市長



演目は源義経と弁慶が主人公の「船弁慶」。上演中は赤外線同時通訳装置によりポイント解説が行われた。



5階能楽堂のホワイエに解説とともに展示された能面など



終演後、装束などを見学する各国・機関代表団



7 新潟県・新潟市主催レセプション

日時：平成20年5月12日(月) 19:30～21:30

いまなりや
場所：行形亭

新潟を代表する料亭で、食と文化を堪能しました。



古町芸妓のお出迎え



庭園を楽しみながら会場へ向かう各国・機関代表ら



寿の間で半纏を着てつづく各国・機関代表ら



歓迎の挨拶をする泉田知事



「よいしょ」の掛け声に合わせて鏡開き



篠田市長の発声で「乾杯」



料理やお酒を楽しむ舩添大臣と各国・機関代表ら



古町芸妓によるおもてなし



華やかな古町芸妓の舞「松づくし」



和装で司会を務める新潟市国際課長



泉田知事は鍮起銅器のビールカップを、
篠田市長は新潟漆器の竹塗花器を記念
品として贈呈



広間で各国・機関代表らを見送る泉田知事
と篠田市長

5/13 TUE

G8労働大臣会合 3日目

 気 温 : 15.3℃
 風 速 : 9.8 (m/s)
 天気概況 : 昼 | 晴れ

1 共同記者会見

日時 : 平成 20 年 5 月 13 日(火) 11:50 ~ 12:20 場所 : 朱鷺メッセ 2 階スノーホール B (記者会見場)

会合終了後、各国・機関代表による記者会見が行われました。舩添厚生労働大臣が議長として発言したほか、各国・機関代表への質疑応答が行われました。



会見に臨む各国・機関代表



発言する舩添大臣(中央)



記者会見場には多くの報道関係者が集まった

2 水上バスでの移動

日時 : 平成 20 年 5 月 13 日(火) 12:38 ~ 12:43 場所 : 朱鷺メッセ～みなとびあ間

各国・機関代表は、朱鷺メッセから、写真撮影と昼食会の会場であるみなとびあまで、ウォーターシャトルで川を渡りました。



各国・機関代表らを乗せてみなとびあに到着するウォーターシャトル



みなとびあ側の船着場で、ガバヨ大臣顧問(イタリア)を笑顔で迎える篠田市長

3 写真撮影

日時 : 平成 20 年 5 月 13 日(火) 12:50 ~ 13:00 場所 : みなとびあ芝生広場

写真撮影は日差しが降りそぐみなとびあ芝生広場で行われました。



泉田知事、篠田市長を交えての写真撮影

4 昼食会

日時：平成20年5月13日(火) 13:00～14:30

場所：ほるとカーブドッチ

日程の最後となる昼食会。泉田知事、篠田市長も参加しました。



会場の様子。右上が各国・機関代表の席。



笑顔で乾杯をする各国・機関代表



食事を楽しむ各国・機関代表

5 出発

写真撮影と昼食会を終えた各国・機関代表団は、帰国の途につきました。



ソマリア事務局長 (ILO) を笑顔で見送る泉田知事



出発前に握手を交わすグリア事務総長 (OECD) (右から2人目)とド・ロビアン大使 (フランス) (右)

場所：朱鷺メッセ及び周辺

朱鷺メッセ全体が会合運営のために利用され、開催2日前の平成20年5月9日(金)から設営が始まりました。

また、厚生労働省と警備当局によって、会場内外で警備が行われました。



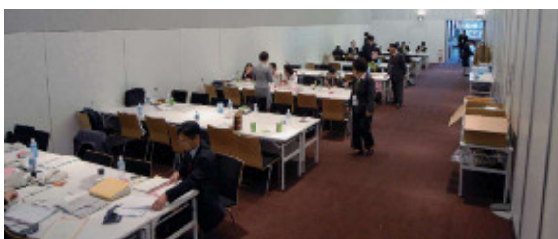
朱鷺メッセのエントランスホールは、この日に合わせて咲かせたチューリップで彩られた



各国・機関代表団に用意された作業室



仕切られたメインホール(スノーホール)。左側はプレスセンター、右側を協議会関係者が利用。



協議会関係者控室・打合せ室の様子



海上保安庁による信濃川(新潟港)警備の様子



警察による警戒警備の様子

活動した支援ボランティア数：38名

活動期間：平成20年5月10日(土)～14日(水)

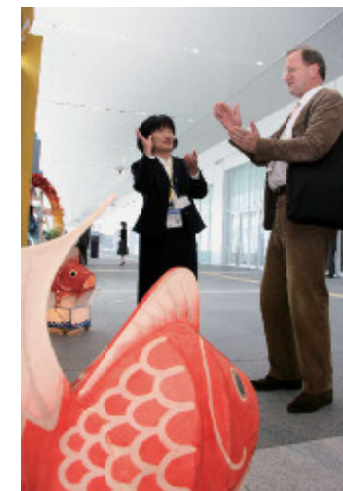
各国語を話し、新潟に関する知識を持つ市民ボランティアを募集しました。「G8労働大臣会合支援ボランティア」の名称で、38名が会合開催期間中の各国・機関代表団の活動支援業務に従事しました。



支援ボランティア(左から3人目)の活動風景(朱鷺メッセの「8区で8ヵ国を歓迎エリア」)。「リエゾン帯同」業務は、活動協力職員(右端)と協力して実施。



各国・機関代表団がすぐに声をかけられる位置で待機



朱鷺メッセの「8区で8ヵ国を歓迎エリア」で、各国・機関代表団に対して説明する支援ボランティア



活動の合間に、展示(錦鯉PR)の内容を出展者の全日本錦鯉振興会新潟地区のスタッフから説明を受けるリエゾンに帯同した支援ボランティア



歓迎行事を行った北方文化博物館の屋外行事(餅つき)で、地元の沢海集落の人々とともに、各国・機関代表団をもてなした(中央が支援ボランティア)



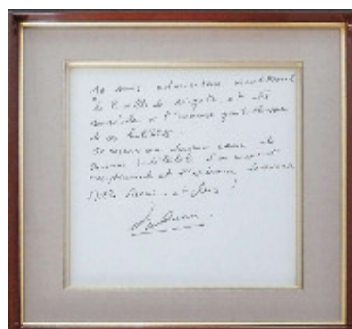
会合最終日(平成20年5月13日(火))の昼食会場で、各国・機関代表団と記念撮影



錦鯉PRコーナーを訪れたウライワン大臣(タイ)(左端)と記念撮影する展示担当の支援ボランティア(右端)



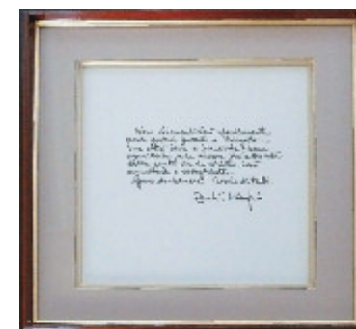
カナダ



フランス



ドイツ



イタリア



ロシア



イギリス



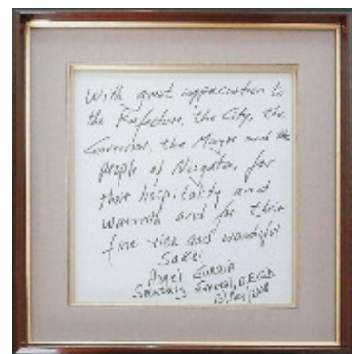
アメリカ



EU



ILO



OECD



インドネシア



タイ

1 会場装飾

場所：朱鷺メッセ交通広場、エントランスホール及び2階アトリウムなど

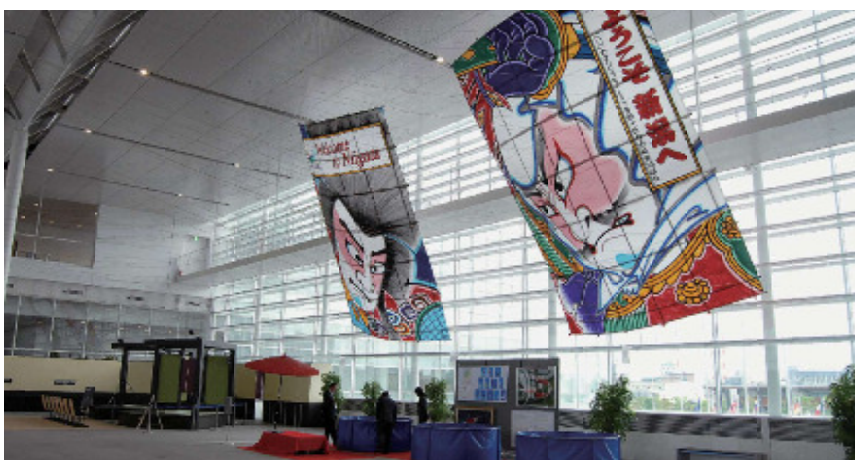
県産の花や新潟らしさで会場が彩られました。また、各国・機関代表から本県産業の広がりなどを理解していただけるように、伝統的工芸品や県内主要企業の製品の見学会が実施されました。

① 国旗掲揚塔

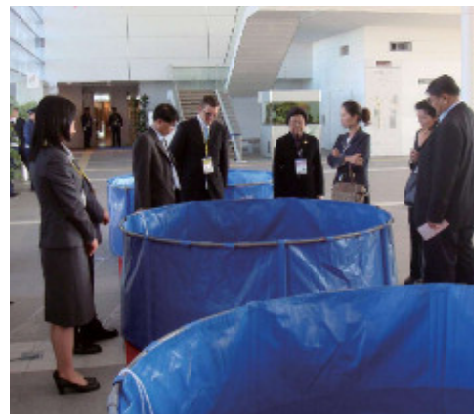


G8各国の国旗及びEUの旗を掲揚して歓迎

② 新潟らしさで歓迎



役者組と弁慶組の24畳サイズの大凧を、凧合戦の姿をイメージして展示。その下で、「泳ぐ宝石」錦鯉も紹介された。



ウライワン大臣(タイ)による見学。支援ボランティアと日本錦鯉振興会新潟地区のスタッフが英語で応対した。



平成20年6月の白根凧合戦で、各国・機関代表らを迎えたデザインの大凧が空を舞った



③ 展示

ア 準備



平成20年5月8日(木)から設営を開始。駐車場や経路の混雑対策に留意して、搬出計画が策定された。



出展企業の協力により展示品を搬入

イ 会合開催期間中



「新潟」の概要を紹介するエリア



佐渡市のPRエリア。佐渡の文化を紹介。朱鷺の刺製も展示された。



新潟市の8区による、G8各国を歓迎する展示。市内小学生の絵などが飾られた。



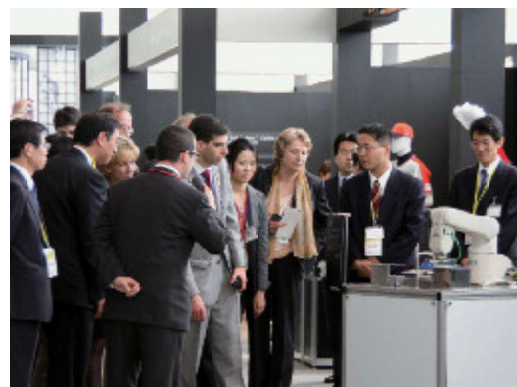
朱鷺メッセ4階の会議場の入口には、伝統的工芸品などを展示



新潟市江南区の展示を見学するシュビドラ委員 (EU)



多様な県内製品を展示し、本県の産業の広がりを紹介



平成20年5月12日(月)の産業実演の後に、各国・機関代表らを展示の見学へご案内。案内者の説明を、イヤホンガイドを使用して職員が逐次通訳。





見学の様子取材する報道関係者



支援ボランティアの説明に傾くサフォノフ次官(ロシア)(右端)



3Dディスプレイのブースに立ち寄ったグリア事務総長(OECD)。専用眼鏡を利用した立体映像を体験。

④ 装花



エントランスホールには、日本庭園風の装花を展示



県産のユリなどが飾られた一角は、花の香りに包まれた



大鳳と錦鯉の傍にツツジやマツなどの盆栽を展示



朱鷺メッセ4階の会議場入口に飾られたいけばな

⑤ G8 労相会合展 ―世界から新潟へ、新潟から笑顔を一―

実施日：平成 20 年 5 月 14 日(水)～18 日(日) 場所：朱鷺メッセ 2 階アトリウム及びエスプラナード

会合開催期間終了後に、各国・機関代表らが見学した展示品などが一般公開されました。また、会合の概要を伝えるパネルには、各国・機関代表団の様子や、地元のおもてなしのプログラムなどが紹介され、約 1,600 名の方々が訪れました。



新潟県産業労働観光部職員が、ハイテク製品等について説明。3Dディスプレイやロボットアームなどが人気を集めた。



各国・機関代表団が行事を楽しむ姿などを紹介したパネルに見る市民

2 参加者への記念品

会合の記憶・思い出を永く留めていただけるように、会合参加者らに記念品が贈呈されました。また、各国・機関代表には、新潟県・新潟市主催レセプションにおいて、泉田知事、篠田市長から新潟を代表する品物が贈呈されました。



会合参加者等への記念品
 (県産材使用木製シャープペンシル、レターヘッド
 ノートパッド、ポストカード)



各国・機関代表への記念品(鋳起銅器「ビールカップ」と新潟漆器「竹塗花器」(写真右奥))



シャレット次官(カナダ)の同伴者には、「SUWADA爪切り」を贈呈

3 花のおもてなし

【主催:国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所、新潟市、地元自治会、新潟万代島総合企画㈱】

「新潟駅・新潟空港」を始め、市内主要道路、会合会場周辺がプランターやフラワーハンギングで飾られました。ちょうど満開になった街路樹のツツジや巨大な会合ロゴマークの花絵とともに、「花のまちにいがた」をアピールしました。



新潟駅新幹線改札付近



榎谷小路街路樹のツツジ



新潟駅前広場



新潟空港ターミナルビル前



万代島アクセス道路の
フラワーハンギング



朱鷺メッセの国旗掲揚塔を飾るプランター



重要文化財萬代橋の歩道



リゅーとびあロータリーのミニ国旗プランター



朱鷺メッセ対岸の魚市場跡地に描かれた
会合ロゴマークの花絵



記者会見場を飾った 700 本のオレンジプリンセス(チューリップ)



4 果物のおもてなし

【主催：新潟市】

各国・機関代表団や会合参加者らに、新潟を彩る春の食材であり、ジューシーで甘く香り高いイチゴ「越後姫」を提供しました。



朱鷺メッセ2階パントリーでの
支援ボランティアによる盛り付け作業



篠田市長のメッセージとともに各国作業室などに配置

5 同伴者・アウトリーチの視察

各国・機関代表の同伴者や、アウトリーチ国代表団らが新潟の魅力的なスポットを訪れました。

① 同伴者

日 時：平成 20 年 5 月 12 日(月) 10:00 ~ 17:00
 訪問先：燕喜館、新発田城址、市島酒造(株)(新発田市)

② アウトリーチ インドネシア

日 時：平成 20 年 5 月 12 日(月) 11:30 ~ 17:00
 訪問先：諸橋弥次郎農園、北方文化博物館、ハローワーク新潟、新潟市長表敬



諸橋弥次郎農園で、関係者の話を聞く一行



諸橋氏からイチゴの説明を受けるスバレノ大臣(インドネシア)(中央)



囲炉裏端で自在鉤を手に諸橋氏と談笑するスバレノ大臣(インドネシア)

③ アウトリーチ タイ

日 時：平成 20 年 5 月 12 日(月) 9:30 ~ 17:00
 訪問先：新潟県知事表敬、市島酒造(株)(新発田市)、トラットリア ノラ・クチーナ、諸橋弥次郎農園、燕喜館



市島社長から酒造りについて説明を受ける一行



蔵元展示室見学の様子



日本酒を試飲するウライワン大臣(タイ)(右から2人目)ら



CHAPTER
3

第3章
G8労働大臣会合開催までのあゆみ
Path to the G8 Labour and Employment Ministers Meeting

1 記者発表

日時：平成 18 年 5 月 9 日(火) 11:30 ~ 12:25 場所：汐留シオサイト(東京都港区)

平成 20 年の G8 サミットの誘致について、開港都市の新潟と横浜が共同して取り組むことを発表しました。



泉田知事(写真 中央)、篠田市市長(右)及び中田横浜市長(左)

日時：平成 18 年 5 月 9 日(火) 16:15 ~ 45

場所：みなとびあ広場



開港都市で開催する意義を説明する泉田知事(左)と篠田市市長(右)

2 にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会

日時：平成 18 年 5 月 16 日(火) 16:00 ~ 17:00 場所：ホテル日航新潟 4 階朱鷺

平成 20 年の G8 サミットの誘致を進めるため、関係 46 団体の参加を得て 2008 年サミット誘致推進協議会が発足しました。



発起人として挨拶する泉田知事

3 国への要望

① 2008 年横浜サミット誘致推進協議会との合同要望活動

実施日：平成 18 年 7 月 7 日(金)



麻生外務大臣



谷垣財務大臣



安倍内閣官房長官



沓掛国家公安委員長

② 2008年開港都市サミット誘致議員連盟による要望活動

実施日：平成18年11月21日(火)



麻生外務大臣



塩崎内閣官房長官

③ 参議院国際問題に関する調査会への要望

実施日：平成19年2月15日(木)



要望書を手渡す泉田知事と篠田市長(朱鷺メッセ)

4 機運醸成の主な取り組み

平成18年10月7日(土)に「開港都市サミットの実現を！新潟フォーラム」をりゅーとびあで開催すると共に、市内各所で懸垂幕を掲げるなど誘致機運の醸成に努めました。

懸垂幕



新潟フォーラムでの特別講演をする情報誌「インサイダー」編集長 高野 孟氏



新潟駅連絡通路でのバナー



バス広告

5 政府視察の受け入れ

日時：平成19年1月17日(水)

主会場として提案した施設(朱鷺メッセ、北方文化博物館及び県政記念館)を中心に外務省、財務省、警察庁及び海上保安庁の担当者が視察を行いました。



新潟開催の意義を説明する篠田市長(ホテル日航新潟)



朱鷺メッセ展望室より会場周辺を説明



北方文化博物館



県政記念館

1 にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会の活動

平成19年5月11日(金)のG8労働大臣会合新潟開催の発表を受け、誘致を進めてきたにいがた2008年サミット誘致推進協議会を、会合の開催支援組織に改めました。

① 第1回 総会

日時：平成19年6月4日(月) 16:00～

場所：朱鷺メッセ4階マリンホール



G8労働大臣会合の新潟開催決定の報告がなされました。また、組織の改組が行われました。

新潟開催決定を報告する上村厚生労働審議官

② 第2回 総会

日時：平成19年8月29日(水) 15:00～

場所：ホテル新潟2階芙蓉



平成19年度の事業計画及び予算が承認されました。また、厚生労働省大臣官房国際課G8労働大臣会合開催準備室瀧原室長から、「朱鷺メッセ」を主会場とする旨の発表がありました。

挨拶をする最高顧問の泉田知事

③ 第3回 総会

承認日：平成20年3月31日(月)

日程の都合により書面議決とされました。平成19年度活動の中間報告及び決算見込みの報告をするともに、平成20年度事業計画及び予算が承認されました。

④ 第4回 総会

日時：平成20年7月15日(火) 16:30～

場所：朱鷺メッセ4階マリンホール



会合の新潟開催決定からこれまでの取り組みや成果、並びに関連する決算等の報告がなされました。

また、記録誌作成などの限られた業務となった今後の協議会運営については、役員に一任することとなりました。

挨拶をする会長の篠田市長

2 支援ボランティア・活動協力職員の募集と活動準備

募集期間：平成19年10月15日(月)～31日(水)

研修会：第1回	平成20年1月23日(水)	第2回	平成20年3月12日(水)
第3回	平成20年3月29日(土)	第4回	平成20年4月25日(金)

市民からボランティアを募集し、採用しました。また、県・市職員を「G8労働大臣会合活動協力職員」として登録。活動準備として、支援ボランティアと活動協力職員に対して研修会を実施しました。

① 第1回研修会



厚生労働省大臣官房国際課課長補佐から「G8労働大臣会合の基礎知識」と「支援ボランティア(活動協力職員)に期待する役割」について講義を受ける

② 第2回研修会



「好感を持たれる接遇とコミュニケーションの基本原則」を研修



円滑なコミュニケーションのための研修



挨拶と自己紹介を実践

③ 第3回研修会（支援ボランティアのみ実施）



第3回は、新潟市内の主要施設を視察



みなとびあでは、新潟の歴史についての講義と見学を実施



北方文化博物館で、説明の要領を学習



新潟の芸術文化の発信拠点、リゅーとびあを視察



視察終了後、支援ボランティアの愛称を班ごとに検討し、「Niigata Welcome Crew」に決定

④ 第4回研修会



支援ボランティアと活動協力職員合同で、担当業務別に会合関連行事説明会を実施



説明者は、協議会の各行事担当者。当日の業務を具体的に説明



新潟県・新潟市主催レセプションと「花と果物のおもてなし」チームの説明会。業務についての提案などが積極的に出された。

③ 各国大使らの視察受け入れ

① 大使・公使の新潟視察

本国の窓口となる各国大使らに新潟の良さを知ってもらえるよう、新潟視察を行いました。

ア 大使・公使来訪日程

期 日	国・機関名	職名	氏 名（敬称略）
平成20年2月18日（月）～19日（火）	EU	大使	ヒュー・リチャードソン
平成20年2月20日（水）～21日（木）	アメリカ	公使	ロバート・セクタ
平成20年3月10日（月）	ロシア	大使	ミハイル・ミハイロヴィチ・ベールイ
平成20年3月10日（月）～11日（火）	カナダ	大使	ジョゼフ・キャロン
平成20年3月13日（木）～14日（金）	ドイツ	大使	ハンス＝ヨアヒム・デア
平成20年3月18日（火）	フランス	公使	クリストフ・プノ

イ 主な訪問先

(ア) 北方文化博物館



伊藤館長と歓談するリチャードソン駐日欧州委員会代表部大使(中央)と夫人

(イ) 新潟市中央卸売市場



早朝の市場で説明を受けるデア駐日ドイツ大使

(エ) カーブドッチ



落社長の説明を聞くデア駐日ドイツ大使

(ウ) 諸橋弥次郎農園



諸橋氏の説明を聞くペーレリ駐日ロシア大使(左)

ウ プレス



市役所庁議室で記者会見を行うリチャードソン駐日欧州委員会代表部大使



堪能な日本語で取材に応じるキャロン駐日カナダ大使(新発田市「清水園」)

エ 市民との交流



下條新潟大学学長や、カナダにゆかりのある教授たちと記念撮影するキャロン駐日カナダ大使



ドイツにゆかりのある新潟カトリック教会で信者らから手作りのお菓子でもてなしを受けるデア駐日ドイツ大使



ナミックス(株)で関係者と記念撮影を行うデア駐日ドイツ大使



新潟日独協会主催の歓迎の催しで西橋健氏の佐渡文弥人形と五世鶴澤浅蔵氏の義太夫を楽しむデア駐日ドイツ大使

② 大使館員等の新潟視察

大使館員らを対象に新潟視察を行いました。

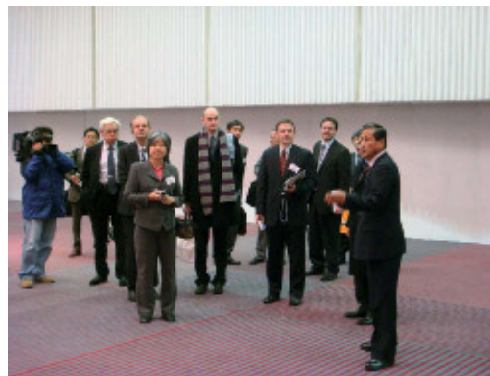
ア 日時：平成19年11月28日(水)～29日(木)

イ 参加大使館等

カナダ、フランス、ドイツ、イタリア、ロシア、イギリス、アメリカ、EU、ILO 駐日事務所

ウ 主な訪問先

朱鷺メッセ、北方文化博物館、リ्यूーとびあ、亀田製菓(株)、今代司酒造(株)
 ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟、月岡温泉 華鳳(新発田市)



朱鷺メッセ支配人から説明を受ける参加者たち

エ 食事



夕食会の様子

オ プレス



朱鷺メッセ展望室でプレス取材に応じる参加者たち

③ インドネシア大使館員の新潟視察

アウトリーチ国であるインドネシア大使館事務担当者を対象に新潟視察を行いました。

ア 日時：平成20年3月27日(木)～28日(金)

イ 参加者

1名

ウ 主な視察先

朱鷺メッセ、北方文化博物館、みなとびあ、りゅーとびあ、ほるとカーブドッチ、亀田製菓(株)、ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟

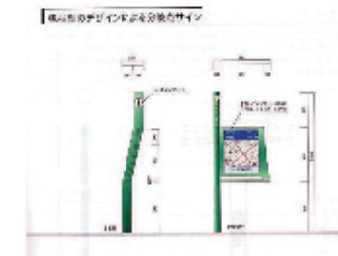


みなとびあで説明を聞く参加者(右から2人目)

4 歩行者用サイン整備 (外国語併記)

【事業主体：新潟市】

会合参加者等が、会場や宿舍を含む中心市街地で迷わず歩けるよう、外国語併記の歩行者用サインの新設や既設サインの盤面修正を実施しました。



万代地区に整備した帆船型デザイン外国語併記分岐点サイン

5 英語版街歩き支援マップの作成と配布

【実施主体：(財)新潟観光コンベンション協会】

会合開催に伴い、新潟を訪問する会合参加者らに新潟を満喫してもらうため、街歩きグッズとして、英字版おもてなしマップを作成し、配布しました。



観光情報のほか、コンビニや銀行などの必要情報を記載

6 クリーンアップキャンペーン

新潟市住みよい郷土推進協議会を中心に、自治会や協賛する企業、そして地元中学生が、新潟駅、万代島、古町周辺の一斉清掃を行いました。

① 柳都クリーンアップキャンペーン

【主催：新潟市、新潟市住みよい郷土推進協議会】

日時：平成20年4月27日(日) 場所：万代地区、万代島、新潟駅前、古町地区を中心に実施



約1,000名の市民参加があった東新潟会場の開会式



国道113号線歩道上での清掃活動(東新潟会場)



トッキッキも参加。約500名の市民参加があった西新潟会場。



古町アーケード内での清掃活動(西新潟会場)

② 地元中学生によるクリーン作戦

【主催：宮浦中学校生徒会、宮浦中学校区青少年育成協議会】

日時：平成20年5月8日(木)

場所：万代島周辺地区で実施



宮浦中学生と青少年育成協議会による朱鷺メッセ周辺の清掃活動

1 イベントでのPR

①新潟まつりー 2008年サミットパレード隊

日時：平成19年8月4日(土) 10:30～13:30 場所：新潟市内幹線道路(笹谷小路)

協議会会員や新潟在住の外国人、市内の小学生らの参加を得て、「新潟まつりパレード」に「2008年サミットパレード隊」として参加し、会合の新潟開催をPRしました。



「2008年サミットパレード隊」の全容。後方は萬代橋。横断幕、国旗、プラカード、のぼり旗、パネルなどを活用。



協議会会員企業から社員が制服姿で参加



新潟市内の小学生が国旗をモチーフにした絵を描いて、歓迎の気持ちを表現



開催機運醸成のために作成した「サミット手拭い」を沿道の観覧者に配布し、会合新潟開催をPR

②新潟てるさ春祭りー G8労働大臣会合ブース

日時：平成20年3月22日(土)～23日(日) 11:00～16:00

新潟テルサで開催された「第1回 新潟てるさ春祭り」で会合の新潟開催をPRするため、ポスターの掲示や関連資料の配布を行いました。



配布資料に見入る「第1回新潟てるさ春祭り」の来場者

2 プレスツアーの実施

①新潟市主催プレスツアー

実施日：平成19年11月12日(月)～13日(火)
ツアー内容：朱鷺メッセ、新潟東港ほかの視察、篠田市長会見、G8労働大臣会合ブリーフィングなど

会合の新潟開催を海外へPRするため、通信社や新聞社などの在京外国メディアの特派員を「新潟市主催プレスツアー」に招待しました。



朱鷺メッセ展望台から市内を撮影



篠田市長の会見

②新潟県主催プレスツアー

実施日：平成20年3月27日(木)～28日(金)
ツアー内容：ジュニア労働サミット視察、農業関連視察、「食」関連視察など

会合会場の朱鷺メッセで開催された「ジュニア労働サミット」に合わせ、新潟県全体の魅力を海外に発信するため、海外メディアのプレスツアーを実施しました。



ジュニア労働サミットを終えた参加者代表のジュニアたちへインタビュー



チューリップ農園の集荷所で切花を撮影



古町芸妓にインタビュー

3 G8労働大臣会合準備会合での新潟PR

千葉市においてG8労働大臣会合準備会合が開催されました。準備会合に参加した各国・機関の事務レベルの担当者（労働・雇用担当省局長及び課長級）に対して、新潟の魅力や交通機関の状況などを紹介するとともに、非公式日程の案内を行いました。

また、準備会合の前には新潟への視察も実施しました。

① 準備会合

実施日：平成20年2月28日(木)～29日(金)

場所：(財)海外職業訓練協会(千葉県千葉市)



議長総括案などについて意見交換。会議用飲料水として、新潟市水道局が提供した「柳都物語」を使用。



パンフレットやPRポスターをコーヒーブレイクコーナーに設置



レセプションは、新潟清酒で乾杯。「新潟」の文字を刻んだ枡が乾杯で使用され、記念品として参加者が持ち帰った。



② G8労働大臣会合担当職員新潟視察

実施日：平成20年2月26日(火)～27日(水)

参加者：2カ国 合計6名

視察先：今代司酒造(株)、(株)加島屋、朱鷺メッセ、みなとびあ、北方文化博物館、ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟



朱鷺メッセで説明を受ける参加者



ホテルオークラ新潟での夕食会



北方文化博物館で説明を聞く参加者

4 ジュニア労働サミットの開催

日時：平成20年3月28日(金) 13:00～16:00 場所：朱鷺メッセ4階マリンホール

参加者：参加者代表：G8各国ジュニア代表者16名(各国2名)

会場参加者：新潟市内中学生170名

コーディネーター：池上彰氏

会合のプレイベントとして、会合の新潟開催を内外に広くPRするとともに、未来の社会を担う子どもたちに、働くことの意義を考えてもらう場を提供するため、「ジュニア労働サミット」を開催しました。

① ジュニア労働サミット



会場全体。中央のコの字型のテーブルが参加者代表のジュニア席。



コーディネーターは、フリージャーナリストの池上彰氏



舛添大臣からのビデオメッセージ



会場参加者の市内中学生たちも青と赤の紙で意思表示（写真提供：新潟日報社）

② 本番前日の新潟ミニツアー



篠田市長を表敬訪問したジュニアたち



イチゴ農園でイチゴ狩りを体験（写真提供：新潟日報社）

しろね大風と歴史の館で風揚げを体験（写真提供：新潟日報社）



③ G8労働大臣会合への提言



会合メイン会場入口に、ジュニア労働サミットでまとめられた提言をパネル展示

5 メディア・ミックス広報活動

会合新潟開催の機運醸成及び開催告知のため、歓迎バナーなどの市内装飾、新聞・ラジオ・テレビによる広報を実施しました。

① 各国・機関代表団を歓迎



新幹線ホーム上り口エスカレーターのポスター

新潟空港旅客ビル屋内広告板



朱鷺メッセ正面の歩道橋の横断幕



新潟駅前の東大通の横断幕とバナー



朱鷺メッセ周辺道路に各国語で「ようこそ新潟へ」と書かれた歓迎バナーを設置



ラッピングベロタクシーと新レンタルバイクシステム「Smart Cruise(スマートクルーズ)」の発進式を開催し、環境に配慮した会合をアピール



市内の路線バスに開催告知広告

② 新潟市内の市民向け装飾



新潟駅前の懸垂幕



新潟駅東側自由通路のバナー



市公用車にマグネットシートを張付け



新潟市役所に懸垂幕を掲出

③ 情報発信



「市報にいがた」へ特集記事掲載とコラム連載



市職員へは「サミット通信」発行で啓発



新聞広告（日本経済新聞）



ホームページで情報発信

⑥ 県・市民企画の支援

会合のテーマである「労働」「雇用」「人材」などに関する事業やG8各国の文化をモチーフとする事業などを対象に、県・市民自らが企画立案した事業を募集し、認定・支援することにより、会合開催機運の醸成を図りました。（「あなたの企画を応援します」事業）

■ 認定事業一覧

- G8労働大臣会合開催記念ホテルレストラン企画「グルメサミット」
- 「サミットって何？知ってもらって、行ってもらって！」キャンペーン
- G8記念「映画で労働問題を考える」
- パネル展示「G8参加国のワーク・ライフ・バランス比較」
- 食と花から知るG8
- 「未来を拓く！若者G8」
- モダンダンス五十嵐瑠美子洋舞踏研究所 第33回定期公演「サミットによせて」
- G8労働大臣会合をきっかけに、「にいがたから、児童労働について考えていこう！」
- G8労働大臣会合開催記念「記念手拭い」



広報チラシ


 朱鷺メッセにパネルを設置
 （パネル展示「G8参加国のワーク・ライフ・バランス比較」）



「世界のらん＆夢フェスタ」展の中にブースを設置
(食と花から知る G8)



公演「星条旗は永遠に」
(第 33 回定期公演「サミットによせて」)



記念手拭い



児童労働問題について、語り合う
(G8 労働大臣会合をきっかけに、「いいたから、児童労働について考えていこう!」)

7 国際理解教材の作成と配布

新潟の未来を担う子供たちに、国際社会で活躍するための基礎を培ってもらおうと、国際理解教育等で活用できる教材を作成し、小学校等へ配布しました。



国際理解教材
「この地球に生きている」



教材を活用して、グループ討論をする新潟市立巻南小学校 6 年生



教材で楽しみながら学ぶ
燕市立燕西小学校 5 年生

8 サミット給食

【実施主体：新潟市教育委員会】

子どもたちや保護者に会合開催をPRし、参加国への理解を深めてもらうため、G8各国の料理を献立に用いた「サミット給食」を実施しました。



新潟市立万代長嶺小学校で実施された篠田市長と児童たちとの給食会



普段と一味違う給食に満足

1 労働団体の取り組み

G8労働大臣会合をきっかけに関係団体や市民が様々な活動を展開しました。ここでは、協議会に寄せられた活動の抜粋を掲載します。

① G8労働大臣会合労組ブレイバント「ディーセント・ワークを求めて～Labour is not a commodity～」

【実施主体：共催 日本労働組合総連合会、日本労働組合総連合会新潟県連合会】

日時：平成20年5月10日(土) 13:30～16:30

会場：新潟ユニゾンプラザ

「ディーセント・ワークを求めて」のテーマでシンポジウムが開催されました。

第1部はITUC（国際労働組合総連合）のガイ・ライダー書記長とOECD-TUAC（経済協力開発機構 労働組合諮問委員会）のジョン・エバンス事務局長が、国際労働運動の課題とG8労働大臣会合での労組の主張について講演を行い、第2部では森永卓郎氏、中野麻美氏、西村智奈美氏、連合古賀事務局長によるパネル討論と会場との意見交流が行われました。



フロア発言に答えるITUCのガイ・ライダー書記長



G8労働大臣会合開催の記録

the G8 Labour and Employment Ministers Meeting 2008 NIIGATA

CHAPTER

1

第1章 G8労働大臣会合開催までのあゆみ

Path to the G8 Labour and Employment Ministers Meeting

資料編

① 記者発表

日時：平成18年5月9日（火）

泉田知事、篠田市長は、平成20年のG8サミットの誘致について、開港都市の新潟と横浜が共同して取り組むことを発表した。

② にいがた2008年サミット誘致推進協議会

① 設立総会 平成18年5月16日（火）

G8サミットを開港都市である新潟と横浜で開催するため、誘致の中心的な役割を担う「にいがた2008年サミット誘致推進協議会」を設立した。

設立総会では、規約を定めて役員を選出し、平成18年度の事業計画及び予算を決定した。

② 第2回総会 平成18年7月19日（水）

国に示す開催計画の内容について話し合い、新潟市が多様な魅力を持つことから、これらを活かす会場を軸として提案することとした。

③ 第3回総会 平成19年3月23日（金）

平成18年度に行った誘致活動、他の候補地の状況を報告すると共に、開催地が決定した際の対応について確認した。

③ 誘致の体制

にいがた2008年サミット誘致推進本部（新潟市）

① 所掌事項

サミットの誘致に必要な企画運営に関すること並びに関係団体及び機関との連絡調整に関することなど

② 組織

ア 本部長 市長

イ 副本部長※ 助役及び収入役

ウ 本部長※ 教育長、水道事業管理者、各局長及び市民局理事

エ 事務局長※ 政策推進室長（兼 サミット誘致担当部長）

※平成19年4月の組織改正等により、助役及び収入役を副市長に、各局長及び市民局理事を関係部長に、政策推進室長を政策企画部長とした。

③ 設置期間

平成18年5月12日（金）～平成19年5月14日（月）

④ その他

サミット誘致担当課長に市政創造推進課長を、サミット誘致担当に秘書課、広報課及びシティプロモーション推進課の課長補佐を充てた。

④ 誘致活動

年月日	内容
平成18年7月7日	2008年横浜サミット誘致推進協議会との合同要望活動 ・麻生外務大臣 ・谷垣財務大臣 ・安倍官房長官 ・沓掛国家公安委員長
平成18年11月21日	2008年開港都市サミット誘致議員連盟（新潟県、神奈川県選出国会議員）による要望活動 ・麻生外務大臣 ・尾身財務大臣 ・塩崎官房長官
平成19年1月15日	新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟県議会議員の会による要望 ・下村官房副長官 ・谷内外務事務次官

⑤ 過去の開催地への視察

① 国内視察

ア 期間

平成18年6月27日（火）～30日（金）

イ 視察先

福岡市（2000年蔵相会合開催）

宮崎市（2000年外相会合開催）

沖縄県（2000年首脳会合開催）

ウ 視察者

新潟市 2008年サミット誘致担当課長

2008年サミット誘致担当（秘書課長補佐）

② 国外視察

ア 期間

平成18年8月28日（月）～平成18年9月2日（土）

イ 視察先

イギリス（2005年サミット開催国）、ロシア（2006年サミット開催国）

ウ 視察者

新潟県政策監

新潟市 2008年サミット誘致担当課長

横浜市開港150周年・創造都市事業本部長

⑥ 支援決議とアピール

	団 体	新 潟	横 浜
議 会	市議会	平成 18 年 7 月 3 日 「2008 年サミットの新潟での開催実現に向けた決議」採択	平成 17 年 9 月 30 日
		平成 18 年 12 月 11 日 「新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟市議会議員の会」発足	平成 18 年 9 月 29 日 「2008 年開港都市サミットの誘致を成功させる横浜市議員の会」発足
	県議会	平成 18 年 7 月 14 日 「2008 年サミットの新潟での開催実現に向けた決議」採択 平成 18 年 12 月 22 日 「新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟県議会議員の会」発足	平成 18 年 10 月 6 日 「新潟の連携による“開港都市サミット”開催を求める決議」採択
	国会議員連盟	平成 18 年 11 月 14 日 「2008 年開港都市サミット誘致議員連盟」設立	
議 長 会	県内の市議会議長会	平成 18 年 8 月 29 日 「2008 年サミットの新潟開催を求める決議」採択	平成 18 年 10 月 23 日 「2008 年サミットの横浜誘致支援」を全会一致で決議
	全国市議会議長会		平成 18 年 10 月 26 日 【関東】
首 長 会	関東甲信越 1 都 9 県議会議長会 (東京、神奈川、千葉、茨城、埼玉、群馬、山梨、長野、新潟)	平成 18 年 8 月 30 日 「“開港の地” 横浜・新潟でサミット開催を求める決議」採択	
	県内の市長会・町村会	平成 18 年 6 月 19 日 「2008 年サミット新潟開催を求める決議」採択 (町村会)	
		平成 19 年 7 月 18 日 「2008 年サミット新潟開催を求める決議」採択 (市長会)	
	八都府市首脳会議 (東京、神奈川、横浜、川崎、埼玉、さいたま、千葉県、千葉市)	平成 18 年 5 月 15 日 「横浜・新潟支援」	
	日口沿岸市長会 (函館、秋田、新潟、金沢、敦賀、舞鶴等19市で構成)	平成 18 年 6 月 7 日 「2008 年サミットの会員市「新潟」での開催を支援するアピール」採択	
	首都圏県都市長懇話会 (横浜、さいたま、千葉、宇都宮、水戸、前橋)		平成 18 年 11 月 2 日
全国市長会の支部	平成 18 年 10 月 20 日 【北信越 (富山、石川、福井含む)】 68 市	平成 18 年 10 月 19 日 【関東 (山梨を含む)】 215 市	
経 済 界	地元経済団体等	平成 18 年 6 月 26 日 新潟商工会議所 平成 18 年 6 月 27 日 新潟県商工会議所連合会 平成 18 年 7 月 3 日 新潟青年会議所 平成 18 年 7 月 14 日 新潟市政令指定都市推進産業人会議 平成 18 年 7 月 27 日 新潟経済同友会	
		東北経済連合会	平成 18 年 7 月 6 日 「2008 年主要国首脳会議の新潟市への誘致支援」
	首都圏フォーラム (八都府市首脳と東京、横浜、川崎、埼玉、千葉の商工会議所会連)		平成 18 年 11 月 15 日

⑦ 開催計画提案書の作成

にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会は、専門施設型、田園環境型及び都心集積型の 3 つの類型を記した本編とサマリー版からなる開催計画提案書を策定し、外務省へ提出した。また、新潟開催の意義などを記載した PR 版パンフレットを作成した。

- ① 委託業者選定 平成 18 年 6 月 9 日(金)
- ② 外務省への提出 平成 18 年 12 月 27 日(水)

⑧ 政府視察の受け入れ

平成 19 年 1 月 17 日 (水) : 関係省庁による現地視察

	視察場所	提案内容
午 前	概要説明	
	専門施設型 ホテル日航新潟 朱鷺メッセ	閣僚宿舎、会議場、会議場、IMC
	田園環境型 亀田総合体育館 北方文化博物館	IMC、会議場
午 後	都心集積型 県政記念館 燕喜館 新潟市体育館 りゅーとびあ	会議場、食事会場、IMC 議長記者会見場等
	共 通 鍋茶屋 ホテルオークラ新潟 ホテル新潟	レセプション等 閣僚宿舎

※平成 18 年 12 月 14 日 (金) 外務省から立候補した都市へ事前照会があった

※ IMC : 国際メディアセンター (International Media Center)

⑨ 機運醸成の主な取り組み

① 「開港都市サミットの実現を！新潟フォーラム」

- ・平成 18 年 10 月 7 日 (土) りゅーとびあ劇場
にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会は、インサイダー編集長 高野孟氏による特別講演会を開催し、市民ら 650 名が参加して誘致に向けたアピールを採択した。

② 広報ツール

ア 合同開催ロゴマーク



イ 横断幕・懸垂幕・バナー・広告塔・看板・板パネル

- (ア) 横断幕・懸垂幕
掲示先：新潟空港、市内デパートなど
- (イ) バナー
掲示先：新潟駅、新潟空港など
- (ウ) 広告塔
掲示先：新潟駅
- (エ) 看板・パネル
掲示先：新潟駅、新潟空港など

新潟空港での懸垂幕



ウ ミニのぼり旗

掲示先：金融機関、ホテルなど



金融機関の窓口

エ メディアとのタイアップ・広告

・新潟日報 ・世界週報 ・バス広告 ・テレビ広告 ・ラジオCMなど

オ シール・ステッカー

掲示先：新潟駅、タクシー



カ パネル展

- (ア) 新潟と横浜ミニパネル展
会場：みなとびあ等
- (イ) 新潟・横浜花物語パネル展
会場：サミットフォーラム会場等



キ サミットタグバッジ



ク 宿泊者向けリーフレット

配布先：ホテル



③ その他新潟と横浜との連携

 ア 横浜高校野球部招待試合で「市民への
手紙」を交換
平成 18年 6月 11日(日)

 カ アルビレックス新潟ー横浜F・マリノス戦で
のアピール
平成18年10月7日(土) ビッグスワン(新潟市)

 イ 政令市連続フォーラムでの中田横浜
市長の講演
平成 18年 6月 24日(土)

 キ 食と花の世界フォーラムに横浜の食の
出展で
連携アピール
平成18年10月13日(金) ~ 15日(日)

 ウ 横浜F・マリノスーアルビレックス新潟戦
でのアピール
平成 18年 7月 30日(日) 日産スタジア
ム(横浜市)

 ク パシフィック横浜開業15周年記念イベント
「うまいものサミット」で連携アピール
平成19年2月24日(土) ~ 25日(日)

 エ 新潟まつりで「横浜中華街 中国獅子舞」
を披露
平成 18年 8月 8日(火)

 オ 横浜オータバーフェストで連携アピール
平成 18年 9月 29日(金)
~ 10月 9日(月)


日産スタジアムでのアピール

① にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会の活動

① 総会

平成 19 年 6 月 4 日 (月) の第 4 回にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会総会において、協議会の改組が行われた。

ア 第 1 回総会

(ア) 日時：平成 19 年 6 月 4 日 (月) 16:00～

(イ) 場所：朱鷺メッセ 4 階マリンホール

(ウ) 挨拶

- a 特別顧問 新潟県知事 泉田裕彦
- b 会長 新潟市長 篠田 昭
- c 来賓 厚生労働審議官 上村隆史 様
駐新潟大韓民国総領事館 総領事 金 忠慶 様

(エ) 議事

- a 平成 18 年度事業報告について
- b 平成 18 年度決算について
- c G8 労働大臣会合開催協力・支援組織への移行について
 - (a) 今後の協議会運営及び事業推進について
 - (b) 規約の改正について

イ 第 2 回総会

(ア) 日時：平成 19 年 8 月 29 日 (水) 15:00～

(イ) 場所：ホテル新潟 2 階芙蓉

(ウ) 挨拶

- a 来賓 厚生労働省大臣官房国際課 G8 労働大臣会合開催準備室長 瀧原章夫 様
- b 最高顧問 新潟県知事 泉田裕彦
- c 会長 新潟市長 篠田 昭

(エ) 議事

- a 規約及び会の構成について
- b 平成 19 年度事業計画について
- c 平成 19 年度予算について

ウ 第 3 回総会(書面による開催)

(ア) 承認日：平成 20 年 3 月 31 日 (月)

(イ) 議事

平成 20 年度事業計画および予算について

(ウ) 報告

平成 19 年度活動中間報告および決算見込みについて
新規会員等について

エ 第 4 回総会

(ア) 日時：平成 20 年 7 月 15 日 (火) 16:30～

(イ) 場所：朱鷺メッセ 4 階マリンホール

(ウ) 挨拶

- a 最高顧問 新潟県知事 泉田裕彦
- b 会長 新潟市長 篠田 昭
- c 来賓 厚生労働省大臣官房国際課 G8 労働大臣会合開催準備室長 瀧原章夫 様

(エ) 議事

- a 平成 19 年度事業報告
- b 平成 19 年度決算
- c 平成 20 年度事業報告(中間)
- d 平成 20 年度決算見込み
- e その他

② 新潟県と新潟市の推進体制

平成 19 年 5 月 11 日 (金) の G8 労働大臣会合新潟開催決定を受け、県及び市ともに会合の円滑な実施を図るための組織を設置した。

ア 新潟県の体制

(ア) 名称 サミット推進庁内連絡会議

(イ) 設置日 平成 19 年 5 月 14 日 (月)

(ウ) 構成 議長 知事政策局長

構成員	産業労働観光部副部長	農林水産部副部長
	交通政策局副局長	知事政策局国際課長
	総務管理部情報企画監	防災局危機対策課長
	警察本部警備第二課長	

イ 新潟市の体制

(ア) 名称 新潟市サミット推進本部

(イ) 設置日 平成 19 年 5 月 15 日 (火)

(ウ) 構成 本部長 市長

副本部長 副市長

本部長 教育長

政策企画部長

東京事務所長

健康福祉部長

都市政策部長

水道事業管理者

2008 年サミット推進担当部長

危機管理監

経済・国際部長

消防局長

② 支援ボランティア・活動協力職員の募集と活動準備 (関連項目：P.76)

① 支援ボランティア (Niigata Welcome Crew)

各国語を話し、新潟の知識を持つボランティアを公募した。38名が会合開催期間中の各国・機関代表団の活動支援業務等に従事した。

ア 支援ボランティア配置の目的

会合への市民参加の機会を創出し、市民の会合に関する関心を高めるとともに、各国・機関代表団との交流を通じて、世界に「もてなしの心にあふれた温かいまちNIIGATA」をアピールする。

イ 募集

(ア) 応募資格

次の条件を満たす人

- 新潟市観光・文化検定3級を取得、または取得を目指している人
- 会合の期間中、1日単位で活動できる人
- 平成20年1月から4月に実施する研修に参加できる人
- 英語、仏語、独語、露語、伊語のいずれかの言語で簡単な会話ができる人

(イ) 募集期間

平成19年10月15日(月)～31日(水)

(ウ) 募集方法

- 新潟市役所本庁舎及び各区役所に募集チラシを設置
- 県、市及び協議会のホームページに掲載
- 市報にいがた(平成19年10月14日号、10月21日号)に掲載
- 応募者数 97名

ウ 面接

- (ア) 面接日 平成19年11月11日(日)～12日(月)
- (イ) 面接会場 新潟市役所(11月11日)
白山会館(11月12日)
- (ウ) 面接受験者数 96名
- (エ) 面接方法 日本語と英語、仏語、独語、露語、伊語のいずれかの言語による面接
- (オ) 面接結果 41名に協力を要請(内、38名が実際に業務に従事)
- (カ) 支援ボランティア(38名の構成)
- 言語 英語26名、仏語4名、独語2名、露語5名、伊語1名
 - 年齢 20代4名、30代16名、40代6名、50代10名、60代2名
 - 性別 男性5名、女性33名

② 活動協力職員

県・市職員(自薦・他薦)から構成され、会合期間中の各国・機関代表団の活動支援業務等に従事した。

ア 活動協力職員配置の目的

支援ボランティアと協力して、リエゾン業務を支援するとともに、国際コンベンション・シティとしての発展の基礎となる人材を育成する。

イ 自薦・他薦基準

英語、仏語、独語、露語、伊語のいずれかの言語で簡単な会話ができること。

ウ 活動協力職員数

41名

③ 研修

ア 第1回研修会

(ア) 実施日：平成20年1月23日(水)

(イ) 場所：白山会館(支援ボランティア)
新潟市役所(活動協力職員)

(ウ) 内容：「G8労働大臣会合について」
「ボランティア(活動協力職員)
に期待する役割について」

講師：厚生労働省大臣官房国際課課長補佐



国際儀礼についての解説本や観光ガイドブックなどを教材として配布

イ 第2回研修会

(ア) 実施日：平成20年3月12日(水)

(イ) 場所：白山会館(支援ボランティア)
新潟市役所(活動協力職員)

(ウ) 内容：「好感を持たれる接遇とコミュニケーションの基本原則」
講師：(有)MHコンサルティング代表 松永 晴美氏

ウ 第3回研修会(支援ボランティアのみ実施)

(ア) 実施日：平成20年3月29日(土)

(イ) 内容：会合会場及び市内の代表的文化施設等の視察

(ウ) 視察先：朱鷺メッセ、北方文化博物館、みなとびあ、リゅーとびあ

(エ) その他：支援ボランティアの愛称を討議、「Niigata Welcome Crew」に決定。

エ 第4回研修会(支援ボランティア、活動協力職員合同研修)

(ア) 実施日：平成20年4月25日(金)

(イ) 第1部

- a 場 所：新潟市役所第二分館3階2008年サミット推進課
- b 参加者：リエゾン帯同支援ボランティア、リエゾン帯同活動協力職員
- c 内 容：「G8労働大臣会合概要説明と準備状況」
- 講 師：厚生労働省大臣官房国際課 G8労働大臣会合開催準備室長

(ウ) 第2部

- a 場 所：新潟市役所本館6階講堂
- b 参加者：支援ボランティア、活動協力職員(第1部参加者を含む。)
- c 内 容：「会合開催に向けた心構えについて」
- 講 師：厚生労働省大臣官房国際課 G8労働大臣会合開催準備室長
- 内 容：「各主要行事について(活動内容の説明)」
- 講 師：下記行事の担当者
- 歓迎行事、産業展示・実演、新潟県・新潟市主催レセプション、日本文化鑑賞、果物のおもてなし
- ※各行事に分かれて活動内容の詳細を説明

③ 各国大使らの視察受け入れ

(関連項目：P.80)

① 大使館員等

ア 実施日

平成19年11月28日(水)～29日(木)

イ 参加者

国名	役職
カナダ	二等書記官
フランス	財務副参事官
ドイツ	参事官
イタリア	領事補佐
ロシア	総領事
イギリス	經濟部アシスタント
イギリス	一等書記官 ※朱鷺メッセ視察のみ参加
アメリカ	一等書記官
E U	一等書記官
I L O	駐日事務所次長

ウ 視察先

朱鷺メッセ、北方文化博物館、リ्यूとびあ、亀田製菓(株)、今代司酒造(株)、ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟

エ 宿泊・晩餐会

月岡温泉 白玉の湯 華鳳別邸「越の里」(新発田市)

② 大使・公使視察

ア 来訪期日及び来訪者

期 日	国・機関名	職 名	氏 名(敬称略)
平成20年2月18日(月)～19日(火)	EU	大使	ヒュー・リチャードソン
平成20年2月20日(水)～21日(木)	アメリカ	公使	ロバート・セクタ
平成20年3月10日(月)	ロシア	大使	ミハイル・ミハイロヴィチ・ペーレイ
平成20年3月10日(月)～11日(火)	カナダ	大使	ジョゼフ・キャロン
平成20年3月13日(木)～14日(金)	ドイツ	大使	ハンス＝ヨアヒム・デア
平成20年3月18日(火)	フランス	公使	クリストフ・ブノ

イ 表敬訪問

- (ア) 知事、市長
- (イ) ゆかりのある大学学長
 駐日カナダ大使：新潟大学
 駐日ドイツ大使：新潟国際情報大学
- (ウ) その他
 駐日アメリカ公使：新潟商工会議所副会頭

ウ 主な交流イベント

- (ア) 講演会
- 駐日欧州委員会代表部大使
(新潟商工会議所・新潟経済同友会・協議会主催、日本貿易振興機構後援)
 - 駐日カナダ大使(新潟県農業協同組合中央会主催)
 - 駐日ドイツ大使(新潟日独協会主催)
 - 駐日アメリカ公使(新潟日米協会主催)
- (イ) 情報意見交換会
 駐日ロシア大使

エ 主な視察先

- (ア) 駐日欧州委員会代表部大使：北方文化博物館、カーブドッチ
- (イ) 駐 日 カ ナ ダ 大 使：朱鷺メッセ展望室、みなとびあ、新潟大学五十嵐キャンパス、新発田城址(新発田市)、清水園・足軽長屋・武家屋敷(新発田市)
- (ウ) 駐 日 ロ シ ア 大 使：朱鷺メッセ、燕喜館、諸橋弥次郎農園(イチゴ農園)
- (エ) 駐 日 ド イ ツ 大 使：新潟市中央卸売市場、ナミックステクノコア(新発田市)
 新潟カトリック教会、カーブドッチ、佐潟、新潟国際情報大学
- (オ) 駐 日 ア メ リ カ 公 使：朱鷺メッセ、みなとびあ、北方文化博物館、亀田製菓(株)
 今代司酒造(株)
- (カ) 駐 日 フ ラ ン ス 公 使：朱鷺メッセ、みなとびあ、北方文化博物館、リ्यूとびあ

③ G8労働大臣会合担当職員視察

平成20年2月28日(木)～29日(金)千葉市美浜区で開催されたG8労働大臣会合準備会合(主催厚生労働省)にさきがけ、ドイツ及びイギリスのG8労働大臣会合担当職員及び両国の大使館員を対象に会合会場、各国宿泊先ホテルなどの視察会を行った。

ア 実施日

平成20年2月26日(火)～27日(水)

イ 参加者

ドイツ及びイギリスの各事務担当者6名

ウ 視察先

今代司酒造(株)、(株)加島屋、朱鷺メッセ、みなとびあ、北方文化博物館、ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟

④ アウトリーチ(インドネシア)大使館員視察

ア 実施日

平成20年3月27日(木)～28日(金)

イ 参加者

1名

ウ 視察先

朱鷺メッセ、北方文化博物館、みなとびあ、リ्यूとびあ、ぼるとカーブドッチ、亀田製菓(株)、ホテルオークラ新潟、ホテル日航新潟

4 宿泊・輸送

① 宿泊

厚生労働省の宿泊業務が円滑に進むよう、市内宿泊施設との連絡調整等の支援を行った。

ア 会合参加者等の宿泊施設

各国・機関代表团 ホテルオークラ新潟
 厚生労働省関係者 ホテル日航新潟

イ 協議会による支援内容

- (ア) 市内宿泊施設との連絡調整
 厚生労働省での決定事項の連絡 等
- (イ) 厚生労働省への情報提供
 市内宿泊施設の耐震構造について 等
- (ウ) 市内宿泊施設からの情報収集

② 輸送

会合参加者の移動を円滑に行うため、厚生労働省の要請により車両を手配し輸送を行った。

ア 地元の関与(県)

厚生労働省に提供した県公用車(運転手つき)

- ・セダン(プリウス) 3台(5月10日(土)～13日(火))
- ・ミニバン(セレナ、エスティマ) 2台(5月11日(日)～13日(火))
- ・大型バス、中型バス、小型バス 各1台(5月11日(日)～13日(火))

イ 厚生労働省が運行した車両(参考)

- (ア) 日 時
 平成20年5月10日(土)～13日(火)
- (イ) 各国・機関代表团用車両
- ・トップ用セダン(ハイブリッド車<トヨタ プリウス>) 各代表团につき1台
 - ・随員用ワゴン(6～9人用) 各代表团につき1台
- (ウ) その他車両
- ・燃料電池バス(平成20年5月11日(日)～13日(火))
 - ・各国・機関代表の会場間輸送バスとして使用



5 地元対応

自治会長などを対象に、会合の開催概要及び会場周辺の警備措置などを説明し、住民に協力を依頼した。

① 実施主体

協議会

② 住民説明会

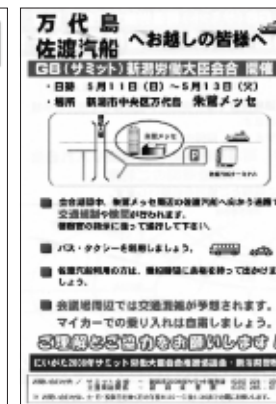
	実施日	説明対象者	区	会場
ア	H19.8.21	中央区自治協議会委員 37名	中央区	新潟市役所本庁舎
イ	H20.1.23	本庁地区自治会長 172名	中央区	新潟市役所本庁舎
ウ	H20.1.25	中央区自治協議会委員 37名	中央区	新潟市役所本庁舎
エ	H20.1.29	東区コミ協連絡会議 12名	東区	新潟市東区役所
オ	H20.1.30	鳥屋野地区自治会長 136名	中央区	新潟市南出張所
カ	H20.2.1	東地区自治会長 92名	中央区	新潟市東出張所
キ	H20.2.7	江南区コミ協連絡会準備会 8名	江南区	新潟市江南区役所
ク	H20.2.15	関屋地区自治会長 48名	中央区	関屋コミュニティハウス
ケ	H20.2.20	入舟地区自治会長 51名	中央区	北部コミュニティセンター
コ	H20.4.11	沢海地区代表区長ほか 6名	江南区	横越農村環境改善センター
サ	H20.5.11	行形亭周辺交通混雑予想地域(各世帯個別訪問)	中央区	新潟県・新潟市主催レセプション会場周辺の住民に交通混雑のお知らせを実施。

※ア～コについては、新潟県警察本部同席

※オ、キ、ク、ケについては、第九管区海上保安本部同席



新潟県警察本部配布資料(表)



新潟県警察本部配布資料(裏)



第九管区海上保安本部配布資料

⑥ 歩行者用サイン整備（外国語併記）

（関連項目：P.86）

① 実施主体

新潟市（担当：中央区建設課）

② スケジュール

- ・平成19年 7月30日(月) 新潟市サイン推進協議会で整備方針説明
- ・平成19年12月18日(火) 12月議会 補正予算可決
- ・平成20年 3月31日(月) サイン整備完了

③ 整備状況

5カ国語標記帆船型都市サイン設置

(英・中・韓・露・日)

分岐点サイン	7カ所	新設
拠点サイン	1カ所	既設盤面修正
分岐点サイン	25カ所	既設盤面修正

④ 実施場所



⑦ 英語版街歩き支援マップの作成と配布

（関連項目：P.86）

① 実施主体

(財)新潟観光コンベンション協会

② 配布時期

平成20年4月～

③ 配布先

- ア コングレスバッグ、ブレスキットに同封
- イ 新潟駅万代口観光案内所
- ウ 市内ホテル32カ所

④ 記載エリア

朱鷺メッセ、新潟駅、万代エリア、古町エリア周辺

⑤ 記載情報

- ア コンビニ、菓子店、お土産屋、換金所、レストラン、ナイトライフ（居酒屋、パブ等）、みなとびあなどの見所
- イ 会合開催期間中のイベント情報

(ア) ポストン美術館浮世絵名品展	平成20年4月15日(火)～5月13日(火)
(イ) 新潟市いけばな芸術展	平成20年5月8日(木)～13日(火)
(ウ) ロシア絵画といけばな展	平成20年5月8日(木)～13日(火)
(エ) 古町どんどん	平成20年5月10日(土)～11日(日)

⑥ 作成部数

3,000部

⑧ クリーンアップキャンペーン

(関連項目：P.87)

① 柳都クリーンアップキャンペーン

ア 主催

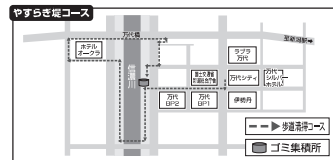
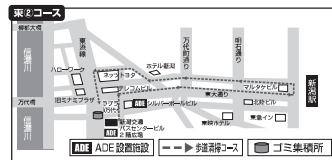
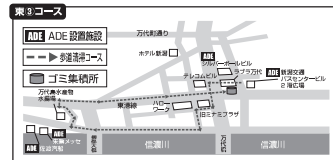
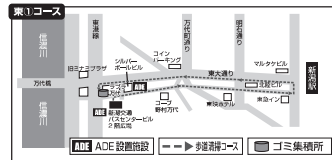
新潟市保健所、新潟市住みよい郷土推進協議会

イ 日時

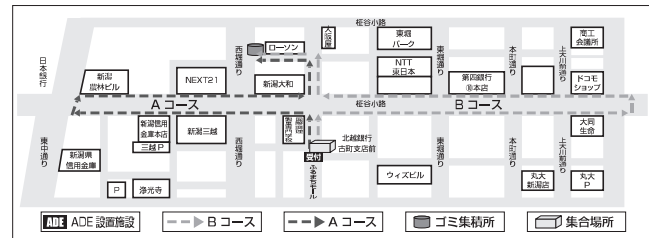
平成20年4月27日(日) 9:30～11:00

ウ 場所

(ア) 東新潟会場 登録数 39団体 979名参加



(イ) 西新潟会場 登録数 23団体 457名参加



② 地元中学生によるクリーン作戦

ア 主催

宮浦中学校生徒会、宮浦中学校区青少年育成協議会

イ 日時

平成20年5月8日(木) 15:00～16:00

ウ 場所

万代島朱鷺メッセ周辺

③ 実施内容

歩道上や歩道内植え込みに捨てられている吸殻、空き缶、その他のゴミの清掃作業

⑨ 防犯・防火対応

① 防犯

ア セーフティゾーンでの繁華街環境健全化パトロール

(ア) 実施主体：新潟市（市民総務課、中央区）県警、地元自治会など（参加者 30名）

(イ) 日 時：平成20年5月9日(金) 20:00～21:30

(ウ) 場 所：新潟駅前

(エ) 内 容：地元商店街などと協働して、客引きやピンクビラ配布などの禁止行為に対する注意喚起や防犯パトロール活動を実施した。

※セーフティゾーン（市ホームページより）

「新潟市犯罪のない安心・安全なまちづくり条例」に基づき、市民、警察、市が協働して重点的に防犯活動を推進する地域

イ サミット・セーフティスタッフ強化作戦

(ア) 実施主体：宮浦中学校区セーフティスタッフ、宮浦中学校区青少年育成協議会

(イ) 期 間：平成20年5月12日(月)～13日(火)

(ウ) 場 所：会合会場周辺

(エ) 目 的：会合会場近郊の不審者対策も合わせて、子供たちの登下校時における見守りを強化する。

(オ) 内 容：セーフティスタッフによる会場周辺の見守りを強化した。

② 防火

ア 消防車両による防火広報

(ア) 実施主体：新潟市消防団

(イ) 実 施 日：平成20年5月9日(金)～13日(火)

(ウ) 場 所：市内一円

(エ) 目 的：市民に防火を呼びかけ、火災のない安心・安全な街で会合参加者を迎える。

(オ) 参 加 者：新潟市消防団 延べ485隊—970名

(カ) 内 容：新潟市消防団8个方面隊の全てが消防車両による防火広報を実施した。

イ 巡回警備

(ア) 実施主体：新潟市消防団

(イ) 実 施 日：平成20年5月11日(日)～13日(火)

(ウ) 場 所：会合会場を含む各イベント会場周辺

(エ) 目 的：会合会場を含む各イベント会場周辺を徒歩により巡回警備を行い、火災のない安心・安全な街で会合参加者を迎える。

(オ) 参 加 者：新潟市消防団 延べ15隊—30名

(カ) 内 容：新潟市消防団のうち、各イベント会場を管轄する2个方面隊が、警備重要施設である会合会場を含む各イベント会場周辺を徒歩により巡回警備を行った。

10 工事調整

① 実施主体

各工事関係機関(説明、情報提供は協議会)

② 実施日

会合開催期間中(平成20年5月11日(日)～13日(火))

③ 実施場所

各国・機関代表動線となるのが予想される道路

④ 打合せ等

期 日	場 所	対 象
平成19年9月4日(火)	新潟市役所	市関係部局(工事関係16課)
平成19年9月25日(火)	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所
平成19年9月26日(水)	東北電力(株)新潟支店	東北電力(株)新潟支店
平成19年9月26日(水)	北陸ガス(株)新潟支社	北陸ガス(株)新潟支社 設備工事グループ
平成19年9月26日(水)	NTT東日本-新潟支店	NTT東日本-新潟設備部サービス運営部門
平成19年10月26日(金)	新潟市役所	国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所 工事関係4課 県 工事関係3課 市 工事関係8課

⑤ 目 的

会合開催中の各国・機関代表の円滑な移動の確保

⑥ 内 容

協議会は工事関係機関等が適切な協力をできるよう、会合の概要や協議会、県及び市の取り組みについて説明した。

これを受けて関係機関は、関係者の移動に際し支障を来さないよう工事日程の調整を行った。

11 危機管理

① 実施主体

協議会

② 警備関係

- ア 会合期間中の警備は厚生労働省が実施した。
- イ 開催決定当初から、第九管区海上保安本部、新潟県警察本部との連絡調整を実施した。
- ウ 地元主催イベントの実施計画作成にあたり、第九管区海上保安本部、新潟県警察本部などと協議を行った。

③ 危機管理関係

新潟市サミット推進本部ワーキングチーム会議及び危機管理部門会議を実施し、連絡体制などについて協議し、会合期間中の連絡体制を構築した。

④ 救急医療関係

- ア 新潟市サミット推進本部ワーキングチーム危機管理部門会議及び関係機関などとの連絡調整を行った。
- イ 厚生労働省からの要請により、新潟市消防局が会合期間中の朱鷺メッセへの救急隊1隊(高規格救急車1台、救急救命士1名を含む救急隊員3名)の配置を行った。
- ウ 搬送先の確保のため、新潟市保健所から各医療機関に協力を依頼した。

⑤ ライフライン関係

- ア ライフライン関係機関(NTT、東北電力、北陸ガス、新潟市水道局、新潟県警察本部)などとの連絡調整を行うとともに、会合期間中の連絡窓口を相互に確認した。
- イ ライフライン機関の主な対応
 - (ア) 東 北 電 力：連携配電線による対応準備、応急用電源車、現地待機者など
 - (イ) 新潟市水道局：飲食を供する施設(北方文化博物館、行形亭、ぼるとカーブドッチ)に給水車を待機

⑥ I D

【協議会の担当部分】

県・市職員、ボランティア、地元主催イベントの関係者・招待客などの申請取りまとめ、受領後のID配付(ID発行数約800枚)

⑦ 車両通行許可証

【協議会の担当部分】

県・市関係車両、地元主催イベントの関係者用車両の申請取りまとめ、受領後の車両通行許可証の配付

⑧ 通行証

【協議会の担当部分】

地元主催イベントの関係者用車両の申請取りまとめ、受領後の車両通行証の配付、通行証の作成

① イベントでのPR

(関連項目：P.89)

① 新潟まつりー 2008 年サミットパレード隊

ア 実施主体 _____
協議会

イ 実施日 _____
平成 19 年 8 月 4 日(土)

ウ 参加団体(五十音順・敬称略) _____
(有) インテグレート・グラフィックス、AD. LAND、eight、オフィスカイ、クリ
エイティヴランド晴れ日、厚生労働省新潟労働局、(社) 東北経済連合会、新潟航空サービス
(株)、新潟交通観光バス(株)、新潟市異業種交流研究会協同組合、新潟市立新潟小学校、新
潟市旅館協同組合、新潟大学留学生有志、学校法人新潟総合学院日本アニメ・マンガ専門学校、
(社) 日本ホテル協会信越支部新潟市ホテル連絡協議会、(社) 日本旅行業協会関東支部新潟県
地区会、万代タクシー(株)有志、東日本電信電話(株)新潟支店、Frame

エ 参加人数 _____
93 名

② 新潟てるさ春祭りー G8 労働大臣会合サミットブース

ア 実施主体 _____
協議会

イ 実施日 _____
平成 20 年 3 月 22 日(土) ～ 23 日(日)

ウ 会場 _____
新潟テルサ 1 階ホワイエ

エ 展示品 _____
・サミット通信
・会合の概要リーフレット(日・英)
・会合ロゴマーク
・会合ポスター(協議会作成)
・各国国旗バナー

② プレスツアーの実施

(関連項目：P.90)

① 新潟市主催プレスツアー

ア 実施日 _____
平成 19 年 11 月 12 日(月) ～ 13 日(火)

イ 参加メディア _____
6 カ国・8 社(中国 2 社、フランス 2 社、アメリカ 1 社、イスラエル 1 社、タイ 1 社、スペイン 1 社)

ウ 訪問先 _____
(ア) 11 月 12 日(月)
朱鷺メッセ、新潟東港、(株)新潟国際貿易ターミナル、今代司酒造(株)
(イ) 11 月 13 日(火)
新潟市中央卸売市場、新潟市役所(市長会見)、鍋茶屋(芸妓取材)
りゅーとびあ(Noism(ノイズム)取材※)
※りゅーとびあ専属のダンスカンパニー

② 新潟県主催プレスツアー

ア 実施日 _____
平成 20 年 3 月 27 日(木) ～ 28 日(金)

イ 参加メディア _____
ヨーロッパ通信社 1 社及び 6 カ国・6 社(イタリア 1 社、台湾 1 社、イスラエル 1 社、ロシア
1 社、日本 1 社、韓国 1 社)

ウ 訪問先 _____
(ア) 3 月 27 日(木)
(財) 環日本海経済研究所(ERINA)、亀田製菓(株)、諸橋弥次郎農園(イチゴ農園)、宝山
酒造(株)、ゆもとや(岩室温泉)
(イ) 3 月 28 日(金)
フラワーファームにしわき(チューリップ農園)、新潟県保健環境科学研究所、鍋茶屋(芸
妓取材)、横田めぐみさん拉致現場、朱鷺メッセ(ジュニア労働サミット取材)

③ G8 労働大臣会合準備会合での新潟PR

(関連項目：P.91)

① 実施日

平成 20 年 2 月 28 日(木) ～ 29 日(金)

② 場 所

(財)海外職業訓練協会(千葉県千葉市美浜区)

③ 目 的

会合準備会合の参加者に対して、新潟の魅力などを伝える。

④ G8 労働大臣会合準備会合の概要

ア 開催目的

会合の円滑な開催・運営のために、会合で取り上げるべき議題及びその内容、会合日程等について協議を行う。

イ 参加者

各国・機関の事務レベル担当者(労働・雇用担当省局長及び課長級)

ウ 議 長

厚生労働省大臣官房国際課国際企画室長

⑤ 内 容

ア 会合運営支援

- (ア) 新潟 PR 展示の実施
- (イ) 新潟に関する問い合わせへの対応
- (ウ) レセプション準備
- (エ) 新潟 PR を目的とした物品の提供
 - ・レセプション用新潟清酒
 - ・会議用飲料水(新潟市水道局「柳都物語」)
 - ・コングレスキット用日英併記パンフレット
 - ・市広報 DVD
 - ・乾杯用の枱(「新潟」の文字の刻印入り)



イ 非公式日程の案内

- (ア) J1 リーグ公式戦
「アルビレックス新潟 VS ジュビロ磐田」サッカー観戦
- (イ) 音楽鑑賞
小澤征爾指揮新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会



G8 労働大臣会合準備会合の取材のために新潟から訪れた報道関係者

④ ジュニア労働サミットの開催

(関連項目：P.92)

① 実施主体

ア 主 催

協議会

イ 後 援

厚生労働省、外務省、県、市

② 日 時

平成 20 年 3 月 28 日(金) 13:00～16:00

③ 会 場

朱鷺メッセ 4 階マリンホール

④ 参加者

- ア G8 各国ジュニア代表 16 名(各国 2 名)
- イ 市内中学生 170 名(市内中学校から募集した中学生)

⑤ 会 議

ア テーマ

「あなたは何のために働くのですか？」

～誰かの役に立ちたいから・・・、それとも生活の糧を得るためですか？～

イ 構 成

- (ア) 第一部 将来どのような仕事をしたいのか
主に各国ジュニア代表からのコメントを中心に展開

- (イ) 第二部 働きやすい環境・働き甲斐のある社会を創るには？
仕事をより充実したものにするために「働きやすい環境・働き甲斐のある社会を創るにはどうしたらよいか？」について、参加者である市内中学生も交えて討論

.....
議題 1：格差社会を考える

議題 2：労働時間を考える

議題 3：男性の役割？女性の役割？
.....

⑥ パネル展示

ア 実施主体

厚生労働省

イ 展示場所

平成20年5月11日(日)～13日(火) 会合開催期間中

朱鷺メッセ4階マリンホール入口脇に展示

平成20年5月14日(水)～18日(日) G8 労相会合展開催期間中

朱鷺メッセ2階エスプラナード

平成20年6月2日(月)～6日(金) 市役所本館玄関脇

ウ 概要

ジュニア労働サミットで話し合われたことや会合への提言などを各国・機関代表に伝えるため、内容をパネル3枚にまとめ、会合期間中、メイン会場であるマリンホール入口脇に展示した。

エ パネル構成

パネル1- ジュニア労働サミット概要、各国ジュニア代表者紹介

パネル2- ミニツアー、ジュニア労働サミット風景

パネル3- 「G8 労働大臣会合」への提言

「ジュニア労働サミット」からの「G8労働大臣会合」への提言

2008年3月28日、この朱鷺メッセ「マリンホール」において、私たちG8各国代表の少年少女16名と、新潟の中学生170名は、“働く”ことについて、みんなで考え、そして話し合いました。

一言で“働く”と言っても、それぞれの国の歴史や風土によっていろいろな考え方があり、約3時間の話し合いはあっという間に過ぎてしまいました。

私たちが話し合った内容は次のとおりですので、G8労働大臣会合に報告します。

私たちはこれから大人になり、働き始めますが、それまで引き続き、これらのことについて考え、どんな職業に就きたいのか、“働く”ということはどういうことなのか考えていきます。

1. 格差社会について

良くないことであるが、現代社会において格差は確かに存在します。

格差があっても、全ての人々に平等にチャンスが与えられるような社会の仕組み作りが必要だと考えます。

2. 労働時間について

仕事と生活はどちらも大事であり、両者のバランスが重要です。

人それぞれの考え方や人生設計によって、たくさん働きたい人は働けるように、そんなに働かなくてもいい人はそんなに働かなくてもいいというような、労働時間を柔軟に選択できる仕組み作りが必要と考えます。

また、極端な働き過ぎはよくないので、長時間労働をしないような仕組み作りも必要と考えます。

3. 男性と女性の役割について

男性も女性も平等な存在であり、仕事や育児のために片方が犠牲になるのが良い人生ではないと考えます。

男性と女性の両方にとって豊かな人生を送るためにはバランスが重要であり、どうしたらいいかお互いによく話し合うことが大切だと考えます。

⑦ ミニツアー

ア 実施主体

協議会

イ 日時

平成20年3月27日(木)

ウ 目的

ジュニア労働サミット開催前日に新潟の街に親しみ、子どもたち同士が打ち解けるために実施した。

エ 参加者

G8各国ジュニア代表16名

オ ツアー内容

- ・知事表敬訪問
- ・市長表敬訪問
- ・諸橋弥次郎農園訪問(イチゴ狩り体験と試食)
- ・しろね大風と歴史の館訪問(凧揚げ大会)

⑤ メディア・ミックス広報活動

(関連項目：P.94)

① 実施主体

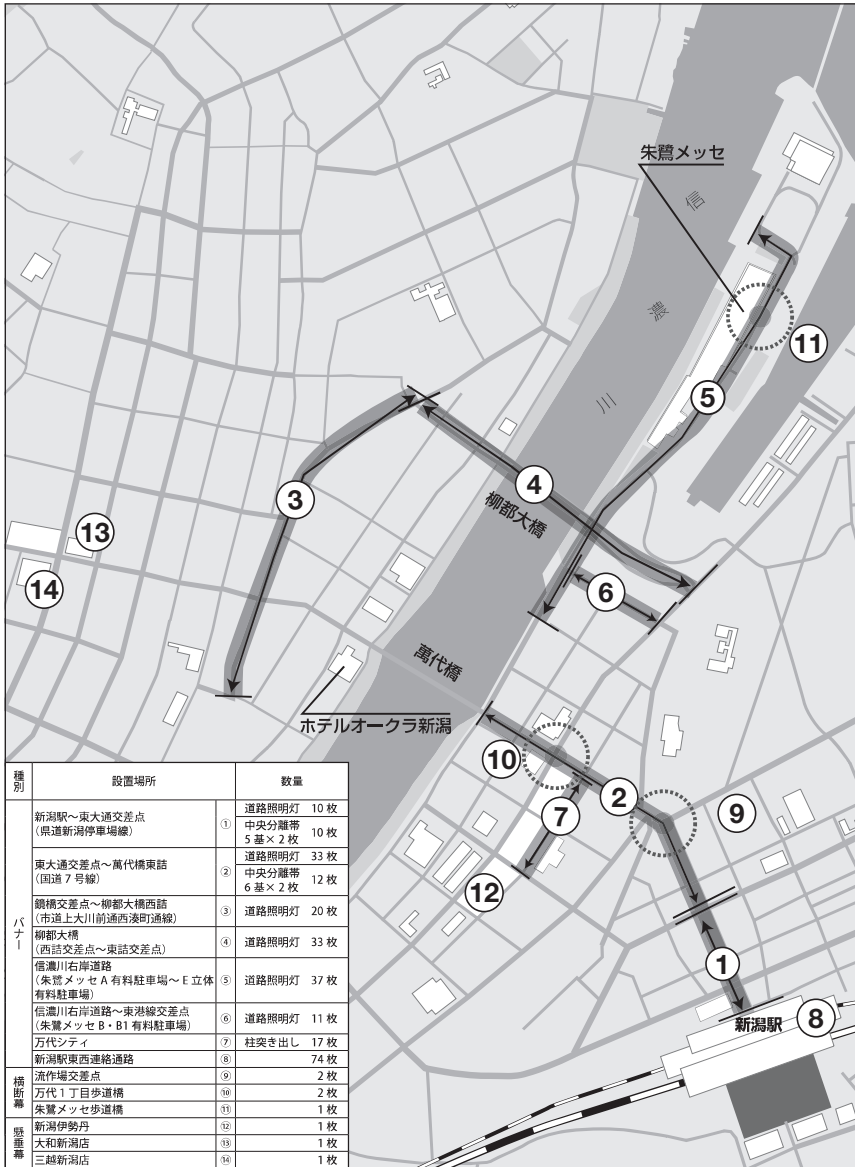
協議会

② スケジュール

項目	内容等	日程等	1月			2月			3月			4月			5月		6月	7月
			上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
市内装飾	バナーの設置	市内幹線道路 (183 枚) 新潟駅東西連絡通路 (74 枚)	平成 20 年 3 月 29 日～5 月 14 日															
	横断幕の設置	道路横断歩道橋 (5 枚)	平成 20 年 4 月 1 日～5 月 14 日															
	懸垂幕の設置	市内各デパート壁面 (新潟伊勢丹・大和新潟店・三越新潟店) 新潟駅前歓迎塔	平成 20 年 4 月 8 日～5 月 13 日															
	ポスター (B1 版 350 枚、B2 版 650 枚)	市役所本庁舎壁面 県・市庁舎・市施設・小中学校等	平成 20 年 3 月 1 日～5 月 14 日															
	バス広告	路線バス 4 台 (車体広告)	平成 20 年 4 月 1 日～5 月 13 日															
	ペロタクシー広告	ペロタクシー 1 台 (車体広告)	平成 20 年 4 月 1 日～5 月 13 日															
	公用車マグネットシート広告	新潟市所有公用車 140 台	平成 20 年 4 月 14 日～5 月 13 日															
	タクシーステッカー広告	新潟市ハイヤータクシー協会に貼付を依頼 (900 枚)	平成 20 年 5 月 1 日～5 月 14 日															
	商店街へのステッカー掲示	協同組合新潟古町商店街等に店舗への貼付を依頼 (4,000 枚)	平成 20 年 4 月 10 日～5 月 14 日															
	空港屋内看板広告	新潟空港旅客ビル内屋内広告板	平成 20 年 4 月 1 日～5 月 31 日															
広報の実施	新聞広告 (新潟県版)	1 「あなたの企画を応援します」 事業広報【募集】 ①新潟日報 (平成 20 年 1 月 8 日) ②新潟日報 (平成 20 年 1 月 24 日) 【認定事業 PR】 ③新潟日報 (平成 20 年 5 月 2 日) 2 会議開催告知及び交通規制協力依頼 ④新潟日報 (平成 20 年 5 月 1 日) ⑤中央 5 紙※ (平成 20 年 5 月 2 日) ⑥新潟日報 (平成 20 年 5 月 11 日) ※毎日、読売、朝日、日経、産経	平成 20 年 1 月 8 日～5 月 11 日															
	テレビ広告	会議開催告知及び交通規制協力依頼 BSN、NST、TeNY、UX (スポット広告 15 秒/80 回) ※各社は無料パブリシティも実施	平成 20 年 5 月 1 日～10 日															
	ラジオ広告	会議開催告知及び交通規制協力依頼 BSN、FM 新潟、FMPort、FMKENTO (スポット広告 20 秒/346 回) ※各社は無料パブリシティも実施	平成 20 年 4 月 20 日～5 月 13 日															
	新潟市広報誌「市報にいがた」	掲載内容 ・連載コラム「さみっと通信」 ・会合開催前特集記事 (開催告知) ・会合開催後特集記事 (開催報告)	平成 20 年 2 月 3 日～5 月 25 日 (随時)															
	ホームページの運営	掲載内容 ・G8 労働大臣会合及び G8 サミットの概要 ・各種情報提供 交通規制情報、イベント情報、ボランティア募集など	平成 20 年 1 月 28 日～7 月 31 日															
	市職員向け通信誌「サミット通信」発行	発行回数：5 回 掲載内容 ・G8 労働大臣会合及び G8 サミットの概要 ・朱鷺メッセの紹介 ・各国大使・公使の来訪	平成 19 年 10 月 24 日～平成 20 年 4 月 2 日 (随時)															

③ 資料

・バナー・横断幕・懸垂幕位置図



⑥ プレスリリース

① 実施主体

協議会

② プレスリリース一覧表

	発 表 日	発 表 元	タ イ ト ル	備 考
開催決定前	平成 19 年 1 月 12 日	市広報課	外務省等による国の視察調査について	
	平成 19 年 2 月 13 日	県国際交流課	参議院国際問題に関する調査会が来県します	
	平成 19 年 2 月 13 日	市広報課	参議院国際問題に関する調査会の来県について	
	平成 19 年 5 月 14 日	県知事政策局	サミット推進内連絡会議を設置しました	
	平成 19 年 5 月 25 日	県知事政策局	2008 年 G8 労働大臣会合の新潟開催にあたり、厚生労働省の視察調査が行われます	
	平成 19 年 5 月 25 日	市広報広聴課	厚生労働省による国の視察調査の実施について	
	平成 19 年 6 月 1 日	協議会	第 4 回にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会総会の開催について (お知らせ)	
	平成 19 年 6 月 1 日	協議会	第 4 回にいがた 2008 年サミット誘致推進協議会総会における厚生労働審議官への取材について (お知らせ)	
	平成 19 年 8 月 27 日	協議会	第 2 回にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会総会の開催について (お知らせ)	
	平成 19 年 8 月 29 日	協議会	G8 労働大臣会合新潟開催における主会場の決定について	
	平成 19 年 11 月 22 日	協議会	「G8 労働大臣会合新潟開催」大使館員等の新潟視察ツアーについて	
	平成 20 年 1 月 7 日	協議会	G8 労働大臣会合に向けて機運醸成を図るため「あなたの企画を応援します」事業を実施します	
	平成 20 年 1 月 17 日	協議会	第 1 回 G8 労働大臣会合市民ボランティア研修会を開催します	
	平成 20 年 1 月 18 日	協議会	G8 労働大臣会合イベント「ジュニア労働サミット」を開催します	
平成 20 年 2 月 8 日	協議会	各国・機関大使の来県について		
平成 20 年 2 月 8 日	協議会	2008 年 G8 労働大臣会合のロゴマークが決定しました		
平成 20 年 2 月 8 日	協議会	「あなたの企画を応援します」事業へ 17 件の応募がありました		
平成 20 年 2 月 8 日	協議会	2008 年 G8 労働大臣会合のロゴマークが決定しました 2 月から 3 月にかけて、5 カ国・1 機関の大使・公使が新潟県をご来訪される予定です	フォーリンプレスセンター及び日本外国特派員協会へ英文リリース	
平成 20 年 2 月 14 日	協議会	「G8 労働大臣会合新潟開催」駐日欧州委員会代表大使の新潟来訪について		
平成 20 年 2 月 18 日	協議会	「G8 労働大臣会合準備会」が開催されます	厚生労働省発表の「準備会合取材要領」を同時配布	
平成 20 年 2 月 19 日	協議会	「G8 労働大臣会合新潟開催」駐日米国大使館 G8 労働大臣会合担当公使が新潟に来訪されます		
平成 20 年 2 月 25 日	協議会	ドイツ及び英国の G8 労働大臣会合担当職員が新潟を視察します		
平成 20 年 3 月 4 日	協議会	「G8 労働大臣会合・厚生労働省記者懇談会」が開催されます		
平成 20 年 3 月 6 日	協議会	ロシア、カナダ、ドイツの各国大使が新潟に来訪します		
平成 20 年 3 月 10 日	協議会	「第 2 回 G8 労働大臣会合ボランティア研修会」を開催します		
平成 20 年 3 月 25 日	協議会	G8 労働大臣会合の開催機運醸成のため、歓迎バナー設置などの市内装飾を実施します		
平成 20 年 3 月 25 日	協議会	G8 労働大臣会合イベント「ジュニア労働サミット」を開催します		
平成 20 年 3 月 25 日	市中央区政策企画課 協議会	G8 労働大臣会合ラッピングベロタクシー & 新レンタルバイク (自転車) システム「Smart Cruise (スマートクルーズ)」発進式の開催について		
平成 20 年 4 月 10 日	協議会	「あなたの企画を応援します」認定事業、「おもてなしマップ」の配布がスタートしました		
平成 20 年 4 月 16 日	協議会	G8 労働大臣会合新潟開催記念子供たちのための国際理解教材を作成しました		
平成 20 年 4 月 16 日	市保健給食課	「サミット給食」の実施について		
平成 20 年 4 月 17 日	協議会	ILO 研究会議の参加者が、環境への取り組みを行っている北越製紙(株)新潟工場などを視察します		
平成 20 年 4 月 18 日	協議会	厚生労働省・松井大臣官房総括審議官による G8 労働大臣会合に関する記者懇談会が開催されます		
平成 20 年 4 月 23 日	協議会	「G8 労相会合展 - 世界から新潟へ、新潟から笑顔へ -」を開催します		
平成 20 年 4 月 24 日	協議会	市民ボランティアを対象とした研修会を開催します		
平成 20 年 4 月 24 日	市食と花の推進課	G8 労働大臣会合で新潟市食と花の名産品「越後姫」「チューリップ」を PR します		
平成 20 年 4 月 30 日	協議会	G8 労働大臣会合開催のポスターが新潟駅新幹線連絡通路に		

③ 新聞報道



・平成 19 年 5 月 11 日付け新潟日報(夕刊)
 「新潟開催 正式に決定」



・平成 20 年 2 月 19 日付け新潟日報
 「サミット前に新潟を視察 EU大使」



・平成 20 年 4 月 10 日付け新潟日報
 「サミット労相会合 開幕まで1カ月」



・平成 20 年 5 月 3 日付け新潟日報
 「支えます! 労相会合の裏方さん」
 ◎ボランティア



・平成 20 年 5 月 11 日付け読売新聞
 「受け入れ準備完了」



・平成 20 年 5 月 12 日付け新潟日報
 「市民団体相次ぎイベント」



・平成 20 年 5 月 12 日付け読売新聞
 「G8 Labour NIIGATA 開幕 新潟らしさ演出」



・平成 20 年 5 月 12 日付け新潟日報
 「サミット労相会合開幕」



・平成 20 年 5 月 17 日付け日本経済新聞
 「@news. 越後 G8 労相会合、「新潟宣言」採択」

7 県・市民企画の支援

(関連項目：P.98)

① 実施主体

協議会

② 事業名

G8 労相会合記念「あなたの企画を応援します」事業

③ 概要

会合開催前に、県内に活動拠点がある民間団体が実施する、労働や国際交流などをテーマにしたイベントやキャンペーンに対し、

- ・広報等による支援
- ・50万円を上限とした助成金交付による支援を行う。

④ 認定申請資格

県内に活動拠点(本店、支店など)を置く事業者、市民団体

⑤ 認定事業の対象

平成20年3月12日(水)～5月13日(火)に実施される事業の内、下記に該当するもの。

- ア 会合のテーマである「労働」「雇用」「人材」などに関する事業
- イ G8 各国の文化をモチーフとする事業
- ウ G8 各国の閣僚との交流や歓迎に直接・間接につながる事業
- エ その他、県民・市民の国際社会の理解や国際交流を促進する上で効果的であると考えられる事業

⑥ 認定事業の募集

ア 募集期間

平成20年1月7日(月)～2月7日(木)

イ 応募件数

17件

⑦ 審査及び事業実施結果

ア 審査基準

認定事業の審査は、審査委員会により行われ、次の基準により認定事業を決定した。

- (ア) テーマ性
- (イ) 創意
- (ウ) 実現性
- (エ) 機運醸成に対する貢献度

イ 審査結果

認定：10件(うち、辞退1件)

ウ 事業実施結果

事業名	事業概要	実施時期	実施場所	主催者	実績
G8労働大臣会合開催記念ホテルレストラン企画「グルメサミット」	○サミット参加7カ国の料理を楽しむイベント ○5つのホテルそれぞれのメニューが登場	H20.4.1～5.13	・万代シルバーホテル ・ホテルイタリア軒 ・ホテルオークラ新潟 ・ホテル新潟 ・新潟グランドホテル	(社)日本ホテル協会信越支部 新潟市ホテル連絡協議会	4,785名
「サミットって何?知ってもらって、行ってもらって!」キャンペーン	○オープン懸賞:サミット関連の簡単なクイズに答えて、フランス・パリへの旅行が当たる ○にいがた・プリントサミット:G8各国の情報媒体(新聞やガイドブック等)や物産の展示(朱鷺メッセ)	H20.4.11～5.10	市内JTB各店舗 朱鷺メッセ	JTB関東 法人営業部新潟支店	応募総数 311件 チラシ配布 4,750枚
G8記念「映画で労働問題を考える」	第1部:労働をテーマとした映画上映会開催 上映作品:「モダン・タイムス」 「三池 終わらない放屁の物語」 第2部:労働問題を広範に語るシンポジウムを開催	H20.5.10	シネ・ウインド	G8記念・新潟で労働問題を考える会	76名
パネル展示「G8参加国のワーク・ライフ・バランス比較」	G8各国のワーク・ライフ・バランスに対する取り組みをまとめたパネル展示	H20.4.23～5.13	①朱鷺メッセアトリウム2階(～5/6) ②新潟市男女共同参画センター「アルザにいがた」(5/7～)	にいがた女性会議	展示会場だけでなくテレビや新聞の広報により目標値を上回った。
食と花から知るG8	「第1回世界のらん&夢フェスタ2008会場内ブース企画」 G8各国を代表的する花の写真パネルによる展示、名物料理の展示、特産品の展示、国歌の紹介など	H20.4.29～5.5	朱鷺メッセ 展示ホールA	(株)新潟総合テレビ	17,766名
「未来を拓く!若者G8」	第1部:テーマ「考えよう!若者サポートの現状とこれからのあり方」 ①基調講演: 「プライドワークー誰も教えてくれなかった、若者の生き方・働き方」 ②若者支援フォーラム: 「若者サポート事情～新潟・日本・世界の状況から～」 第2部:テーマ「話し合おう!世界のワーク&ライフスタイル」 フォーラム:G8各国の若者を招いて、日本のワーク&ライフスタイルがどうあるべきか話し合う。	第1部 H20.5.3 第2部 H20.5.11	万代市民会館 多目的ホール	うちのスペース にいがた	第1部 70名 第2部 50名
モダンダンス五十嵐理美子洋舞踊研究所 第33回定期公演「サミットによせて」	○G8各国の代表的な楽曲に合わせた踊り ○題目:米「星条旗は永遠に」、カナダ「赤毛のアン」等	H20.5.6	新潟県民会館	五十嵐理美子 洋舞踊研究所	昼の部1,700名 夜の部1,000名
G8労働大臣会合をきっかけに「にいがたから児童労働について考えていこう!」	発展途上国における児童労働に関する講演会 「児童労働って何?～考えよう、未来を担う子どもたちのごとく～」	H20.5.11	新潟県教職員組合会館 3階 大会議室	特定非営利活動法人 新潟国際 ボランティアセンター	100名
G8労働大臣会合開催記念「記念手拭い」	○環境への取り組みを象徴する朱鷺の柄をデザインした手拭いを作成 ○福祉施設に寄贈するほか、希望者に有料で販売	H20.5.10～	-	(株)池田看板	黒(6,200)397枚 白(61,200)93枚 合計 490枚

⑧ 広報関係

ア 企画募集チラシの設置

新潟市役所、新潟県庁、文化施設(図書館、美術館等)、学校(大学、県内専門学校等)、
(財)新潟県国際交流協会、(財)新潟市国際交流協会ほか

イ 新聞広告

(ア) 企画募集(平成20年1月8日付け新潟日報、平成20年1月24日付け新潟日報)
(イ) 認定事業のPRと参加の呼びかけ(平成20年5月2日付け新潟日報)

ウ 市報にいがた

(ア) 企画募集(平成20年1月13日付け2133号)
(イ) 認定事業のPRと参加の呼びかけ(平成20年4月13日付け2146号)

⑧ 国際理解教材の作成と配布

(関連項目：P.100)

① 実施主体

協議会

② 教材概要

- ア サミットや会合についての基本を理解できる構成とした。
- イ 子どもたちの旺盛な知的好奇心に応えられるよう、写真や図、イラストを多用するとともに、クイズ・ゲーム方式(双六)を採用した。
- ウ 国際交流・国際協力事業の振興や指導などで活躍している羽賀友信氏(長岡市国際交流センター長)に監修を依頼した。
- エ 教材が活用される教育現場からの意見を反映させるため、教材作成作業を教諭と共同で実施した。

【作成協力者】(所属は平成20年5月11日現在)

巻南小学校	教諭	井口 昭夫 氏
濁川小学校	教諭	石川 緑郎 氏
太夫浜小学校	教諭	山崎絵梨奈 氏
燕西小学校	教諭	土田 利男 氏
白根北中学校	教諭	荒川 洋子 氏

③ 内容

教材名：この地球に生きている。

(構成)

- ・新潟から世界へ 新潟に世界の労働大臣たちがやってくる
- ・世界につながる新潟 新潟から見る世界
- ・考えてみよう 世界のいろいろな問題(少年兵、貧困、地球温暖化)
- ・世界もの知りすごろく

④ 作成部数

23,000部 (A1サイズ 八つ折)

⑤ 主な配布先

- ア 市内の小学校6年生(約7,600名)、新潟市内図書館など
- イ 県内の希望者

⑥ その他

国際理解教材の配布に合わせて、「G8労働大臣会合記念下敷き」を配布した。

【実施主体：新潟市教育委員会】

⑨ サミット給食

(関連項目：P.101)

① 実施主体

新潟市教育委員会

② 機関

平成20年4月21日(月)～5月2日(金)

③ 対象

市立小・中学校、幼稚園及び特別支援学校	全183校(園)	66,778名
小学校	114校	43,539名
中学校	57校	22,167名
幼稚園	11園	906名
特別支援学校	1校	166名

④ 献立

国	献立
日本	五目ちらしずし、若竹すまし汁、厚焼卵、ごまあえ、いちご
カナダ	バター入りライス、サーモンシチュー、メープルシロップのデザート、コールスローサラダ
フランス	バター入りライス、あさりのクリームスープ、とり肉の赤ワイン煮
ドイツ	ライ麦パン、バター、野菜スープ、カレーブルスト、ザワークラフト
イタリア	フルーツパン、ミネストローネ、ミラノ風チキンカツ、ミックスサラダ、乾燥ブルーベリー
ロシア	麦ごはん、ビーフストロガノフ、コーンサラダ
イギリス	丸パン、マーマレード、マッシュルームスープ、白身魚フライ、コルキャノン
アメリカ	ジャンバラヤライス、ポパイサラダ、ポイルソーセージ、オレンジ

⑤ 新潟市長会食

- ア 実施日：平成20年4月21日(月)
- イ 場所：市立万代長嶺小学校
- ウ 内容：ロシア料理

① 労働団体の取り組み

(関連項目：P.102)

① G8 労働大臣会合労組ブレイバント 「ディーセント・ワークを求めて～Labour is not a commodity～」

ア 実施主体

共催 日本労働組合総連合会、日本労働組合総連合会新潟県連合会

イ 日時

平成20年5月10日(土) 13:30～16:30

ウ 会場

新潟ユニゾンプラザ

エ 参加者

450名

オ 内容

(ア) 第1部 G8労働大臣会合って何?

講演者：ガイ・ライダー氏(ITUC *書記長)

ジョン・エバンス氏(TUAC 事務局長)

※ ITUC：国際労働組合総連合(The International Trade Union Confederation)

(イ) 第2部 ディーセント・ワークを求めて 問題提起と討論

パネリスト：中野麻美氏(弁護士)

西村智奈美氏(衆議院議員)

森永卓郎氏(経済アナリスト)

古賀伸明氏(日本労働組合総連合会事務局長)

② サミットアクション 「STOP！格差の拡大・固定化！守ろう！労働の尊厳！新潟行動」

ア 実施主体

日本労働組合総連合会新潟県連合会新潟地域協議会

イ 日時

平成20年5月10日(土) 10:00～12:00

ウ 会場

西大畑公園

エ 参加者

500名

オ 内容

(ア) 第1部 オープニング

(イ) 第2部 集会

(ウ) 第3部 街頭デモパレード

西大畑公園→榎谷小路→萬代橋手前(左岸側ホテルオークラ新潟付近)

③ 児童労働写真パネル展

ア 実施主体

共催 NGO-労働組合国際協働フォーラム、日本労働組合総連合会新潟県連合会

イ 期間

平成20年5月7日(水)～9日(金)

ウ 会場

NEXT21 1階

エ 内容

世界の児童労働の現状、NGOの取り組みなどの写真をパネル展示

④ G8 労働団体代表と連合新潟役員との意見交換会

ア 実施主体

日本労働組合総連合会新潟県連合会

イ 日時

平成20年5月12日(月) 9:30～10:30

ウ 会場

労福協会館

エ 参加者

G8労働団体代表20名、日本労働組合総連合会新潟県連合会役員15名、
日本労働組合総連合会本部6名、通訳1名

5月11日(日)

(関連項目：P.17)

① 到着

① 各国・機関代表新潟到着場所等一覧

各国・機関	到着日	到着場所	経由地
日本	5月11日(日)	新潟駅	—
カナダ	5月11日(日)	新潟駅	成田空港
フランス	5月11日(日)	新潟駅	成田空港
ドイツ	5月11日(日)	新潟駅	成田空港
イタリア	5月10日(土)	新潟駅	成田空港
ロシア	5月10日(土)	新潟駅	成田空港
イギリス	5月11日(日)	新潟駅	成田空港
アメリカ	5月10日(土)	新潟駅	成田空港
EU	5月11日(日)	新潟駅	成田空港
ILO	5月10日(土)	新潟空港	仁川空港(韓国)
OECD	5月10日(土)	新潟空港	上海空港(中国)
インドネシア	5月12日(月)	新潟駅	成田空港
タイ	5月11日(日)	新潟駅	成田空港

② 到着地出迎え

リエゾン、リエゾン帯同活動協力職員、リエゾン帯同支援ボランティア

② レジストレーション

① 場所

ホテルオークラ新潟2階ロビー

③ ソーシャルパートナーとの対話

① 日時

平成20年5月11日(日) 14:00～16:00

② 場所

朱鷺メッセ2階スノーホールB

③ 開催目的

各国・機関代表とソーシャルパートナー（国際的労使団体）との対話の機会を設ける。

④ 対話参加者

- ・ G8各国、EU、ILO、OECD
- ・ 経済産業諮問委員会(BIAC) (Business and Industry Advisory Committee)
- ・ 労働組合諮問委員会(TUAC) (Trade union Advisory Committee)

CHAPTER

2

第2章

G8労働大臣会合の開催

Holding of the G8 Labour and Employment Ministers Meeting

⑤ 進行概要

ア 第一部 開会及び全般情勢

舛添厚生労働大臣 開会の辞

イ 第二部 G8労働大臣会合のテーマについての意見交換

(ア) 長寿化と調和したバランスよい人生の実現

(イ) 労働弱者・地域間格差に対する政策的寄与

(ウ) 持続可能なグローバル社会への課題とG8の貢献

ウ 第三部 総括討議

ソーシャルパートナー (TUAC、BIAC) とは (OECD 日本政府代表部ホームページより)
 TUAC は加盟国の労働組合を、BIAC は民間経済団体を構成員とする組織です。OECD は 1962 年に国際的な非政府機関との協議を行う決定を行い、TUAC 及び BIAC を OECD と協議を行う非政府機関として認めました。例年、OECD 閣僚理事会ビューローとの協議 (4-5 月) や OECD と TUAC、BIAC 間の協議 (liaison committee、11-12 月) が開催されるほか、各委員会との間でも必要に応じて協議が行われています。TUAC には、日本労働組合総連合会 (連合) が参加しています。BIAC には、日本経済団体連合会 (日本経団連) が参加しています。

⑥ 写真撮影

4 政労使記者会見

① 日時

平成 20 年 5 月 11 日 (日) 16:30 ~ 17:00

② 場所

ホテル日航新潟 4 階クリスタルホール

③ 参加者

7 名

ア 政 府

厚生労働省 松井 一實 厚生労働省大臣官房総括審議官 (国際担当)

イ 労働者側

TUAC ジョン・スウィニー TUAC 会長
 AFL-CIO (アメリカ労働総同盟・産業別組合会議) 会長
 高木 剛 TUAC 副会長・日本労働組合総連合会会長
 ガイ・ライダー ITUC (国際労働組合総連合) 書記長
 ジョン・エバンス TUAC 事務局長

ウ 使用者側

BIAC 浅見 唯弘 BIAC 事務局長
 鈴木 正一郎
 日本経団連評議員会副議長・雇用委員会委員長・王子製紙会長
 ルイーズ・ヴァン・エンブデン・アンドレス
 VNO-NCW (オランダ産業・経営者連盟) 国際課長
 長坂 健二郎 BIAC 雇用・労働・社会問題委員会副委員長

⑤ バイ会談等 (日本が関連するもののみ)

	時間	内容	場所
5月11日	12:45 ~ 13:45	上川内閣府特命担当大臣 シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員 (EU)	ホテル日航新潟 4 階白鳳
	13:15 ~ 13:45	(懇談) ラズリー労働副長官 (アメリカ) 泉田知事	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
	14:00 ~ 14:30	(懇談) 上川内閣府特命担当大臣 篠田市長	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
	15:00 ~ 15:30	(懇談) 上川内閣府特命担当大臣 泉田知事	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
	18:20 ~ 18:50	舛添厚生労働大臣 ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官 (ドイツ)	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
5月12日	8:20 ~ 8:50	上川内閣府特命担当大臣 ソマビア事務局長 (ILO)	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
	14:00 ~ 14:30	舛添厚生労働大臣 グリア事務総長 (OECD)	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
	17:00 ~ 17:30	舛添厚生労働大臣 ソマビア事務局長 (ILO)	ホテル日航新潟 3 階孔雀 B
5月13日	10:30 ~ 11:00	舛添厚生労働大臣 スバルノ労働・移住大臣 (インドネシア)	朱鷺メッセ 4 階特別応接室

⑥ 歓迎行事

(関連項目：P.21)

① 実施主体

協議会

② 日 時

平成20年5月11日(日) 17:00～18:05 (実績)

③ 場 所

北方文化博物館

④ 参加者

ア 大広間

日 本	舩添厚生労働大臣
カ ナ ダ	シャレット人材資源・社会開発省次官
フ ラ ン ス	ド・ロピアン社会連帯担当大使
ド イ ツ	ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官
イ タ リ ア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
ロ シ ア	サフォノフ保健社会発展省次官
イ ギ リ ス	ティムズ雇用・福祉改革担当閣外大臣
ア メ リ カ	ラズズリー労働副長官
E U	シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
O E C D	グリア事務総長
タ イ	ウライワン労働大臣
日 本	上川内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)
新 潟 県	泉田知事
新 潟 市	篠田市長

イ 西門広場

(ア) 各国・機関代表、泉田知事、篠田市長(14名)

(イ) 各国・機関随行者(77名)

⑤ 概 要

ア 博物館エリア(各国・機関代表のみ)

(ア) 各国・機関代表出迎え 泉田知事、篠田市長、伊藤北方文化博物館長

(イ) 歓迎挨拶 泉田知事、篠田市長

(ウ) 呈茶

- ・100畳敷の大広間と相和した大庭・点茶
- ・呈茶 ・琴と尺八の演奏

(エ) 満開の藤棚の鑑賞

イ 西門広場エリア(各国・機関代表及び随行者)

(ア) 伝統行事鑑賞

a 餅つきの鑑賞と餅の試食

- ・地域住民による餅つき実演と餅の振る舞い
- ・新潟の米作・食文化に対する基本理解のお手伝い
- ※産業視察(亀田製菓(株)=米菓)との連携

b 鳶の梯子乗りと木造りの鑑賞

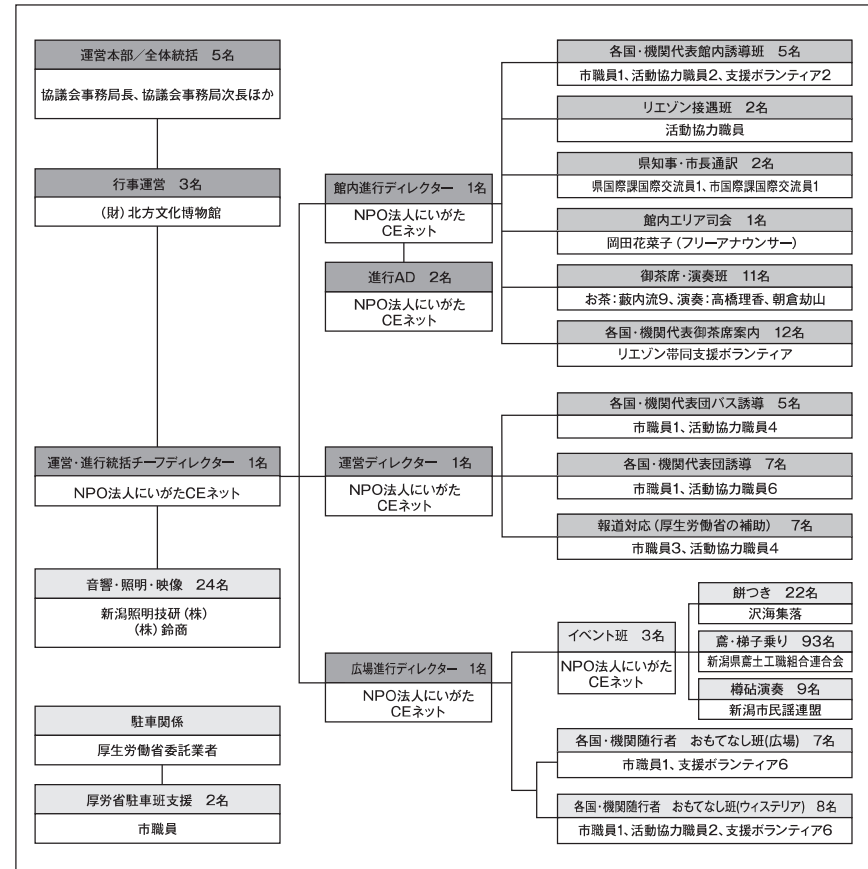
土木建築の職人である鳶の職を通じた伝統芸能

(イ) 子どもたちによる^{たると}樽砦の演奏

(ウ) 各国・機関代表見送り

泉田知事、篠田市長、伊藤北方文化博物館長

⑥ 運営体制



⑦ 産業視察

① 実施主体

厚生労働省

② 日 時

平成20年5月11日(日) 18:15～19:15

③ 場 所

亀田製菓(株)

④ 概 要

米菓の製造工程の見学

⑤ 参加者

日 本	上川内閣府特命担当大臣(少子化対策、男女共同参画)
フ ラ ンス	ド・ロビアン社会連帯担当大使
イ タ リ ア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
ロ シ ア	サフォノフ保健社会発展省次官
イ ギ リ ス	ティムズ雇用・福祉改革担当閣外大臣
ア メ リ カ	ラッズリー労働副長官
E U	シュピドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
O E C D	グリア事務総長
タ イ	ウライワン労働大臣

⑧ 厚生労働大臣主催レセプション・夕食会

① 日 時

平成20年5月11日(日) 19:45～21:45

② 場 所

ホテル日航新潟 4階朱鷺

③ 参加者

各国・機関代表 20名 (知事、市長含む)
各国・機関随行者 100名 (TUAC、BIAC含む)

④ 出迎え・誘導

新潟県着物の女王による各国・機関代表の出迎え
新潟県着物の女王による出席者の誘導

⑤ メニュー

カリフラワーのムースピラミッド仕立て キャビア添え
佐渡沖桜鱈のリエット フェネルの香り
旬野菜とトマトのジュレ 初夏を感じて
越後花びら茸と県産野菜(雪下人参、柔肌葱)のコンソメスープ
とうもろこしで育てた鴨を添えて
オマール海老のロティニ色ソース 二種類のアスパラと共に
吟醸酒のソルベ
新潟和牛フィレ肉のグリル ナッツの香りと旨味の詰まったソースで
村上茶のブランマンジェ黒糖のソース
お米と胡麻の洋風おこしに、チョコマシュマロを添えて
パン
コーヒー

⑥ アトラクション

奥村愛さんのヴァイオリンと西村正秀さんのギターの演奏
新潟県着物の女王から各国・機関代表に記念品の進呈
(ノーベルカトラリーセット)

5月12日(月)

(関連項目：P.31)

① G8労働大臣会合

① 場 所

朱鷺メッセ4階マリンホール

② オープニング

ア 日 時

平成20年5月12日(月) 9:00～9:30

イ オープニングスピーチ

舛添厚生労働大臣

ウ 前回開催国からの報告

ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官(ドイツ)

③ セッション1

ア 日 時

平成20年5月12日(月) 9:30～12:30

(コーヒーブレイク 10:30～10:50)

イ 議 題

「長寿化と調和したバランスよい人生の実現」

④ セッション2

ア 日 時

平成20年5月12日(月) 14:40～17:00

(コーヒーブレイク 15:20～15:40)

イ 議 題

「労働弱者・地域間格差に対する政策的寄与」

⑤ セッション3

ア 日 時

平成20年5月13日(火) 9:00～10:30

(コーヒーブレイク 10:30～11:00)

イ 議 題

「持続可能なグローバル社会への課題とG8の貢献」

⑥ 総括討議

ア 日 時

平成20年5月13日(火) 11:00～11:30

② 写真撮影

(関連項目：P.33)

① 日 時

平成20年5月12日(月) 12:30～12:40

② 場 所

朱鷺メッセ4階マリンホール

③ 参加者

各国・機関代表 12名 ※写真の並び順(右より)

ロ シ ア サフォノフ保健社会発展省次官

ア メ リ カ ラッズリー労働副長官

ド イ ツ ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官

フ ラ ン ス ド・ロビアン社会連帯担当大使

日 本 上川内閣府特命担当大臣(少子化対策・男女共同参画)

I L O ソマビア事務局長

日 本 舛添厚生労働大臣

E U シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員

O E C D グリア事務総長

カ ナ ダ シャレット人材資源・社会開発省次官

イギリス ティムズ雇用・福祉改革担当閣外大臣

イタリヤ ガバイヨ労働社会保障大臣顧問

③ コーヒーブレイク

① 日 時

平成20年5月12日(月) 10:30～10:50(20分)

15:20～15:40(20分)

平成20年5月13日(火) 10:30～11:00(30分)

② 場 所

朱鷺メッセ4階ホワイエ

③ コーヒー担当

ホテル日航新潟スタッフ

④ スイーツ担当

ルーテシア ((株)シェルブリーズ)

4 昼食会

① 日 時

平成 20 年 5 月 12 日(月) 12:40～14:00

② 場 所

ホテル日航新潟 3 階桃李

③ 参加者

各国・機関代表(アウトリーチを除く)

5 産業実演

(関連項目：P.36)

① 実施主体

協議会

② 日 時

平成 20 年 5 月 12 日(月) 14:05～14:35 (うち 14:25～14:35 は展示の見学案内)

③ 場 所

朱鷺メッセ 2 階アトリウム

④ 目 的

本県産業の基礎となった伝統的技術を理解していただく。

⑤ 見学者

各国代表を含む 11 名

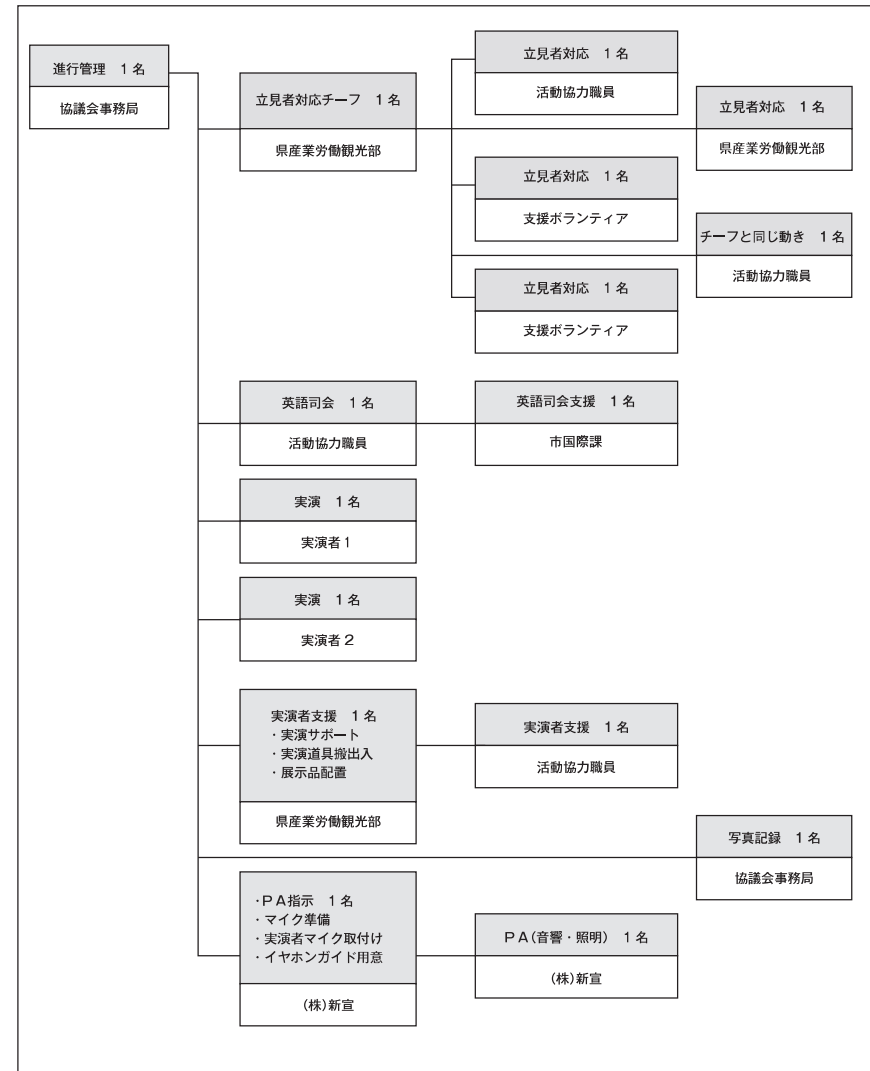
⑥ 実演者

所 属	足立茂久商店	玉川堂
氏 名	足立一久	玉川洋基
所 在 地	長岡市	燕市
業 種	曲げ物	鋳起銅器
実 演 内 容	留め紐作成、木の縫い合わせ	叩きによる銅の成形作業
主 な 製 品	ふるい 篩、裏漉し、蒸籠	湯沸し、鍋、茶筒
会場への主な 持ち込み物	・材料(材木、桜の皮) ・工具(小刀、鉋、物差し) ・製品(抹茶篩、建水、篩、花生)	・製造工程説明用サンプル ・工具(金槌、鳥口) ・木製椅子 ・製品(湯沸し、花生、急須、茶托)

7 通訳方法

- ア 活動協力職員が英語で司会進行を実施
- イ 市国際課国際交流員を司会の支援のために配置

8 運営体制



⑨ 報道関係者向け実演

ア 日時

平成20年5月12日(月) 10:30～11:10

イ 概要

リハーサルを兼ねて、報道関係者を対象とした実演を実施

ウ 見学者数

約30名



⑥ 日本文化鑑賞

(関連項目：P.39)

① 実施主体

厚生労働省、協議会

② 日時

平成20年5月12日(月) 17:20～19:00

③ 会場

りゅーとびあ

④ 参加者

ア 各国・機関代表、同伴者、地元ホスト(14名)

カナダ	シャレット人材資源・社会開発省次官
カナダ	シャレット次官の同伴者
フランス	ド・ロビアン社会連帯担当大使
イタリア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
ロシア	サフォノフ保健社会発展省次官
アメリカ	ラズリー労働副長官
EU	シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
OECD	グリア事務総長
インドネシア	スバルノ労働・移住大臣
タイ	ウライワン労働大臣
新潟市	篠田市長、副市長
新潟県	副知事
りゅーとびあ	支配人

イ 各国・機関随行者等

(ア) 随行者等 36名

- a リエゾン、リエゾンに帯同した活動協力職員と支援ボランティア
- b 厚生労働省職員

(イ) 地元招待客

- a 県市議会関係者 19名
- b 協議会委員 26名

⑤ 概要

ア 各国・機関代表出迎え(6階展望ラウンジ)

篠田市長、新潟県副知事、新潟市副市長、りゅーとびあ支配人による出迎え

イ りゅーとびあの施設説明(6階展望ラウンジ)

※各国・機関代表対象プログラム

りゅーとびあ支配人が、屋上庭園、ガラス張りの壁面等の環境に配慮した施設構造について説明

ウ 能楽及び演目についての解説(6階展望ラウンジ)

※各国・機関代表対象プログラム

- (ア) 解説者 観世芳伸氏(能楽師)
- (イ) 能楽解説の内容 能楽とは何か、動作の解説等
- (ウ) 演目解説の内容 あらすじ、見所等

エ 演能(5階能楽堂)

(ア) 演目 「船弁慶」

(イ) シテ方 山階 彌右衛門氏(観世流)

(ウ) その他 赤外線同時通訳装置による、英語での場面解説を実施

オ 能面・能装束等の展示(5階中庭前通路)

鑑賞後に、美しい能面や能装束等を改めて間近で見ていただくプログラム

カ 見送り(1階玄関前)

新潟県副知事、新潟市副市長による見送り

⑥ 地元関係者の招待

ア 対象者

協議会委員 ほか47名

⑦ 参加者への配布物

ア 公演パンフレット



イ 座席表

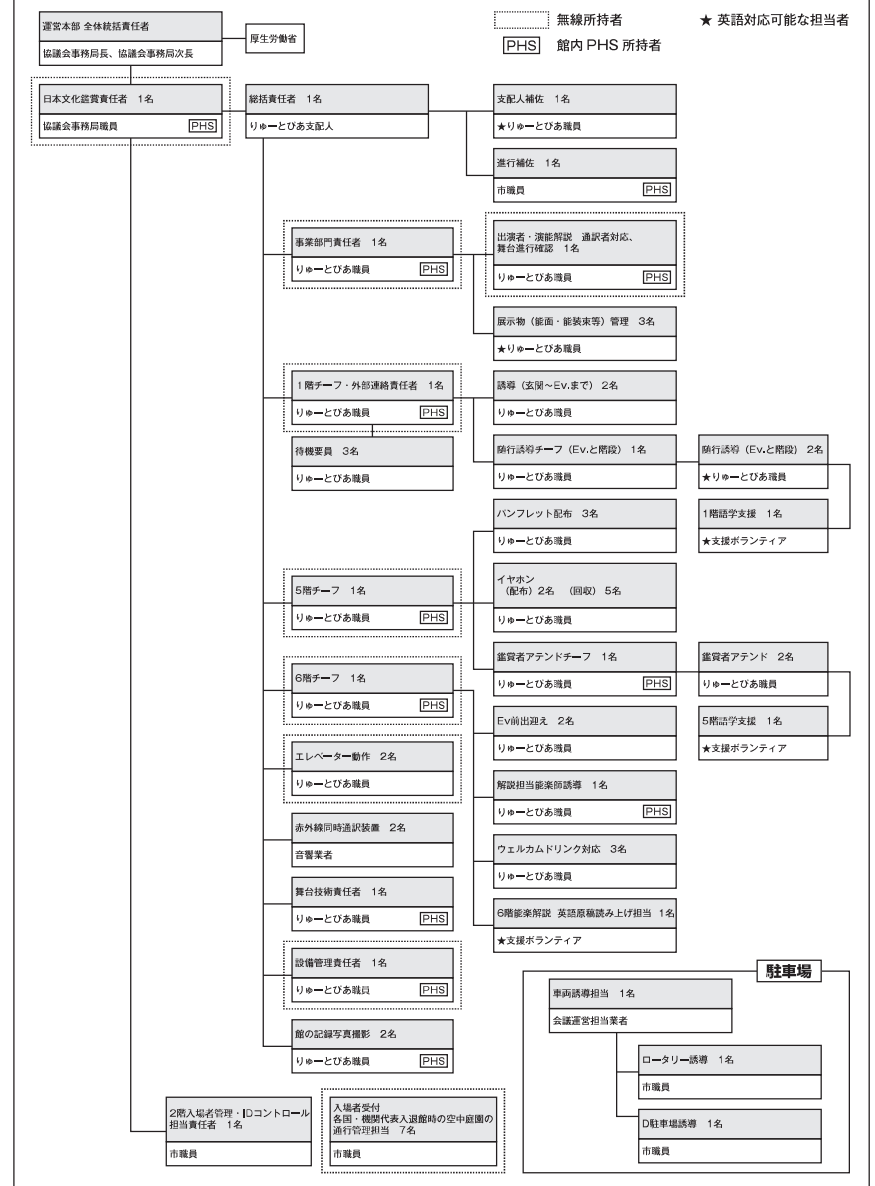
ウ 能の解説パンフレット

エ 能楽堂ポストカード(各国・機関代表者及び同伴者のみ)



各国・機関代表及び同伴者には、6階の席上に配布物を準備

⑧ 運営体制



⑦ 新潟県・新潟市主催レセプション

(関連項目：P.43)

① 日 時

平成 20 年 5 月 12 日(月) 19:30～21:30

② 会 場

いさなりき
行形亭

③ 参加者

ア 広間 67名

(ア) メインテーブル 各国・機関代表、同伴者、知事、市長(15名)

日 本	舩添厚生労働大臣
カ ナ ダ	シャレット人材資源・社会開発省次官
カ ナ ダ	シャレット次官の同伴者
フ ラ ン ス	ド・ロビアン社会連帯担当大使
ド イ ツ	ヴァッサーヘーヴェル連邦労働社会省次官
イ タ リ ア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
ロ シ ア	サフォノフ保健社会発展省次官
ア メ リ カ	ラッズリー労働副長官
E U	シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
I L O	ソマビア事務局長
O E C D	グリア事務総長
インドネシア	スバルノ労働・移住大臣
タ イ	ウライワン労働大臣
新 潟 県	泉田知事
新 潟 市	篠田市長

(イ) その他のテーブル 各国・機関関係者、地元ホスト(52名)

イ 杉の間 28名

各国・機関随行者、リエゾン

④ 主な趣向

ア 食のおもてなし

新潟の食材、純日本料理を提供

—— 献 立 ——	
膳菜	車海老塩茹、かしわ味噌漬、カステラ玉子、わたり蟹むき出し、鮭時雨煮、筍木の芽和え、根三つ菜浸し 慈姑煎餅
吸物	海老味噌 (はなびら茸、すだち)
差身	南蛮海老、鯛、鯛
焼き物	のど黒塩焼 (杏糖煮、谷中生姜)
煮物	茶碗蒸 (帆立貝、百合根、椎茸、さや豆)
強肴	いがた和牛くわ焼き (半熟玉子、サラダ菜)
ご飯	貝柱ご飯、漬物 (胡瓜、菊山椒、生姜味噌漬)
水菓子	自家製アイスクリーム

※この他、食材等に配慮が必要な参加者向けに別メニューを用意

イ 鏡開き

各国・機関代表 12名+同伴者 1名、泉田知事、篠田市長

ウ 枅で乾杯

枅に「新潟」の文字と会合のロゴマークを焼き付け

エ 芸妓の舞

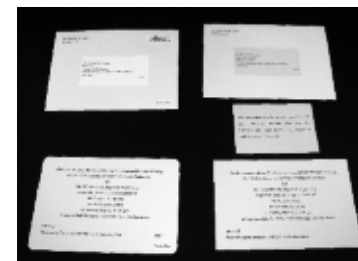
松づくし、おかめさん、新潟小唄

オ 記念品贈呈

(ア) 各国・機関代表向け：鋳起銅器のビールカップ、新潟漆器の竹塗り花器

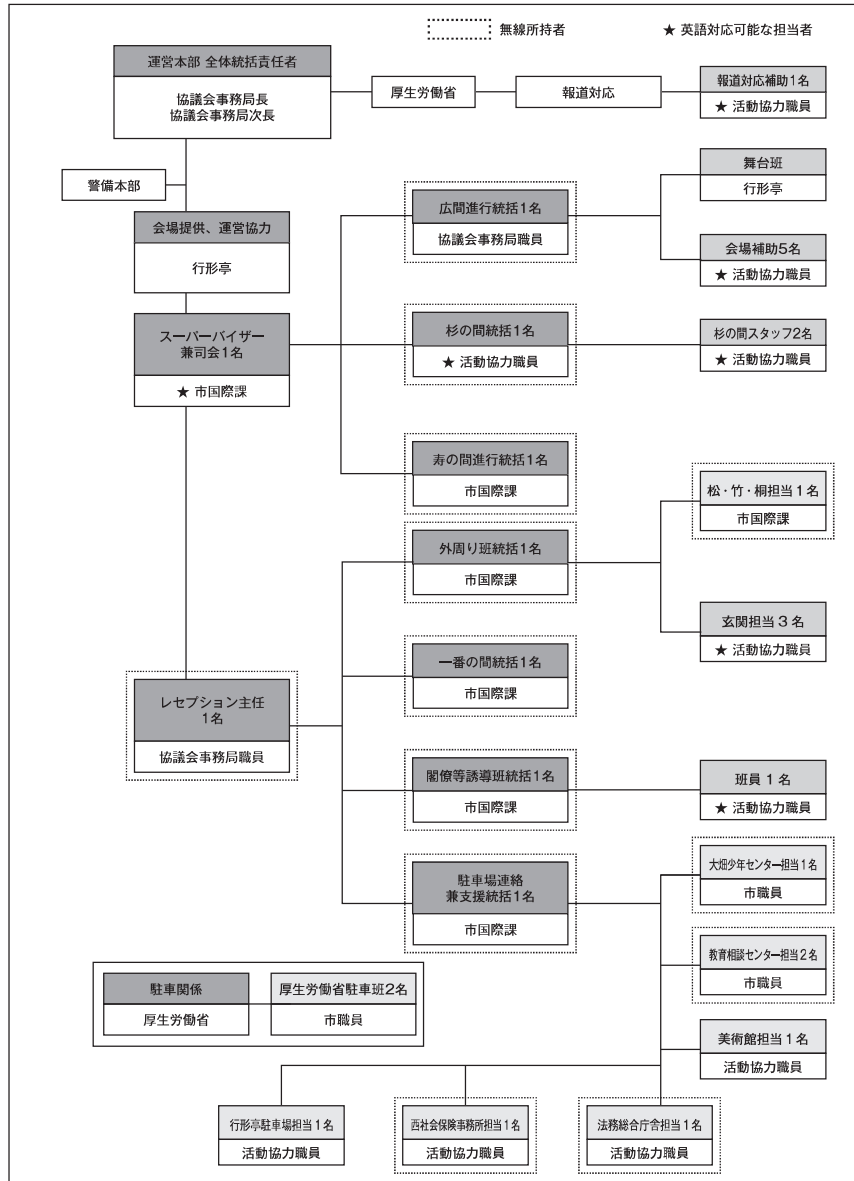
(イ) 同伴者向け : SUWADA 爪切り

⑤ 招待状



メインゲスト用(右)と随行者等用

⑥ 運営体制



5月13日(火)

(関連項目：P.47)

① 共同記者会見

① 日時

平成 20 年 5 月 13 日(火) 11:50 ~ 12:20

② 場所

朱鷺メッセ 2 階スノーホール B (記者会見場)

③ 登壇者

各国・機関代表 12 名

④ 記者会見概要

- ア 舛添厚生労働大臣から議長として会合結果概要に係る発言
- イ 記者から各国・機関代表への質疑応答

⑤ 配付資料

- ア 2008 年 G8 労働大臣会合共同記者会見出席者一覧
- イ 議長総括(英文)
- ウ G8 労働大臣会合/議長総括のポイント

② 水上バス(ウォーターシャトル)での移動

① 日時

平成 20 年 5 月 13 日(火)

- 12:25 ~ 12:38 各国・機関代表乗船
- 12:38 朱鷺メッセ出発
- 12:43 みなとびあ到着

② 協議会の関与

- みなとびあウォーターシャトル船着場付近の環境整備
 - ・平成 20 年 5 月 8 日(木) 清掃・除草作業
 - ・平成 20 年 5 月 13 日(火) プランターによる装花

③ 写真撮影

(関連項目：P.48)

① 日 時

平成20年5月13日(火) 12:50～13:00

② 場 所

みなとびあ芝生広場

③ 参加者

各国・機関代表(泉田知事・篠田市長含む) 12名 ※写真の並び順(右より)

新 潟 県	泉田知事
ロ シ ア	サフォノフ保健社会発展省次官
フ ラ ンス	ド・ロビアン社会連帯担当大使
イ ン ド ネ シ ア	スバルノ労働・移住大臣
I L O	ソマビア事務局長
日 本	舛添厚生労働大臣
E U	シュビドラ雇用・社会問題・機会均等担当委員
O E C D	グリア事務総長
タ イ	ウライワン労働大臣
カ ナ ダ	シャレット人材資源・社会開発省次官
イ タ リ ア	ガバイヨ労働社会保障大臣顧問
新 潟 市	篠田市長

④ 昼食会

① 日 程

平成20年5月13日(火) 13:00～14:30

② 場 所

ぼるとカーブドッチ

③ 参加者

各国・機関代表 7名
泉田知事、篠田市長
各国・機関随行者
リエゾン、リエゾン帯同活動協力職員、リエゾン帯同支援ボランティア

⑤ 出発

① 各国・機関代表新潟出発場所等一覧

各国・機関	出発日	出発場所	経由地
日本(舛添大臣)	5月13日(火)	新 潟 駅	—
日本(上川大臣)	5月12日(月)	新 潟 駅	—
カ ナ ダ	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
フ ラ ンス	5月14日(水)	新 潟 空 港	仁 川 空 港 (韓 国)
ド イ ツ	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
イ タ リ ア	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
ロ シ ア	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
イ ギ リ ス	5月12日(月)	新 潟 駅	成 田 空 港
ア メ リ カ	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
E U	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
I L O	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
O E C D	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
イ ン ド ネ シ ア	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港
タ イ	5月13日(火)	新 潟 駅	成 田 空 港

② 出発地での見送り

リエゾン、リエゾン帯同活動協力職員、リエゾン帯同支援ボランティア
14日出発フランスは、新潟市副市長も見送り

① 会合当日の運営体制

各事業ごとの責任者を明確にして、総括責任者からの指揮・命令・連絡を迅速に行うとともに、各担当者間の連携が取れるように体制を整備した。

① 実施主体

協議会

② 実施日

平成20年5月10日(土)～13日(火)

③ 協議会事務局員

22名

ア 事務局長 1名(兼務)
イ 次長 2名(うち1名兼務)
ウ 課長 3名(うち2名兼務)
エ グループリーダー 6名(うち3名兼務)
オ グループ員 8名(うち3名兼務)
カ 臨時職員 2名

④ 協議会職員以外の運営スタッフ

ア 応援職員

20名

歓迎行事、日本文化鑑賞、新潟県・新潟市主催レセプションで、活動協力職員に加えて市の職員から運営協力を得た。

イ 通訳

会合期間中、各行事の中で、県・市職員等を通訳として配置

(ア) 県国際課 3名
(イ) 市国際課 3名
(ウ) 活動協力職員・支援ボランティアから派遣

⑤ 支援ボランティア・活動協力職員

ア 配置実績

リエゾンに帯同する支援ボランティア、活動協力職員は、新潟に前日入りする各国・機関代表団に対応するため、平成20年5月10日(土)から業務に従事した。

また、歓迎行事については平成20年5月11日(日)の本番に備え、前日にリハーサルを行った。

(ア) 支援ボランティア 38名

単位：名 人数は重複

区 分	主な活動内容	H20.5.10	H20.5.11	H20.5.12	H20.5.13	H20.5.14
リエゾン帯同	リエゾンとともに各国・機関代表団※1に帯同し、リエゾンの補助、地元情報の提供等を行う。	12	12	12	12	1
果物のおもてなし	銘産いちごである「越後姫」の洗浄、盛り付け、会場への配膳を行う。	0	2	3	3	0
歓迎行事	各国・機関代表団と地元住民の会話補助及びアトラクションの説明を行う。	14	14			
日本文化鑑賞	リ्यूーとびあ6階での能楽・演目解説時の英文説明テキスト読み上げと各国・機関代表団の誘導補助を行う。			3		
産業展示・実演	産業展示エリア 展示エリアでの説明、接遇及び英会話補助を行なう。 産業実演 各国・機関代表へのイヤホンガイドの配布等を行う。		6	7	5	

※1 リエゾンが帯同する各国・機関代表団は下記のとおり

日本を除く G8 各国(アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダ、ロシア)、EU、ILO、OECD、タイ、インドネシア

(イ) 活動協力職員 41名

単位：名 人数は重複

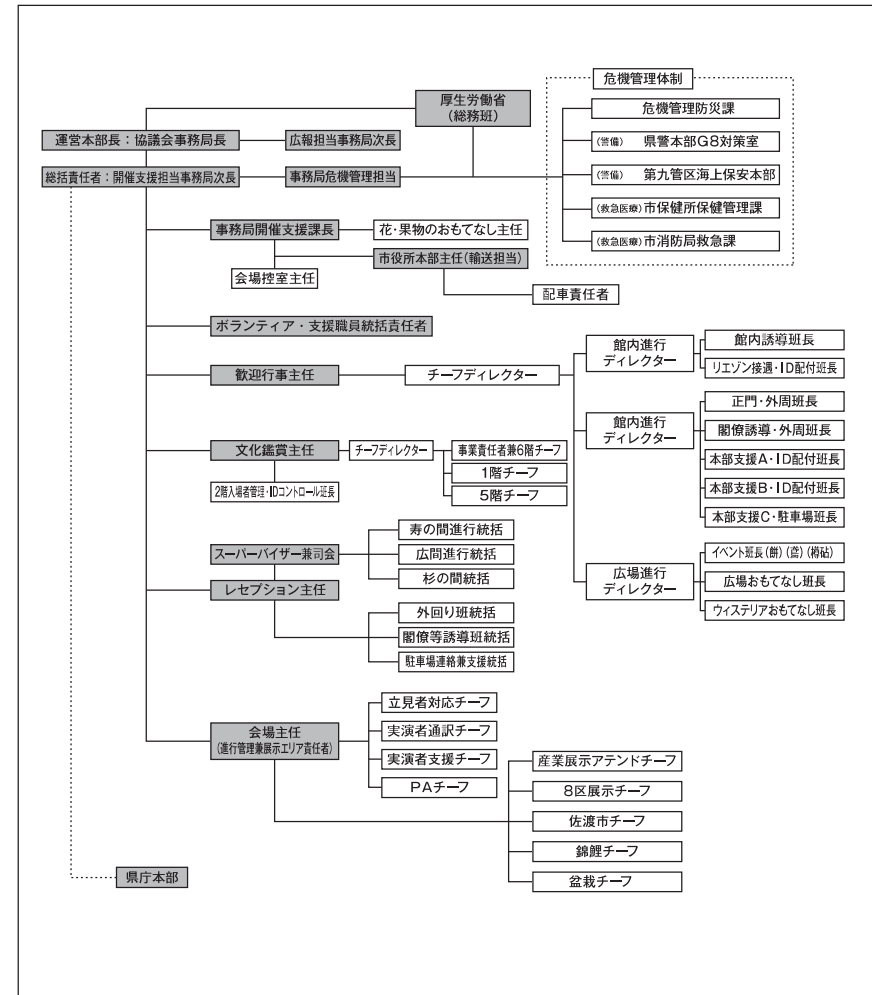
区分	主な活動内容	H20.5.10	H20.5.11	H20.5.12	H20.5.13	H20.5.14
リエゾン帯同	リエゾンとともに各国・機関代表団に帯同し、リエゾンの補助、地元情報の提供等を行う。	12	12	12	12	1
歓迎行事	会場での各国・機関代表団の誘導等を行う。	19	19			
日本文化鑑賞	地元招待客の受付、誘導を行う。			5		
産業展示・実演	産業展示エリア 各展示ブースでの説明又は説明要員の補助を行なう。 産業実演 各国・機関代表へのイヤホンガイドの配布等を行う。		3	6	2	
新潟県・新潟市主催レセプション	レセプション時に地元ホストと各国・機関代表との会話補助を行う。 各国・機関代表団の誘導等を行う。			19		
事務局補助	協議会関係者控室での活動を行う。	3	7	7	7	0

イ その他

(ア) リエゾン帯同支援ボランティア、活動協力職員が各国・機関代表団から新潟に対するメッセージをいただいた。

(イ) 今後開催の国際会議運営の参考とするため、支援ボランティア及び活動協力職員に対して、活動に関するアンケートを実施した。

⑥ 運営体制



② 会場装飾

(関連項目：P.57)

① 実施主体

協議会等(③-ウを参照)

② 目的

- 新潟の誇る「産業、観光資源、食文化」等に関する展示等を行うことにより、会合参加者等に対し、新潟の魅力を発信し、理解を深めてもらう。
- 装花や新潟らしい装飾により、本県ならではの歓迎とてなしの気持ちを表す。

③ 内容

ア 国旗の掲揚

G8各国の国旗及びEUの旗を掲揚するために、国旗掲揚塔を仮設。

(ア)仕様

- ・設置数 9本(G8各国及びEU)
- ・場所 朱鷺メッセ 交通広場 既設国旗掲揚塔台座前
- ・高さ 7m

(イ)国旗掲揚

- a 順番 日・加・仏・独・伊・露・英・米・EU(国連方式)
- b 期間 平成20年3月28日(金)(ジュニア労働サミット開催日)～5月18日(日)
- c 時間帯 8:00～17:00




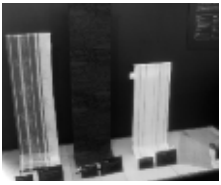


イ 白根大風

- (ア) 設置期間 平成20年5月7日(水)～5月21日(水)
- (イ) 内容 24畳サイズを2枚設置
- (ウ) 設置方法 アトリウム天井裏及び連絡通路を利用
- (エ) デザイン 謙信組と役者組の絵柄に、ロゴマークと歓迎のメッセージを掲載
- (オ) 設営スタッフ
 - ・協議会事務局 2名
 - ・協力職員(新潟市南区3名、新潟市しろね大風と歴史の館1名、新潟市消防局4名)
 - ・同館ボランティアグループ3名

ウ 展示等

(ア) 概要

名称	展示内容等	設置者	
新潟紹介エリア	a 趣旨 ・会合参加者等への「新潟」の基礎情報の伝達及び簡易な窓口機能 ・簡易な案内窓口 b 機能 ・新潟の概要紹介(内照式パネル6枚) タイトル コンテンツ データで見る新潟県・新潟市 県・市のシンボル、気候、人口構成 新潟の地勢・交通 空路、航路 新潟の国際交流 県及び県内市町村の姉妹都市、友好都市 新潟の歴史 現代に至るまでの新潟の歴史 新潟の食 新潟フードブランド及び新潟市食と花の名産品 花のまち新潟 新潟の花及び会場内装花 ・パンフレットの配布 ・報道関係者への記念品の配布 ・問い合わせ対応		協議会
観光PRエリア	a 趣旨：新潟の観光のPR b 展示物等：・パネル 1枚 ・ポスター 2枚 ・パンフレット (英語版2種類、日本語版2種類)		
百年物語エリア	a 趣旨：平成20年2月のアンビエンテ・フランクフルトメッセでの展示の再現 b 展示物：新潟発の国際ブランド「百年物語」(酒をテーマとした2008年モデル)72点		
伝統的工芸品エリア	a 趣旨：全国第2位の指定件数を誇る伝統的工芸品を紹介 b 展示物：・パネル 2枚 (本県伝統的工芸品の概要、伝統的工芸品指定制度) ・12点		

名称	展示内容等		設置者
ハイテク製品 エリア	a 趣 旨：海外で事業展開している企業や海外展開が期待できる企業の高い技術力「ハイテク」を、「Sports Utility」、「Machinery」、「Mobile IT」、「Transport」の4分野に分けて紹介 b 展示物：県内主要企業22社の製品・部品		協議会
4階ホワイエ 展示エリア	a 趣 旨：2階展示の紹介 b 展示物：・パネル 2枚 (会場内レイアウト、展示全体の紹介) ・県内製品 9点 (伝統的工芸品など)		
佐渡 PR エリア	a 趣 旨：「環境の島・佐渡」、「歴史文化の島・佐渡」のPR b 展示物：・朱鷺の剥製 ・佐渡トキ保護センターの映像の中継 ・佐渡金銀山世界遺産登録の取り組みの紹介 ・佐渡の歴史、文化の紹介		佐渡市
錦鯉 PR エリア	a 趣 旨：新潟県中越地方が発祥地であり、海外の愛好家も多い錦鯉のPR b 展示物：・パネル (錦鯉の種類等の紹介) ・錦鯉 (直径2m水槽3個)		全日本 錦鯉振 興会新 潟地区
8区で8カ国を 歓迎エリア	a 趣 旨：8区がそれぞれ担当国を決め、歓迎の意を表す作品等を制作、展示 b 展示物：・子どもたちが制作した作品 ・クリーンアップキャンペーン等の市民による活動の紹介		新潟市 各区

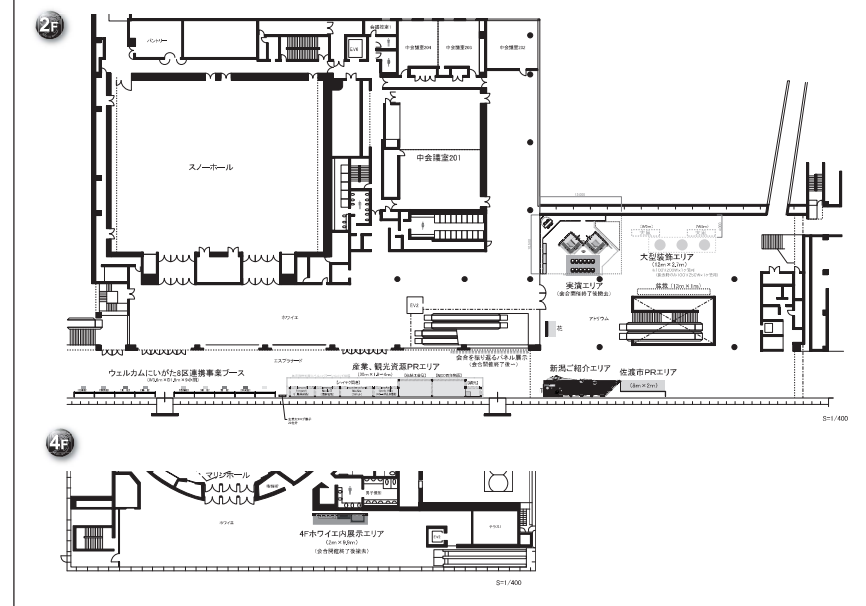
(イ) 使用面積

約 410㎡ (実演ステージも含めて)

(ウ) パネル、キャプション等での使用言語

英語及び日本語

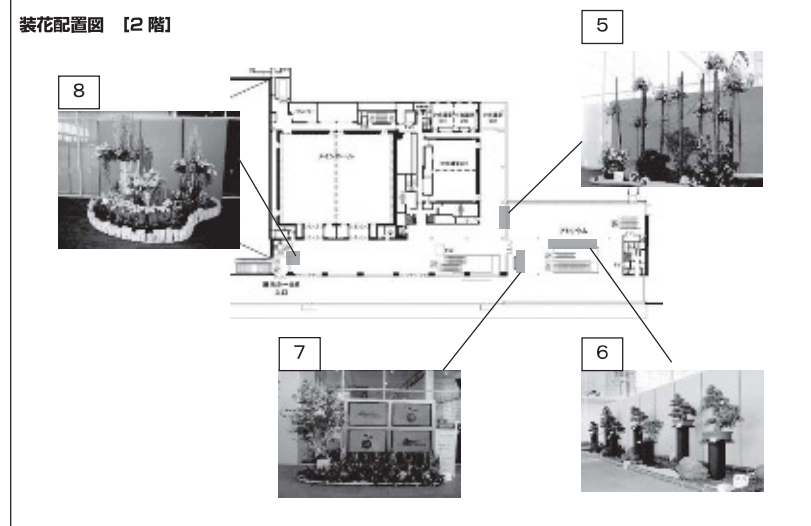
会場配置図 (会合開催期間中)



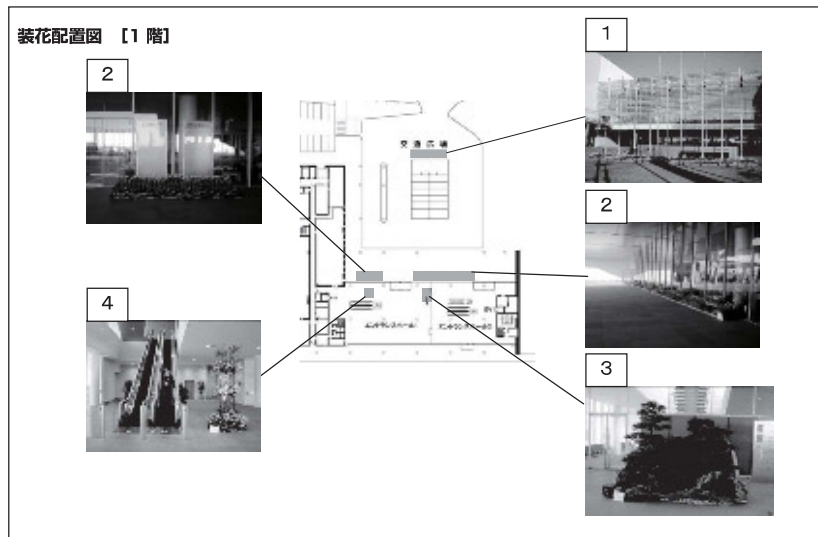
エ 装花

番号	概要	規模	制作担当
1	仮設国旗掲揚塔前に、バンジー等のプランターを設置	全長約 12m	新潟県 花と緑の普及 推進協議会
2	朱鷺メッセエントランスホールを県産チューリップのプランターで装飾	全長約 20m チューリップ約 2000 本	
3	造園の要素を取り入れた重厚な装飾	幅 4.2m × 奥行 3.6m	
4	竹や県産切り花によるタワー状の装飾	直径 1.4m、高さ 2.5m チューリップ 150 本、ユリ 15 本	
5	竹や県産切り花による和風の要素を取り入れた装飾	幅 3.9 × 奥行 2.9m ユリ約 30 本	
6	竹や白砂利等を使用した装飾とともに盆栽を配置	幅 15m × 奥行 1.6m 盆栽 7 点 (マツ、県産サツキなど)	
7	水をイメージさせる青い花によるマルチビジョン周辺の装飾	幅 2.6m	
8	県産チューリップ、ユリを、水をイメージさせる青い花とともに配置	幅 3.6m × 奥行 2.4m	
9	いけばな装飾 (池坊)	幅 1.2m × 奥行 1.2m、高さ 1.5m (うち、華台は 0.5m)	新潟市華道連盟

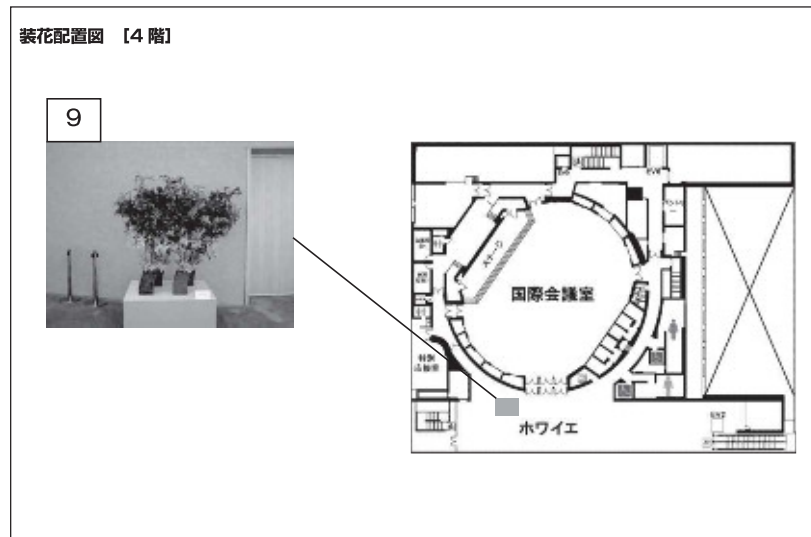
装花配置図 【2階】



装花配置図 【1階】



装花配置図 【4階】



④ 搬入

搬入出用エレベータや業務駐車場の混雑回避の観点から、事業者ごとに搬入時間帯を指定。

⑤ 各国・機関代表団による見学への対応

ア 見学の様子

会合の前後や共同記者会見前の時間帯などに各国・機関代表らが任意で見学を実施。この他に、平成20年5月12日(月)の産業実演の後、展示見学の案内を実施。

イ 運営体制

平成20年5月11日(日)～13日(月)に延べ114名が見学者に対する接遇業務に従事

所 属	5月11日(日)	5月12日(月)	5月13日(火)
協議会事務局	4	5	6
県・市(活動協力職員を含む)	11	27	9
日本錦鯉振興会新潟地区 佐渡市 新潟県花と緑の普及推進協議会	7	11	9
支援ボランティア	6	7	5
その他(実演者など)	1	5	1
合計(()内英会話対応者)	29(11)	55(17)	30(9)

(産業実演の従事者を含む)

⑥ 産業実演後の展示見学の案内

ア 日 時

平成20年5月12日(月) 14:25～14:35

イ 見学者

産業実演の見学者と同様。途中で、ロシア代表団が合流。

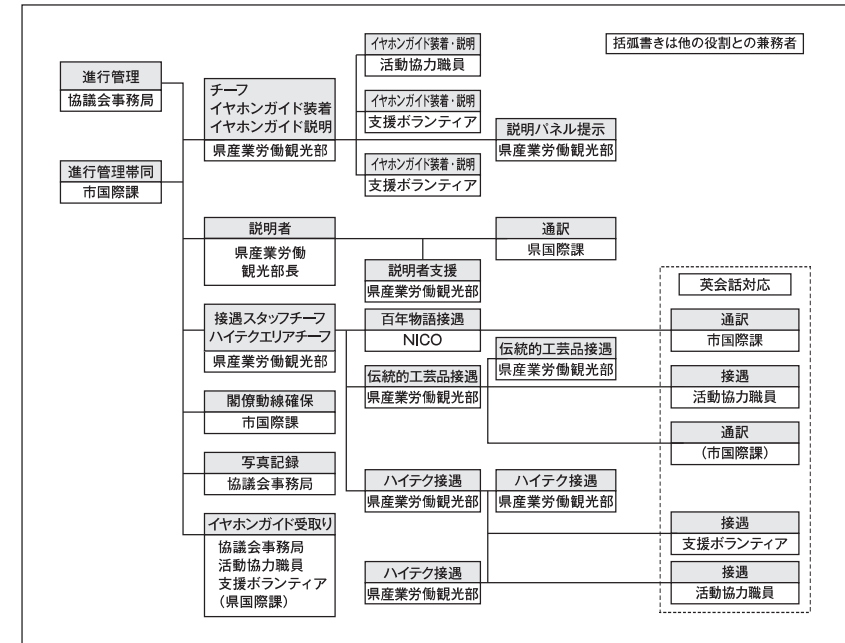
ウ 説明者

県産業労働観光部長

エ 通訳方法

- ・説明者の発言を逐次通訳し、これをイヤホンガイドによって見学者に伝達
- ・質疑に対応するため、英会話対応可能な活動協力職員及び支援ボランティアを配置

オ 運営体制



③ 参加者への記念品

(関連項目：P.63)

① 実施主体

協議会

② 各国・機関代表及び同伴者への記念品

ア 各国・機関代表への記念品

- ・玉川堂 鋳起銅器「ビールカップ」
- ・新潟漆器「竹塗花器」

(参考：厚生労働省記念品／ノーベルカトラリー)

イ 同伴者(カナダのシャレット人材資源・社会開発省次官の夫君)への記念品

- ・(株)諏訪田製作所「SUWADA爪切り」

ウ 贈呈方法

新潟県・新潟市主催レセプションにおいて、泉田知事、篠田市長から贈呈

③ 会合関係者への記念品

ア 記念品

種類	内容
県産材使用木製シャープペンシル	・佐渡市で行われている、人とトキが共生できる自然環境の実現を目指した森林整備活動の一環で採取されたアデビを軸に使用 ・環境に配慮した国際会議の趣旨に沿い、県の環境への取り組みをアピール
レターヘッドノートパッド	シャープペンシルとデザインに共通性を持たせたレターヘッド
ポストカード	関連施設(朱鷺メッセ、北方文化博物館、りゅーとびあ、みなとびあ)を題材とする「コシヒカリ紙」製ポストカード

(参考：厚生労働省記念品／越後亀屋藤岡染工場の手ぬぐい)

イ 主な贈呈先

各国・機関代表団、報道関係者

ウ 製作数

600

エ 贈呈方法

- ・各国・機関代表団及び海外の報道関係者
厚生労働省経由でコングレスキットとして登録手続き時に贈呈
- ・国内の報道関係者
朱鷺メッセ2階アトリウムに設置した新潟紹介エリアで贈呈この旨を、プレスセンターで周知

④ 特記事項

シャレット次官(カナダ)の同伴者は5月13日が誕生日で、この点も踏まえて贈呈

④ コングレスバッグ・プレスキットの準備

各国・機関代表団に渡すコングレスバッグなどに、パンフレット類や記念品を同梱、配布した。

① 実施主体

厚生労働省

② 配布物

準備主体	タイトル・品名	内容等	各国・機関代表団	プレス
厚生労働省	コングレスバッグ	ロゴマーク入り	○	
	会議資料	プログラム、案内図、議長総括(案)	○	
	プレスガイド			○
協議会	記念品	手ぬぐい、ピンバッジ	○	
	NIIGATA CITY GUIDE MAP	市内観光ガイドマップ(英語)	○	○
	観光ガイドマップ	市内観光ガイドマップ(日本語)		○
	街歩き支援マップ	外国人向け観光ガイドマップ(英語)	○	○
	NIIGATA TRAVEL GUIDE	県観光案内パンフレット(英語)	○	○
	Niigata, Port City of Food and Flowers	市観光案内パンフレット(英語)	○	○
	田園交響都市にいがた観光ガイドブック 食と花のみなとまちにいがた	市観光案内パンフレット(日本語)		○
	NIIGATA TOUR GUIDE	会合参加者用観光パンフレット(英語)	○	○
	新潟空港	新潟空港パンフレット(日英併記)	○	○
	JAPAN NIIGATA	県紹介パンフレット(英語版)	○	
	新潟県の姿	県紹介パンフレット(日本語版)		○
	新潟県ポケットガイド	県紹介パンフレット(日英併記)	○	○
	日本海政令市新潟(vol.2)	市紹介パンフレット(日英併記)	○	○
	日本海政令市新潟	市紹介 DVD	○	○
	文化施設等の無料入場について	ご案内(日英併記)	○	○
	Your Support Can Help Resolve the North Korean Abduction Issue	拉致問題についてのパンフレット(英語)		○
	シャープペンシル	記念品		○
	レターヘッド	記念品		○
	ポストカード	記念品		○

③ 配布方法

ア 各国・機関代表団

配布物一式をコングレスバッグに封入、配布

イ プレス

(ア)パンフレット類

プレスセンター内に各種資料を設置

(イ)記念品

- 各国・機関代表団及び海外の報道関係者
厚生労働省経由でコングレスキットとして登録手続き時に贈呈
- 国内の報道関係者
朱鷺メッセ2階アトリウムに設置した新潟紹介エリアで贈呈

⑤ 同伴者・アウトリーチの視察

(関連項目：P.67)

① 実施主体

協議会、県

② 英語版観光パンフレット作成

ア 事業概要

英語版の観光パンフレットを作成し、大使館等を通じPRを行った。

イ パンフレットの概要

県内観光コース：9コース

市内観光スポット：12スポットを紹介



③ 同伴者の視察

各国・機関代表の同伴者を対象に、新潟の良さを紹介するため、新潟の代表的な観光施設などにご案内した。

ア 日時

平成20年5月12日(月) 10:00～17:00

イ 訪問先

燕喜館、ホテルオークラ新潟、新発田城址(新発田市)、市島酒造(株)(新発田市)

ウ 参加者

シャレット人材資源・社会開発省次官(カナダ)の同伴者

④ アウトリーチの視察

アウトリーチ国大臣を対象に、新潟の良さを紹介するため、新潟の代表的な観光施設などにご案内した。

ア インドネシア

(ア) 日時

平成20年5月12日(月) 11:30～17:00

(イ) 訪問先

諸橋弥次郎農園、北方文化博物館、ハローワーク新潟、新潟市長表敬

(ウ) 参加者

スパルノ労働・移住省大臣 他8名

イ タイ

(ア) 日時

平成20年5月12日(月) 9:00～15:30

(イ) 訪問先

新潟県知事表敬、市島酒造(株)(新発田市)、トラットリアノラ・クチーナ、諸橋弥次郎農園、燕喜館

(ウ) 参加者

ウライワン労働大臣 他8名

⑥ 報道機関への対応

報道機関への対応は厚生労働省が行なった。協議会、県、市は会場などで支援した。

① 取材方法

全て事前申請による指定場所での固定取材

② 取材対象行事

	5月11日(日)	5月12日(月)	5月13日(火)
9:00		9:00～9:30 G8労働大臣会合オープニング 朱鷺メッセ4階 マリンホール 取材機会：固定、オープニングスピーチ	9:00～10:30 G8労働大臣会合 セッション3 朱鷺メッセ4階 マリンホール 取材時間：冒頭
10:00		10:30～11:30 プレス向け 産業実演見学 朱鷺メッセ2階 アトリウム 取材機会：エリア指定	10:30～11:00 舩添大臣とインドネシア・スハルノ大臣 ハイ会議 朱鷺メッセ4階 特別応接室 取材機会：冒頭 10:45～11:00 G8労働大臣会合議長総括 プレスブリーフィング 朱鷺メッセ2階 スノーホール B
11:00			11:50～12:20 共同記者会見 朱鷺メッセ4階 スノーホール B
12:00		12:30～12:40 G8労働大臣会合セッション1 プレスブリーフィング 朱鷺メッセ2階 スノーホール B	
13:00			
14:00	14:00～16:00 ソーシャルパートナーとの対話 朱鷺メッセ2階 スノーホール B 取材機会：固定、冒頭あいさつ	14:00～ 舩添大臣とOECD・グリ ア事務総長ハイ会議 取材機会：冒頭 14:00～14:30 産業実演見学 朱鷺メッセ2階 アトリウム 取材機会：固定	14:00～ 燃料電池バス プレス試乗会
15:00			
16:00	16:30～17:00 政務記者会見 ホテル日航4階 クリスタルホール		
17:00	16:45～18:00 歓迎行事 北方文化博物館 取材機会：固定	17:00～ 舩添大臣とILO・ソマリア事務局長 ハイ会議 ホテル日航3階 孔雀B 取材機会：冒頭 17:15～17:25 G8労働大臣会合セッション2 プレスブリーフィング 朱鷺メッセ2階 スノーホール B	
18:00			
18:20～18:50	舩添大臣とドイツ・ブツ ナーヘーベル次官ハイ会議 ホテル日航3階 孔雀B 取材機会：冒頭	18:15～19:45 エクスカージョン 亀田製菓 取材機会：固定	
19:00			
19:45～21:45	厚生労働大臣主催 レセプション&夕食会 ホテル日航4階 朱鷺 取材機会：固定、冒頭、あいさつ、乾杯	19:30～21:30 新潟県・新潟市主催レセプション 行形亭 取材機会：画像配信のみ	
20:00			
21:00			

③ 受付

ア 実施主体

厚生労働省

イ 期間

平成20年5月10日(土)～5月13日(火)

ウ 場所

ホテル日航新潟1階ロビー

エ 目的

IDカード、プレスガイド(取材要領等)の配布

④ プレスセンター

ア 設置主体

厚生労働省

イ 期間

平成20年5月10日(土)～5月13日(火)

ウ 場所

朱鷺メッセ2階スノーホールA

エ 目的

(ア) 会合情報、地元情報の提供

(イ) 作業場所の提供

オ 設備

(ア) インフォメーションデスク

厚生労働省の他、県・市広報担当課職員1名常駐

会合情報はホワイトボードに記し提供

(イ) インターネットコーナー

(ウ) コピー・FAX 複合機

⑤ 報道バスの運行

ア 実施主体

厚生労働省

イ 期間

平成20年5月10日(土)～5月13日(火)

ウ 運行区間

(ア) 朱鷺メッセ～ホテル新潟(報道関係者宿泊ホテル)

(イ) 朱鷺メッセ～北方文化博物館(歓迎行事会場) 平成20年5月11日のみ

(ウ) 朱鷺メッセ～亀田製菓(株)(産業視察先) 平成20年5月11日のみ

⑥ 県・市による支援

ア 体制

県職員 7名、市職員 6名

イ 内容

(ア) 厚生労働省が行なう報道機関対応への補助

各行事会場での取材位置への誘導等

(イ) インフォメーションデスクでの新潟情報の提供

観光パンフレットの設置、市内撮影スポットの紹介等

7 花のおもてなし

(関連項目：P.64)

①新潟市の取り組み

内容	場所	事業実施部課
プランター設置	8 個	新潟駅新幹線コンコース
プランター設置	24 個	新潟空港ロビー
700 本のチューリップの切花を記者会見場に装飾	朱鷺メッセ記者会見場 (2階スノーホールB)	農林水産部 食と花の推進課
約 13,000 本の花を植栽し会合ロゴマークの巨大花絵を作成	万代島対岸 旧魚市場跡地	都市政策部 港湾空港課
プランター設置 フラワースタンド 駅前広場花壇植栽	417 個 10 個 405 株	新潟駅周辺(新潟駅万代口広場・新潟駅 南口広場・市道弁天線笹口地内)
プランター設置 県道新潟停車場線中央分離帯 植栽	851 個 3,232 株	明石通歩道・東大通(万代1・4)歩道・ 東堀通(1~4・6番町)歩道
フラワースタンド設置 ミニ国旗プランター	47 個 1 個	白山公園内りゅーとびあアクセス道路・ ロータリー
フラワースタンド設置 フラワーサークル設置	3 個 9 個	新潟空港入り口・空港ビルディング前

②国、市民等の取り組み

内容	場所	実施団体等
プランター設置	萬代橋歩道 萬代橋周辺	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所
フラワーハンギング設置 プランター設置	万代島	新潟万代島総合企画(株)
プランター設置	国道 113 号線	地元自治会



8 果物のおもてなし

(関連項目：P.66)

①新潟を彩る春の食材であるイチゴ「越後姫」の提供

- ア 実施主体 新潟市 (担当：農林水産部食と花の推進課)
- イ ホテル日航新潟、ホテルオークラ新潟客室で各国・機関代表へウェルカムフルーツとして提供
- ウ 朱鷺メッセ内各国・機関作業室、事務室などへ提供
- エ プレスセンターで報道関係者に提供

②朱鷺メッセ内作業スタッフ

- ・食と花の推進課担当者 2名
- ・支援ボランティア 3名

③概要

提供日	用途	提供先	提供数量
5月10日(土)	ウェルカムフルーツ用	ホテルオークラ新潟	32 バック
		ホテル日航新潟	8 バック
5月11日(日)	会合用	朱鷺メッセ	80 バック
5月12日(月)	会合用	朱鷺メッセ	120 バック
5月13日(火)	会合用	朱鷺メッセ	60 バック
合計			300 バック

④会合会場内越後姫提供先一覧

提供日	提供数量	提供先	その他提供先 (先方からの要望を受け提供したもの)
5月11日(日)	80 バック	・共用作業室 ・サブ室 ・ドラフティングセッション会場	・ILO
5月12日(月)	120 バック	・共用作業室 ・サブ室 ・ロジ室 ・プレスセンター	・アメリカ ・イギリス ・ロシア ・OECD
5月13日(火)	60 バック	・共用作業室 ・サブ室 ・ロジ室 ・プレスセンター	・アメリカ ・カナダ ・フランス ・ロシア ・ILO


⑤市長からの各国・機関代表団等へのメッセージ

(カードで配付)

Welcome to Niigata City!

These sweet, fragrant Echigohime strawberries are a specialty of Niigata. They were grown with care by local strawberry farmers.

As strawberries are in season now, I hope you will enjoy these delicious fruits.



Akira Shinoda
Mayor, City of Niigata

9 その他

① 文化施設への招待

ア 実施主体

各施設管理者

イ 期間

平成20年5月11日(日)～13日(火)

ウ 実施施設及び招待者数

	施設名	招待者数
A	新潟市歴史博物館(みなとびあ)	0名
B	新潟市美術館	3名
C	新潟市會津八一記念館	0名
D	新潟市水族館	7名
E	新潟県立万代島美術館	2名
F	新潟伊勢丹・新潟市いけばな芸術展	0名
	合計	12名

エ 目的

会合関係者に新潟の文化施設を紹介する

オ 概要

写真入りIDカードの提示により、新潟市内の文化施設に無料入場できるもの

カ 案内状

平成20年2月28日(木)～29日(金)のG8労働大臣会合準備会合において各国関係者に配布したほか、在京大使館を通じて案内した。

※右ページを参照

② イベント・プログラム

ア J1リーグ公式戦「アルビレックス新潟-ジュビロ磐田」サッカー観戦

(ア) 実施主体: アルビレックス新潟

(イ) 日 時: 平成20年5月10日(土) 19:00～21:00

(ウ) 場 所: 東北電力ビッグスワンスタジアム

(エ) 参加者: アメリカ代表団3名

(オ) 内 容: アルビレックス新潟がビッグスワンでのホーム試合に招待

ロイヤルボックスでの観戦(軽食、ドリンク、グッズプレゼント)

イ 小澤征爾指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団演奏会

(ア) 実施主体: にいがた音楽協会、TeNY テレビ新潟

(イ) 日 時: 平成20年5月13日(火) 19:00開演

(ウ) 場 所: りゅーとびあ コンサートホール

(エ) 参加者: フランス代表団4名

(オ) 内 容: SS席招待

③ 飲料水の提供

ア 実施主体

新潟市水道局、(株)大庄

イ 内容

会合期間中、各国・機関代表団へ会議用飲料水を提供した。

ウ 提供した水

(ア) 新潟市水道局

「新潟のおいしい水道水 柳都物語」(500ml)4,000本

(イ) (株)大庄

「佐渡海洋深層水」(500ml)2,000本



■案内状(英語)

Free Entrance to Cultural Facilities

Niigata 2008 G8 Labour Ministers Meeting Promotion Association
During the G8 Labour & Employment Ministers Meeting, people involved in the meeting can visit cultural facilities in Niigata City for free.

When entering such a facility, please show the receptionist your photo I.D. card issued by the Ministry of Health, Labour, and Welfare.

To find the location of each facility, please refer to the "Explore Niigata City" map included in the conference bag.

List of Facilities You Can Visit for Free

1. Niigata City History Museum "Minatopia" (1E)

The facade of the museum's main building creates an atmosphere appropriate to a port town like Niigata. Here you can experience the way life in Niigata was shaped by water. You can also see a cultural property of national importance, namely the "Cutner Niigata Customs House, which is the only original customs house remaining from the five ports that were opened to foreign trade in 1858.
Current exhibit: "Sake Cellar: Modern Sake Brewing in Niigata"
Closed: May 12-13

2. Niigata City Art Museum (2-B)

See the vast collection of works by Max Ernst, Pierre Bonnard, Pablo Picasso, Odilon Redon, Kusunagi Yayoi, and Sato Tetsuzo, among others. You can also explore the life of the common people in the Edo period through a selection of ukiyo-e woodblock prints in "Printed Treasures: Highlights from the Museum of Fine Arts, Boston." This ongoing exhibition is considered the biggest and finest collection of these works of art in Japan and abroad.

3. Aizu Yaichi Memorial Museum (2-A)

Here you can view works by Aizu Yaichi, who was a scholar of Oriental art, a poet, and a calligrapher. He is also an honorary citizen of Niigata City. This spring, the museum is showcasing his ink writings of Japanese tanka poems and Chinese poems about the beauty of nature. Ikebana flower arrangements are also on display, creating an artistic space with a very traditional Japanese atmosphere.

4. Niigata City Aquarium "Marinepia Nihonkai" (15 min. from Toki Messe by taxi)

Home to about 450 species and 20,000 specimens of aquatic life, Marinepia Nihonkai is one of the leading aquariums on the west coast of the island of Honshu. The ever popular dolphin show features dolphins doing astounding feats like dynamic jumps. Watching the sea otters and sea lions at feeding time is also too much fun to miss.

5. The Niigata Bandaajima Art Museum (5th floor of I-ki Messe)

Opened in July 2003, this museum actively seeks out the challenge of discovering new value in the increasingly diverse field of modern art. As a symbol of Niigata, the gateway to the Sea of Japan rim region, this museum also serves as an important role as a new center of art and culture.

Closed: May 12-13

6. Niigata Isetan Art Hall (5-E, 7th floor of Isetan Department Store)

IKEBANA ART EXHIBITION IN NIIGATA will be held here from May 8 to May 13, showcasing works from the 22 different schools of flower arranging in Niigata City. The exhibition is divided into the following themes: "Traditional Flower", "Modern Flowers", "Flowers of the Near Future", and "The Scenery of Niigata." Come and learn about the history of the art of Ikebana and discover the charms of Niigata, the city of flowers.

■案内状(日本語)

文化施設等の無料入場について

にいがた2008年G8労働大臣会合推進協議会
G8労働大臣会合の期間中、会合関係者の皆様は新潟市内の文化施設に無料で入場できます。

入場の際は、各施設の受付で厚生労働省発行の写真入りIDカードを提示してください。

また、各施設の所在地は、コンgresバッグに同封のマップをご覧ください。
(Explore Niigata City)

無料入場可能施設

A. 新潟市歴史博物館「みなとびあ」(1E)

情緒豊かな港町にふさわしい外観を備えた博物館本館をはじめ、国の重要文化財でもあり開港五港で唯一現存する旧新潟税関守倉など水とともに歩んできた新潟の営みを感じることができます。
「酒蔵—近代新潟の酒造り—」開催中 ※ 5月12・13日休館

B. 新潟市美術館 (2-B)

エルンスト、ボナール、ピカソ、ルドン、草間彌生、佐藤哲三ら数多くのコレクションがあります。日本国外では最大かつ最高とされる浮世絵コレクション「ボストン美術館浮世絵名品展」を開催中。作品を通して江戸時代の庶民の生活を大観します。

C. 新潟市會津八一記念館 (2-A)

東洋美術史学者、歌人、そして書家だった新潟市の名誉市民・會津八一の作品を展示しています。今春は花鳥風月がテーマの短歌や漢詩の墨書と生け花の共演で日本間のような伝統的芸術空間を再現しました。

D. 新潟市水族館「マリニピア日本海」(朱鷺メッセからタクシーで15分)

約450種類2万点の水生生物を展示する日本海側有数の水族館。一番人気の「イルカショー」はイルカたちが、ダイナミックなジャンプを披露。ラッコやトドに餌を与える給餌タイムも見逃しません。

E. 新潟県立万代島美術館 (朱鷺メッセ5階)

ますます多様化していく「現代の美術」における新しい価値を積極的に発信し、チャレンジする美術館として2003年7月にオープンしました。環日本海のゲートウェイ新潟の新しいシンボルとして、また芸術文化の新たな拠点として大きな役割を果たしています。
※ 5月12・13日休館

F. 新潟伊勢丹7階アートホール (5-E)

5月8日から13日まで「新潟市いけばな芸術展」開催中。市内22流派によるいけばなの展覧会です。「伝統花」、「現代花」、「近未来花」、「新潟の情景」というテーマ構成になっており、いけばなの歴史と花の新潟をアピールします。

① G8労相会合展

(関連項目：P.62)

① 実施主体

協議会

② 日時

平成20年5月14日(水)～18日(日) 9:30～18:30 (最終日は17:00まで)

③ 場所

朱鷺メッセ2階アトリウム及びエスプラナード

④ 目的

- ア 各国・機関代表らが見学した産業展示などを公開することにより、会合の一端を感じ取ってもらう。
- イ 本県初の閣僚級国際会議開催の経験を伝え、新潟の有する高度な都市機能や拠点性等を再認識してもらう。

⑤ 展示内容

- ア 会合時の装飾・展示のうち、実演ステージ、錦鯉PR及び装花の一部を除いたもの
- イ 会合概要紹介パネル(A2サイズ6枚)(17日～)

⑥ 実施体制

- | | |
|---------------|----------------|
| ア 説明及び展示品管理 | イ 展示品警備 |
| ・協議会事務局2名 | 警備会社1名(夜間及び早朝) |
| ・新潟市各区2名 | |
| ・新潟県産業労働観光部2名 | |

⑦ 見学者

- 見学者数 約1,600名
- ・総合学習としての見学2校
- ・ウェルカムにいがた8区連携事業の作品づくりに関与した小学生、児童

② パネル写真展

① 実施主体

県

② 場所及び期間

- | | |
|---------------|--------------------------|
| ア 朱鷺メッセ4階ホワイエ | 平成20年7月15日(火) (協議会総会開催日) |
| イ 朱鷺メッセ31階展望室 | 平成20年7月16日(水)～22日(火) |



- ウ 県民会館1階展示コーナー 平成20年8月4日(月)～10日(日)
- エ 朱鷺メッセ2階アトリウム 平成20年8月19日(火)～25日(月)

③ 内容

会合の様子を紹介

- ア 写真パネル(A2サイズ)
- イ 会合日程、参加者などの解説(A1サイズ)

CHAPTER
4
第4章
参考資料
Reference resources

1 主議題

- 主議題 “Seeking the Best Balance for a Resilient and Sustainable Society”
「澁淵(はつらつ)とした持続可能な社会の実現に向けたベストバランスを求めて」
- ・副議題1 “Enabling Well-Balanced Lives in Harmony with Increased Longevity”
「長寿化と調和したバランスよい人生の実現」
- ・副議題2 “The Contribution of Labour Market and Employment Policies to Addressing the Needs of Vulnerable Workers and Areas”
「労働弱者・地域間格差に対する政策的寄与」
- ・副議題3 “The Contribution of the G8 Members to the Challenges to Global Sustainability”
「持続可能なグローバル社会への課題と G8 の貢献」

2 議長総括

① 原文

G8 Labour and Employment Ministers Meeting
Niigata, May 11-13, 2008
Chair's Conclusions

1. Labour and Employment Ministers from the G8 countries and the European Union Commissioner for Employment, Social Affairs and Equal Opportunities met in Niigata from May 11 to 13, 2008, together with the Director-General of the ILO and Secretary-General of the OECD, to discuss the theme “Seeking the Best Balance for a Resilient and Sustainable Society”. Labour Ministers from Indonesia and Thailand were invited as guests and were encouraged to share the results with their regional partner countries through the ASEAN and ASEM labour ministers’ meetings, over which they preside this year. In preparation for the meeting, consultations with representatives of the social partners were held on May 11.
2. Based on proposals from the chair country, Japan, reflecting the achievements of the Dresden Meeting in 2007, and considering linkage with other ministerial meetings, we, the G8 Labour and Employment Ministers, held discussions on the following three themes. We trust that our conclusions will strengthen the social dimension of globalisation focusing on increasing society’s resilience, sustainability and global balance.
 - Enabling Well-Balanced Lives in Harmony with Increased Longevity (individual level)
 - The Contribution of Labour Market and Employment Policies to Addressing the Needs of Vulnerable Workers and Areas (society level)
 - The Contribution of the G8 Members to the Challenges to Global Sustainability (global society level)
3. During our discussions, we agreed that our countries share significant challenges.

Addressing the social dimension of globalisation

 - Average income levels and living standards in the G8 countries remain high in this age of globalisation although the reduction of wages’ participation in National Income in some countries needs to be addressed. Therefore, we must continue to sustain the environment that has made these achievements possible, while also addressing the income disparities and the situation of those regions within our economies that have been unable to take advantage of the benefits of globalisation and therefore need our support.

Current economic situation and its impact on employment

- Sound macroeconomic growth and sound functioning of financial markets have impacts on good labour market prospects. The current economic slowdown and financial instability are matters of concern with regard to the possible negative impact on employment. Our governments have the

responsibility of working together to help restore conditions conducive to sustainable economic growth, strengthened labour market and employment policies, and social cohesion.

Ministers’ role toward sustainable economic growth and employment

- As Labour and Employment Ministers we have a specific responsibility to ensure the development and growth of a skilled and resilient workforce in our countries that is responsive to the needs of the global economy. We also recognise the importance of facilitating an inclusive labour market, combining security and flexibility, that promotes employment opportunities for workers and is responsive to their individual needs and circumstances.

Addressing these challenges

- We should address these challenges by promoting a society where individuals have flexibility and choice in the way they balance their work with their lives, taking into account increasing longevity.

4. Social partners, government and labour institutions have important roles to play. Corporate Social Responsibility can also contribute.

Enabling Well-Balanced Lives in Harmony with Increased Longevity

5. Increased life expectancy, rising beyond age 80 in some countries is having a major impact on labour markets and workers’ lives. In order to enable people to enjoy fulfilling lives and achieve their full human potential, employment and labour market policies should promote:
 - Better work-life balance
 - Safe and healthy working lives and secure post-working lives
 - Lifelong learning and career development

These measures should take account of the needs of individuals, employers and society as a whole and reflect the differing attitudes and practices with regard to retirement in each country.

6. We agreed that a range of employment and labour market policies and programmes are needed to achieve a good lifelong balance between work and private commitments. These include measures to:

Better work-life balance

 - promote appropriate diversity in forms of employment and in working arrangements in our respective countries appropriate to workers at each stage of life, through a package approach combining flexibility and adequate labour market security, as agreed in Dresden.

- help facilitate job mobility and transitions throughout the lifecycle.
- encourage family friendly policies and promote opportunities for voluntary flexible work arrangements, such as part-time work, flexible working hours, telecommuting as well as other alternative work arrangements, which may help to achieve a better work-life balance for both male and female workers at different stages of their careers.

Safe and healthy working lives and secure post-working lives

- improve compliance with occupational safety and health laws and regulations, and improve awareness and knowledge of job-related stress and other occupational health and safety issues. This is also beneficial for healthy post-working life.

Lifelong learning and career development

- in the context of a lifecycle approach, facilitate effective life-long employability and adaptability to change, including through career counselling opportunities, career development, skills upgrading and lifelong learning.

In developing the above measures particular attention should be paid to reducing barriers, especially gender-related, and providing equal opportunities for all workers.

The Contribution of Labour Market and Employment Policies to Addressing the Needs of Vulnerable Workers and Areas

- We agree that labour market and employment policies should support vulnerable workers and economic development in depressed areas. They also should ensure that individuals can fully participate in the labour market and thereby realise a resilient and sustainable society.
- Globalisation and technological change offer the world economy potential opportunities for more wealth, growth, employment and better lives for people. At the same time, they can entail disparities and adjustment difficulties in labour markets. This has resulted in dislocations and increased insecurity for a number of workers and slower or negative economic growth in some areas.
- It is important to promote local development and job creation by facilitating the effective use of local resources and policies to respond to local needs and circumstances. In doing so, it is also important to obtain active participation by not only national governments but also by local governments, authorities, social partners and other stakeholders, research bodies, venture capital firms, human resources development agencies and non-profit organisations.
- Governments working with the social partners and other stakeholders should create an environment and conditions that contribute to regional economic growth, high employment, and broadly-shared prosperity. Special efforts are needed to assist vulnerable groups to overcome obstacles in finding jobs.
- We highlight that active labour market policies, well-designed unemployment benefits systems and public employment services, as well as effective lifelong learning policies contribute to promoting participation in the labour market and to the removal of impediments in job seeking to promote activation, as endorsed in Dresden (2007) as well as in the restated OECD Jobs Strategy.
- In view of these considerations:
 - it is important for governments to strengthen labour market supply and demand matching through well-coordinated job placement, unemployment benefits and active labour market services, and maintain the system nationwide.

-we agree to work with local authorities/governments, social partners and other stakeholders to support local job creation initiatives. We also agree that public employment services and training agencies should offer appropriate support to job seekers and contribute to the better matching of supply and demand locally.

-we reaffirm the importance of ensuring human resources development opportunities for all, including effective skills development and training programmes that meet labour market needs. These include programmes that (i) integrate vulnerable groups into skills development systems, (ii) improve assessment systems of occupational skills, and (iii) further upgrade career counselling functions and career education to support individual career development.

The Contribution of the G8 Members to the Challenges to Global Sustainability

- Recognising our membership in the global society, we declare our intent to contribute to addressing employment and social challenges arising from environmental concerns and issues in order to realise a resilient and sustainable society. It is not only to enrich our own countries but also to promote a more harmonious global society. In view of this, the G8 countries should share experiences and promote dialogue on these challenges with developing countries and emerging economies inter alia through appropriate international fora.
- We highlight that sustainable society is based on the three interdependent and mutually reinforcing pillars of economic development, social development, and environmental protection. We recognise the need to better analyse and address the global challenges. We are ready to contribute to this.
- We agree that the following policies and programs can help address the employment and social challenges related to environmental concerns, in particular climate change:
 - assessing possible impacts of environmental change and policy responses on labour markets.
 - helping displaced workers from affected industries make a transition to new jobs.
 - encouraging skills development that responds to environmentally-friendly innovations and industrial changes.
 - promoting environmentally-friendly ways of working by adjusting to new patterns of natural resource use and conservation in workplaces.

Our hosts set a good example by making significant efforts to hold this meeting in an environmentally-friendly manner.

Such policies and programs will benefit from cooperation with social partners and other stakeholders.

We note the interesting and potentially valuable work of the ILO in its Green Jobs Initiative, which proposes a coherent, tripartite way of addressing these challenges.
- We confirm our intent to promote Decent Work for all and the social dimension of globalisation. We recall the importance of social protection in combating poverty and promoting economic and social development. In this context we confirm the agreements in Dresden and Heiligendamm on broadening and strengthening social protection and we take note of the ILO initiatives to promote basic social security systems in developing countries and emerging economies.
- We recognise that Governments, employers and workers should work together to achieve a coherent balance of growth, employment, productivity and concern for the environment. Social dialogue and cooperation beginning at the workplace makes an important contribution to achieving this goal. Promoting these activities is our "Niigata Global-Balance Principle."

Contribution to G8 Hokkaido Toyako Summit and the Next Steps

- We ask the G8 heads of state and government to recognise the importance of realising a resilient and sustainable society by:
 - enabling well-balanced lives in harmony with increased longevity,
 - addressing the needs of vulnerable workers and areas,
 - promoting the Niigata Global-Balance Principle.
- We welcome the offer of the Italian Government to host the next G8 Labour and Employment Ministers Meeting in 2009, and their offer to consider possible follow-up.

② 仮訳

G8労働大臣会合 新潟、2008年5月11-13日 議長総括

- 2008年5月11日から13日に、G8各国労働・雇用大臣及びEU雇用・社会問題・機会均等担当委員は、ILO事務局長及びOECD事務局長とともに新潟にて会合を開き、「予測とした持続可能な社会の実現に向けたベストバランスを求めて」をテーマとして議論を行った。当会合にはインドネシア労働・移住大臣とタイ労働大臣がゲストとして招待され、今年両国がそれぞれ議長を務めるASEAN労働大臣会合とASEM労働・雇用大臣会合の場で、各加盟国との間で当会合の成果を共有するよう促された。なお、5月11日には本会合に先立ち、各国大臣とソーシャルパートナーの代表者との協議が行われた。
- 議長国日本の提案に基づき、2007年のドレスデン会合の成果を踏まえ、他の関係大臣会合との関わりについても考慮しながら、我々G8労働・雇用大臣は、次の3つのテーマについて議論を行った。我々は、その結論が、社会の混迷さ、持続可能性及び地球規模でのバランスに重点を置いた、グローバル化の社会的側面を強化するものであると確信する。
 - 長寿化と調和したバランスよい人生の実現(個人レベル)
 - 労働弱者・地域間格差に対する政策的寄与(社会レベル)
 - 持続可能なグローバル社会への課題とG8の貢献(グローバル社会レベル)
- 議論の中で、G8各国が以下の重要な課題を共有していることに合意した。**グローバル化の社会的側面への対応**
 - 昨今のグローバル化が進む時代において、G8各国の平均所得や生活の水準は高水準を維持しているが、国民所得(NI)に占める賃金の割合が低下している国もあり、対応する必要がある。したがって、このような成果が得られることを可能にしてきた環境を今後とも維持すると同時に、所得格差や、グローバル化の恩恵を十分に享受できず、支援を必要としている地域の状況に対しても取り組まねばならない。

経済の現状と雇用への影響

- 堅固なマクロ経済の成長及び健全に機能した金融市場は、労働市場の見通しによい影響を与える。現在の経済成長の鈍化と金融の不安定性は、雇用へマイナスの影響を与えることが懸念される。各国政府は、持続的な経済成長、労働市場及び雇用政策の強化、社会的統合を推進する条件を改めて確保するための支援を連携して行う責任がある。

持続的な経済成長と雇用促進に向けた労働・雇用大臣の役割

- 労働・雇用大臣として、我々はグローバル化した経済のニーズに即応できる熟練・洗練とした労働力を育成するとともに、増加させることについて、明確な責任を有している。また、我々は労働者の雇用機会を促進し、個人々のニーズや状況に即応できる、安定性と柔軟性を併せもった包括的な労働市場の実現を推進することの重要性も認識している。

上記課題への取り組み

- 我々は、長寿化を考慮しつつ、個人々が仕事と生活のバランスをとるための柔軟性と選択性をもつ社会を推進することによって、こうした課題に対処すべきである。

4. ソーシャルパートナー、各国政府及び労働関係機関は、重要な役割を担っている。加えて、企業の社会的責任(CSR)も貢献の余地がある。

長寿化と調和したバランスよい人生の実現

- 平均寿命が伸び、国によっては80歳を超えていることは、労働市場及び労働者の人生に大きな影響をもつ。人々が充実した人生を送り、人間としての潜在能力を最大限に発揮できるようにするためには、雇用・労働市場政策は以下を推進していくべきである：
 - より良い仕事と生活のバランス
 - 安全で健康な勤労者生活と退職後の生活の安定
 - 生涯学習とキャリア形成

こうした施策の策定にあたっては、個人々、使用者及び社会全体のニーズを汲み取り、国ごとの選別の仕組み及び慣行の違いを反映させるべきである。

6. 我々は、各級の雇用・労働市場の政策及び取り組みが生産にわたる仕事と私的活動のよいバランスの達成に必要であることに合意した。これには以下の施策が含まれる：

より良い仕事と生活のバランス

- ドレスデンで合意された、柔軟性と適度な労働市場の安定性を結びつけた包括的なアプローチを通じ、人生の各段階にある労働者に適合した雇用形態と働き方について、それぞれの国において適切な多様化を推進する
- 職の移動可能性や生産にわたる転換の促進を支援する
- ファミリー・フレンドリー政策を奨励するとともに、パートタイム労働、柔軟な労働時間、テレワークその他の選択可能な働き方など、職業人生の様々な段階にある男女労働者がともにより良い仕事と生活のバランスを実現することに寄与する、自発的で柔軟な働き方の機会を推進する。

安全で健康な勤労者生活と退職後の生活の安定

- 労働安全衛生関係法令のコンプライアンスを改善させるとともに、職業に起因するストレスその他の労働安全衛生問題に係る認識及び知識を向上させる。これは、退職後の生活を健康に過ごすためにも有益である。

生涯学習とキャリア形成

- ライフサイクル・アプローチの観点から、キャリアコンサルティングの機会、キャリア形成、技能の向上、生涯学習などを通じて、生涯を通じた有効なエンプロイアビリティと変化への適応能力を促進する。

なお、これらの施策を推進する際には、様々な障壁、特に性に起因する障壁を取り除くとともに、全ての労働者に均等な機会を提供することにより向け注意を払うべきである。

労働弱者・地域間格差に対する政策的寄与

7. 我々は、労働市場・雇用政策を通じ、弱い立場にある労働者や停滞地域の経済発展を支援することに合意する。また、こうした政策は、個人々が労働市場に十分に参加できることを保障しなければならないものであり、ひいては、予測とした持続可能な社会の実現につながるものである。

8. グローバル化と技術革新は、より豊かになり、より大きく成長し、より多くの雇用を生む潜在的な機会を世界経済にもたらすとともに、人々の生活を一層向上させるものである。一方で、グローバル化と技術革新は労働市場における格差や適応困難を伴い得るものである。これらは、多くの労働者の混乱や不安定性の増大、一部の地域における経済の低成長や景気後退という結果をもたらした。

9. 地域資源の有効活用や地方のニーズや状況に対応した政策を促進することにより、地域の発展と雇用の創出を推進することが重要である。これらの取り組みの上では、中央政府のみならず、地方政府や関係行政機関、ソーシャルパートナーやその他の利害関係者、研究機関、ベンチャー・キャピタル、職業能力開発機関や非営利団体などの積極的な参加を得ることも重要である。

10. 政府は、ソーシャルパートナーやその他の利害関係者と協働しつつ、地域の経済成長、高い雇用水準の達成及び幅広く分かち合える繁栄の創出に貢献するよう、環境や条件の整備に取り掛かるべきである。弱い立場にある者が就業をするに当たっての障害を乗り越えられるように支援する特別な取り組みが必要である。

11. 我々は、積極的労働市場政策、適切に設計された失業給付制度、公共職業紹介機関並びに効果的な生涯学習が労働市場への参加を促し、就職を阻害している要因を取り除き、就労を推進することに寄与する、ということをごここで強調したい。これはドレスデン会合(2007年)やOECD新雇用戦略においても支持されていることに留意する。

12. 上記で考察したことを視野に入れた上で、我々は以下の各点を確認した：

- 政府は、職業紹介、失業給付と積極的労働市場政策を十分に統合することを進め、労働市場の供給調整機能を強化するとともに、これらの機能を果たす組織を全国ネットワークとして維持することが重要である。
- 我々は、地方政府・関係行政機関、ソーシャルパートナーやその他の利害関係者ととも地方主導の雇用創出計画を支援していくことに合意する。併せて、我々は、公共の職業紹介機関や職業訓練機関が就業希望者に適切な支援を提供しなければならないこと、また、地域の供給調整機能を強化することに貢献しなければならないことを合意する。
- 我々は、労働市場のニーズを満たす有効な技能開発や訓練プログラムなどを含めて、あらゆる人々に能力開発の機会を確実に提供する重要性を再確認した。この中には、(i) 能力開発システムへの弱者の組み込み、(ii) 職業能力評価システムの向上、(iii) 僅々人のキャリア形成を支援するキャリアコンサルティング機能や職業教育の更なる高度化を推進する施策が含まれる。

持続可能なグローバル社会への課題とG8の貢献

13. 我々は、グローバル社会の一員であることを認識しながら、測測とした持続可能な社会を実現するために、環境問題に起因する雇用上、社会上の課題への取り組みに貢献する意思を表明する。これは単に自国を富ませるのみならず、より調和のとれたグローバル社会を促進するものである。このような視点から、G8各国は、とりわけ適切な国際フォーラムを通じてこれらの課題について発展途上国や新興経済圏と経緯の共有や対話の促進をすべきである。

14. 我々は、持続可能な社会は経済的発展、社会的発展、環境保護という3本の独立した相互補強的な柱に立脚しているものであることを強調する。我々は、グローバルな課題に関する一層の分析と取り組みの必要性を認識する。我々はこれに貢献する用意がある。

15. 我々は、以下の政策やプログラムが環境問題、とりわけ気候変動に関係する雇用・社会的課題への取り組みの助けになるということに同意する：

- 環境変化や政策対応が労働市場に与える影響を評価すること、
- 影響を受けた産業から押し出された労働者の新しい仕事への移行を助けること、
- 環境にやさしい技術革新や産業変化に対応する技能向上を奨励すること、
- 職場における天然資源利用や節減の新しいパターンに適応した環境にやさしい働き方を促進すること。今回の議長国は、今次会合を環境にやさしい方法で開催するために努力することにより、よい事例を示した。

これらの政策とプログラムにはソーシャルパートナーやその他のステークホルダーとの協力が役に立つ。

我々は、ILOによるこれらの課題への整合的で三者構成の取り組みであるグリーン・ジョブ・イニシアティブによる、興味深く可能性を秘めた取り組みに留意する。

16. 我々は、全ての人のためのディーセント・ワークとグローバル化の社会的側面を促進する意図を確認する。我々は、貧困と闘い経済・社会発展を促進する上での社会的保護の重要性を再確認する。この文脈において、我々は、社会的保護を拡大・強化するドレスデンとハイリゲンダムにおける合意を確認し、発展途上国や新興経済圏において基礎的な社会保障制度を推進するILOの取り組みに留意する。

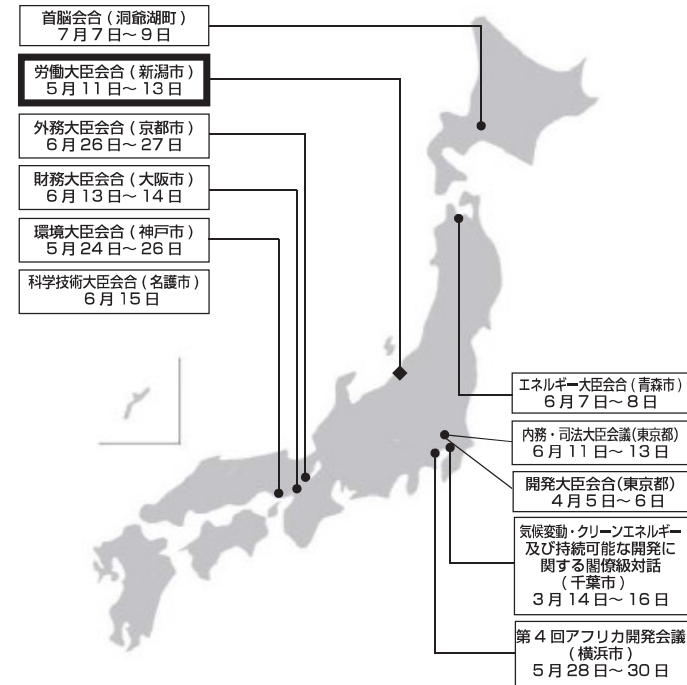
17. 政府、使用者、労働者は成長、雇用、生産性及び環境問題の相互のバランスをとるために協力する必要がある。職場レベルの社会対話、社会協力はこの目的に向けた重要な寄与となる。この活動を促進することが、我々の「新潟宣言」である。

北海道洞爺湖サミットへの貢献と今後の取り組み

18. 我々は、以下の事項の推進によって測測とした持続可能な社会を実現することの重要性を、G8首脳が認識するよう要請する：

- 長寿化と調和したバランスよい人生の実現
- 労働弱者、地域間格差への対応
- 新潟宣言の促進

19. 我々は、次回のG8労働大臣会合を2009年に主催し、フォローアップの可能性を検討するとのイタリア政府の申し出を歓迎する。



開催日	会議名	開催地
4月5日～6日	開発大臣会合	東京都
5月11日～13日	労働大臣会合	新潟市
5月24日～26日	環境大臣会合	神戸市
6月7日～8日	エネルギー大臣会合	青森市
6月11日～13日	内務・司法大臣会合	東京都
6月13日～14日	財務大臣会合	大阪市
6月15日	科学技術大臣会合	名護市
6月26日～27日	外務大臣会合	京都市
7月7日～9日	首脳会合	洞爺湖町
3月14日～16日	気候変動・クリーンエネルギー及び持続可能な開発に関する閣僚級対話	千葉市
5月28日～30日	第4回アフリカ開発会議	横浜市

① 代表団人数

各 国 ・ 機 関	人数
日 本	68
カ ナ ダ	5
フ ラ ン ス	4
ド イ ツ	8
イ タ リ ア	4
ロ シ ア	6
イ ギ リ ス	5
ア メ リ カ	9
E U	8
I L O	6
O E C D	3
イ ン ド ネ シ ア	9
タ イ	9
B I A C	10
T U A C	28
合 計	182名

② 報道関係者人数

日 本	213
日 本 以 外	3
合 計	216名

③ 地元関係者人数

泉田知事・篠田市長	2
協議会コアスタッフ（活動協力職員含む）	87
一般スタッフ（活動協力職員含む）	178
会場展示物出展者	29
支援ボランティア	38
歓迎行事スタッフ	213
日本文化鑑賞スタッフ	150
新潟県・新潟市主催レセプションスタッフ	68
その他	28
合 計	793名

① にいがた2008年サミット誘致推進協議会設立趣意書

2008年は、新潟・横浜・函館・神戸・長崎の開港が定められた「安政の5カ国条約」締結から150年にあたります。

開港以降、諸外国との交流が始まり、多くの人・文化・技術がこの港を経て、日本全国へ広がり、日本は急速な近代化を果たしました。その意味で、開港都市は「日本近代化の原点の地」と言えます。

2008年、この節目の年のサミットを、日本海側の玄関である新潟と、太平洋側の玄関である横浜の両岸開港都市で開催することは、日本近代化の意味を国民全体で共有し、振り返る絶好の機会になるとともに、主要国が、新たな国際関係の構築を、近代日本夜明けの地から、発信していくという深い意義を感じさせます。

開催地となる新潟市は、2007年4月、本州日本海側初の政令指定都市への移行をめざしており、その理念は「世界とともに育つ日本海政令市」です。

新潟は、かつて日本海が東西冷戦のフロントであった時代

においても、先駆的に対岸の各都市と独自の自治体外交を推進してきました。そしていまや、急速に成長を続ける東アジアの時代と向き合い、その持続的開発に貢献する環日本海の拠点都市です。

開港の条約締結から150年の時を刻む2008年サミットの開催は、次の150年のわが国の新たな歴史の出発となります。

そこには、太平洋側にもあまりにも偏ってしまった日本のあり方を見直し、日本海と太平洋の両岸地域のそれぞれが相応しい役割を果たしていく意味も同時にあります。

横浜市とともに、この節目のサミット開催を担い、中越大地震に際し、世界各地から多くの支援をいただいた新潟の復興も併せて世界に力強くアピールしたいと願っています。

よって、新潟市へのサミット誘致の実現を図るため、「にいがた2008年サミット誘致推進協議会」を設立することとし、趣意書といたします。

② にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会規約

- (名称)
第1条 本会は、にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会(以下「協議会」という。)と称する。
- (目的)
第2条 協議会は、2008年に新潟市で行なわれるG8労働大臣会合(以下「労相会合」という。)の成功を期するため、県民・市民とともに協力、支援を行うことを目的とする。
- (事業)
第3条 協議会は前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行なう。
(1) 労相会合に対する支援、協力及び労相会合受入れに向けた準備に関する事
(2) 関係団体及び機関との連絡調整等に関する事業
(3) 労相会合に関連した広報・啓発などに関する事
(4) 労相会合関連事業の企画及び実施に関する事
(5) その他他目的を達成するために必要な事業
- (組織)
第4条 協議会は、会長、副会長、監事、委員、最高顧問、特別顧問、顧問及び参与をもって構成する。
2 最高顧問、特別顧問、顧問及び参与は、会長が委嘱する。
3 委員が各団体の役職を離れたときは、その後任者が委員を務める。
4 会長が、協議会の構成委員に加えることが適当と認められた場合には、新たに加えることができる。
- (役員)
第5条 会長は、新潟市長をもって充てる。
2 副会長及び監事は、委員の中から選出する。
- (役員等の職務)
第6条 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
3 監事は、協議会の会計を監査する。
- (会議の種類)
第7条 協議会に総会を置く。
2 会長は、協議会の目的を推進するために必要であると認めるときはワーキンググループを置くことができる。
3 ワーキンググループの組織及び運営に関して必要な事項は会長が別に定める。
- (総会)
第8条 総会は、会長、副会長、監事及び委員をもって構成し、次に掲げる事項について審議し、議決する。
(1) 協議会活動に係る基本方針に関する事
(2) 事業計画及び予算、決算に関する事
(3) 規約の制定及び改廃に関する事
2 総会は、会長が必要に応じて召集し、開催する。
3 総会の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は、会長が決定する。
4 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。
- (事務局)
第9条 協議会の事務を処理するため、新潟市役所に事務局を置く。
- (雑則)
第10条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に關し必要な事項は別に会長が定める。
- 附 則
この規約は、平成19年6月4日から施行する。
- 附 則
この規約は、平成19年8月29日から施行する。

③ にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会名簿

(平成20年7月15日現在)

① 委員名簿

(順不同・敬称略)

役職	氏名	
最高顧問	新潟県知事	泉田 裕彦
特別顧問	新潟県議会議長	三林 碩郎
会長	新潟市長	篠田 昭
副会長	新潟市議会議長	田村 清
副会長	新潟商工会議所会頭	敦井 榮一
副会長	(株)新潟日報社代表取締役社長	高橋 道映
監事	(社)新潟青年会議所理事長	若山 良夫
監事	新潟市副市長	宮崎 敏春
委員	新潟労働局長	田村 智行
委員	北陸地方整備局新潟国道事務所長	森若 峰存
委員	新潟県副知事	森 邦雄
委員	新潟市副市長	和田 裕生
委員	新潟県市長会会長	森 民夫
委員	新潟県町村会会長	渡邊 廣吉
委員	新潟経済同友会代表幹事	佐藤 功
委員	(社)新潟県商工会議所連合会会頭	敦井 榮一
委員	日本労働組合総連合会新潟県連合会会長	江花 和郎
委員	新潟商工会議所会頭	馬場 欣一
委員	亀田商工会議所会頭	古泉 肇
委員	(社)東北経済連合会会長	幕田 圭一
委員	(社)新潟青年会議所理事長	小林 俊明
委員	(社)白根青年会議所理事長	川村 一茂
委員	(社)豊栄青年会議所理事長	斎藤 義浩
委員	上信越トライネット推進協議会会長	小林 一仁
委員	(財)新潟県国際交流協会理事長	中山 輝也
委員	(財)新潟市国際交流協会理事長	加藤 健一
委員	(社)新潟県観光協会会長	高橋 正
委員	(財)新潟観光コンベンション協会理事長	敦井 榮一
委員	国立大学法人新潟大学学長	下條 文武
委員	新潟国際情報大学学長	平山 征夫
委員	(社)日本ホテル協会信越支部 新潟市ホテル連絡協議会代表幹事	福井 良英
委員	(社)日本旅行業協会新潟地区会会長	神保 裕昭
委員	新潟市旅館協同組合理事長	篠田 孝
委員	新潟市ホテル旅館業連絡協議会会長	篠田 昭
委員	新潟空港整備推進協議会会長	泉田 裕彦
委員	(社)新潟港振興協会会長	篠田 昭
委員	新潟市ハイヤータクシー協会	高橋 良樹
委員	(社)新潟県トラック協会会長	友坂 勝
委員	東日本旅客鉄道(株)新潟支社長	高木 言芳
委員	新潟交通(株)代表取締役社長	金子 仁

役職	氏名	
委員	(社)新潟県銀行協会会長	小原 雅之
委員	毎日新聞新潟支局長	萩原 佳孝
委員	朝日新聞新潟総局長	久保田 正
委員	読売新聞新潟支局長	寺口 信二
委員	産経新聞新潟支局長	原 圭介
委員	日本経済新聞社新潟支局長	北川 和徳
委員	共同通信社新潟支局長	黒沢 恒雄
委員	時事通信社新潟支局長	田中 竹男
委員	日本放送協会新潟放送局長	江尻 直樹
委員	(株)新潟放送代表取締役社長	竹石 松次
委員	(株)新潟総合テレビ代表取締役会長	村山 稔
委員	(株)テレビ新潟放送網代表取締役社長	前川 磐郎
委員	(株)新潟テレビ21代表取締役社長	玉 知夫
委員	(株)ケーブルネット新潟代表取締役社長	鶴田 義人
委員	(株)エフエムラジオ新潟代表取締役社長	増村 勉
委員	新潟県民エフエム放送(株)代表取締役社長	中山 四郎治
委員	東北電力(株)上席執行役員新潟支店長	海輪 誠
委員	東日本電信電話(株)新潟支店長	井伊 基之
委員	新潟市異業種交流研究会協同組合理事長	片桐 豊
委員	新潟市医師会会長	大川 賢一
委員	新潟市歯科医師会会長	松川 公敏
参 与	信越総合通信局無線通信部長	丸尾 秀男
参 与	新潟海上保安部長	高橋 努
参 与	新潟県警察本部長	園田 一裕

② 顧問名簿

(五十音順・敬称略)

衆議院議員	稲葉 大和
衆議院議員	漆原 良夫
衆議院議員	菊田 真紀子
衆議院議員	近藤 基彦
衆議院議員	高鳥 修一
衆議院議員	筒井 信隆
衆議院議員	長島 忠美
衆議院議員	西村 智奈美
衆議院議員	吉田 六左エ門
衆議院議員	鷲尾 英一郎
参議院議員	風間 直樹
参議院議員	近藤 正道
参議院議員	佐藤 信秋
参議院議員	田中 直紀
参議院議員	塚田 一郎
参議院議員	水落 敏栄
参議院議員	森 ゆうこ
参議院議員	渡邊 秀央

④ にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会事務局規程

(目的)

第1条 この規程は、にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会(以下「協議会」という。)の事務について、にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会規約第10条の規程に基づき、必要な事項を定めるものとする。

(事務局の組織)

第2条 協議会規約第9条の規定に基づき、新潟市政策企画部に事務局を置く。

- 事務局に課を置く。
- 課にグループを置く。

4 課及びグループの名称及び分掌事務は別表1に掲げるとおりとする。

(事務局長等)

第3条 事務局に事務局長、次長、課長及び事務局員を置く。
2 グループを置く課にあってはグループリーダーを置くことができる。

(職務)

第4条 事務局長は、会長の命を受けて事務局の事務を掌理する。
2 次長は、事務局長を補佐し、別表1に掲げる事務を掌理する。
3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を掌理する。
4 グループリーダーは、上司の命を受けて、グループの事務を掌理する。
5 事務局員は、上司の命を受けて、担当業務に従事する。

(文書及び公印)

第5条 事務局で用いる帳票は別表2に掲げるとおりとする。
2 協議会の公印は、別表3のとおりとする。
3 前2項で掲げるもののほか、文書及び協議会の公印の管理、取り扱い並びに、保管にあたっては、新潟市文書規程、新潟市公印規則の例によるものとする。

(会計事務の処理)

第6条 協議会の会計事務は、事務局が処理する。
2 事務局長は、会計事務を総括する。
3 事務局職員(事務局長、次長、課長、グループリーダー及び事務局員をいう。)は、善良なる管理者の注意をもって、金銭その他会計に関する一切の財産を取り

扱わなければならない。

4 前3項で掲げるもののほか、会計事務にあたっては、新潟市財務規則及び新潟市旅費条例施行規則の例によるものとする。

(専決)

第7条 協議会の事務に関する専決事項は別表4に掲げるとおりとする。

(協議会への報告)

第8条 事務局は、協議会会計事務のうち特に重要な事項については、直近に開催される総会に報告しなければならない。

(その他)

第9条 前8条に定めるもののほか、事務局の運営に関しては、新潟市の条例、規則、規程の例によるものとする。ただし、これによりがたい場合は、事務局長が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年6月5日から施行する。
2 にいがた2008年サミット誘致推進協議会事務処理規程は、廃止する。

別表1(第2条第4項、第4条第2項関係)

次長	課	グループ
総務・開催支援担当	総務・開催支援課	総務グループ ① 総会の運営及び庶務に関すること ② 視察の受入れに関すること ③ 自治体、企業及びその他団体との連絡調整に関すること ④ 地元対応に関すること ⑤ 他の課及び他のグループの所管に属さない事項 開催支援グループ ① 宿泊に關すること ② 輸送体に関すること ③ 会場に關すること ④ 危機管理に關すること 企画グループ ① ボランティア及び支援要員並びに広報・PRに関する基本方針の作成に関すること ② 広報・事業グループとの連絡調整に関すること
広報・事業担当	広報・事業課	広報・事業グループ (広報担当) ① 広報・PRに関すること ② プレス対応に関すること (事業担当) ③ ボランティア及び支援要員の活用に関すること ④ 啓発及び歓迎行事に関すること ⑤ その他機運醸成に関すること

別表2(第5条第1項関係)

区 分	名 称	使 途
様式第1号	起案用紙	第5条第3項の規定により、新潟市文書規程第17条第3項及び第19条の例によるものとされたとき
様式第2号	経費執行用書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第28条第1項の例によるものとされたとき
様式第3号	支出命令書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第72条第1項の例によるものとされたとき
様式第4号	経費執行何兼支出命令書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第28条第1項及び第72条第1項の例によるものとされたとき
様式第5号	概算旅費請求書	第6条第4項の規定により、新潟市旅費条例施行規則第9条の例によるものとされたとき
様式第6号	支出予算・流用計算書・流用承認通知書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第30条の例によるものとされたとき
様式第7号	立替払費用償還請求書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第71条の例によるものとされたとき
様式第8号	経費執行何兼支出命令書(資金前送)	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第83条の例によるものとされたとき
様式第9号	調定書	第6条第4項の規定により、新潟市財務規則第48条の例によるものとされたとき

別表3(第5条第2項関係)

名 称	形 式	寸 法	書 体	寸 法
にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会会長之印		24mm 平方	篆書体	対外全般

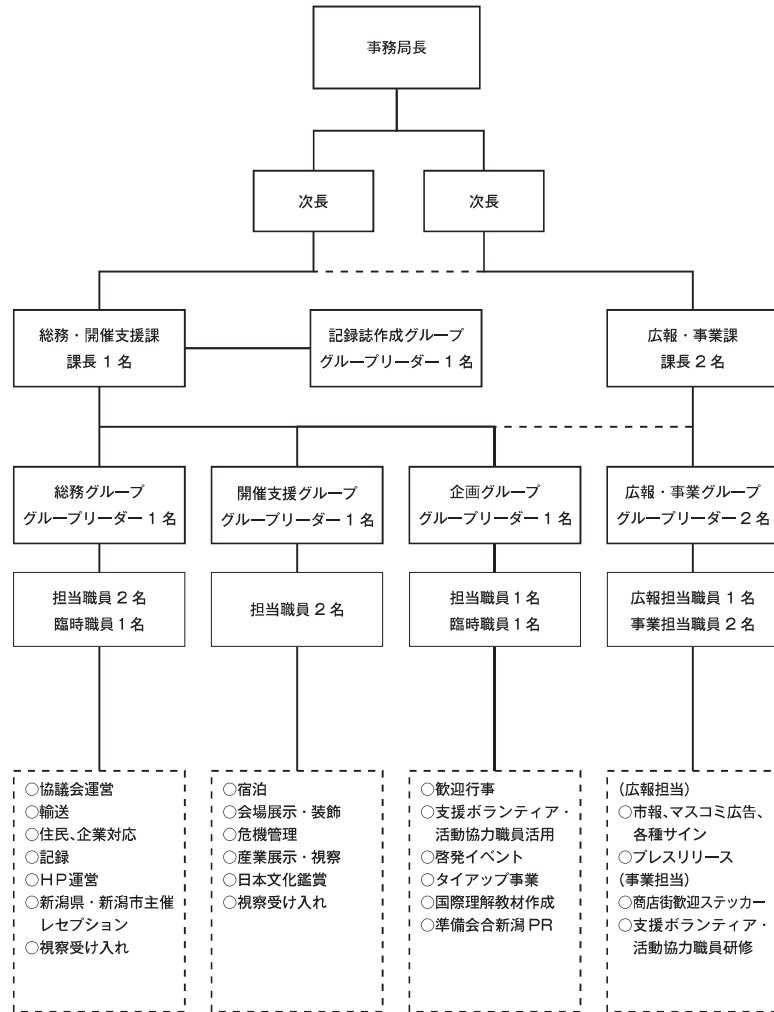
別表4(第7条関係)

項 目	事務局長	次長	課長
文書を作成し、発送すること	特に重要なもの※	重要なもの	軽易なもの
経費を執行すること(アからクに係るものを除く)	100万円以上	100万円未満	
ア 報償費	100万円以上	100万円未満	20万円未満
イ 消耗品費	100万円以上	100万円未満	20万円未満
ウ 燃料費			○
エ 食糧費	30万円以上	30万円未満	10万円未満
オ 印刷製本費(写真等の焼付及び用品に係るもの)			○
カ 役員費		○	15万円未満
キ 使用料及び賃借料	2,000万円未満	500万円未満	100万円未満
ク 備品購入費	2,000万円未満	1,000万円未満	20万円未満
収入をすること		○	
支出をすること			○

※総会に関すること

⑤ 事務局

① 体制 (平成20年4月1日現在)



② 人数の変遷

組織	にいがた2008年サミット誘致推進協議会						にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会						
	H18.5.12~		H18.11.1		H19.4.1		H19.5.15		H19.6.1		H19.7.1		
協議会職名	市		市		県		市		県		市		
事務局 部長	1	(1)	1	(1)			1	(1)			1	(1)	
次長	1	(1)	1	(1)			1	(1)			1	(1)	
課長	1	(1)	1	(1)			1		1		1		
課長補佐			4	(4)	4	(4)	2	(2)	2	(2)	3	(2)	
グループリーダー			1	(1)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	
担当	市政創造推進課が事務を担当												
	主査				2		1	1	1	1	1	1	1
	副主査	2	(2)	2	(2)	1		1	2	1	2	2	1
臨時職員	市協議会												
											1		
計	3 (3)		12 (10)		11 (10)		11 (5)		12 (5)		14 (5)		

()内は兼務職員の人数

2008年サミット推進課設置

組織	にいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会												
	H19.7.10		H19.10.1		H19.12.1		H20.1.6		H20.4.1		H20.8.1~		
協議会職名	市		県		市		県		市		市		
事務局 部長	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)			
次長	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)	1	(1)			
課長	1		1		1		1		1				
課長補佐	3	(2)	3	(2)	3	(2)	3	(2)	3	(2)			
グループリーダー	4	(3)	4	(3)	4	(3)	1	5	(3)	1	5	(3)	
担当	企画調整課が事務を担当												
	主査	4	(3)	1	3	(2)	1	3	(2)	1	4	(2)	1
	副主査	1		1	2	(1)	1	2	(1)	1		1	
臨時職員	市協議会												
	1		1		1		1		1		1		
計	19 (11)		20 (11)		21 (11)		22 (10)		22 (10)				

企画調整課に引継ぎ

2008年サミット推進課の他、秘書課、広報課及びシティプロモーション推進課の兼務職員により構成された。

⑥ 予算

① 誘致に係る経費

27,582,975 円 いがた 2008 年サミット誘致推進協議会

② 推進に係る経費(見込)

68,436,849 円 いがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会

平成 18 年度収支決算書

平成 18 年 5 月 16 日から平成 19 年 3 月 31 日まで

(1) 収入の部 単位:円

科目	当初予算額	補正額	予算現額	収入未済額	決算額	差引	主な内容
1 負担金	30,000,000		30,000,000		30,000,000	0	
							10,000,000 県負担金 20,000,000 市負担金
2 雑収入					1,560,204	1,560,204	
							1,325,000 バッジ販売収入 235,204 懇親会参加費、利息
収入合計(A)	30,000,000	0	30,000,000	0	31,560,204	1,560,204	

(2) 支出の部 単位:円

科目	当初予算額	補正額	流用額	予算現額	決算額	差引	主な内容
1 開催計画書策定費	14,000,000	△ 3,000,000	△ 205,000	10,795,000	7,461,065	3,333,935	
							6,162,286 開催計画提案関係費 1,298,779 横浜協議会共同事業費
2 事業費	3,400,000		△ 1,333,000	2,067,000	2,066,232	768	
							2,066,232 新潟フォーラム開催関係費
3 PR・広告宣伝費	10,700,000	3,000,000	1,538,000	15,238,000	15,237,556	444	
							1,092,531 懸垂幕・横断幕・バナー掲出 1,958,624 PR用パネル・看板・のぼり旗掲出 8,479,000 広告掲載、番組制作費 695,795 広報・PR物関係費 2,127,706 新潟・横浜合同イベント等開催関係費 361,200 サミットタグバッジ 522,700 横浜協議会共同事業費
4 事務費	1,900,000			1,900,000	1,414,446	485,554	
							627,001 協議会総会開催関係費 74,025 ホームページ管理費 713,420 その他事務費
支出合計(B)	30,000,000	0	0	30,000,000	26,179,299	3,820,701	
繰越額(A)-(B)					5,380,905		

平成 19 年度収支決算書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

(1) 収入の部 単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)-(A)	主な内容
1 負担金	48,000,000	48,000,000	0	
				16,000,000 県負担金 32,000,000 市負担金
2 雑収入	0	21,308	21,308	
				21,308 預金利息
3 繰越金	5,380,000	5,380,905	905	
				5,380,905 平成 18 年度繰越金
収入合計(A)	53,380,000	53,402,213	22,213	

(2) 支出の部 単位:円

科目	予算額(A)	決算額(B)	差額(A)-(B)	主な内容
1 開催支援事業	10,813,000	3,375,720	7,437,280	
				2,310,525 仮設国旗掲揚塔設置費
2 広報・PR事業	25,750,000	16,458,964	9,291,036	
				6,931,890 新聞広告、バナー設置関係費 1,308,143 ホームページ運営費 5,500,525 ジュニア労働サミット開催費 1,582,875 国際理解教材作成費
3 関連事業	5,000,000	2,078,580	2,921,420	
				1,615,005 記念品作成費
4 総務・渉外事業	11,817,000	6,799,261	5,017,739	
				1,451,070 視察受入れ関係費 1,403,676 誘致関係費(6/4まで)※ 3,944,515 協議会運営・総会開催関係費
支出合計(B)	53,380,000	28,712,525	24,667,475	
繰越額(A)-(B)				24,689,688

※印は誘致にかかる経費

平成 20 年度決算見込

平成 20 年 6 月 30 日現在

(1) 収入の部 単位:千円

科目	予算現額(A)	収入済額(B)	収入見込額(C)	決算見込額(D) (B)+(C)	差引 (D)-(A)	主な内容
1 負担金	43,000	43,000	0	43,000	0	
						15,000 県負担金 28,000 市負担金
2 雑収入	0	0	40	40	40	
						40 預金利息
3 繰越金	12,700	24,690	0	24,690	11,990	
						24,689 前年度からの繰越金
収入合計(A)	55,700	67,690	40	※ 1 67,730	12,030	

(2) 支出の部 単位:千円

科目	予算現額(A)	支出済額(B)	支出見込額(C)	決算見込額(D) (B)+(C)	差引 (A)-(D)	主な内容
1 開催支援事業	13,800	7,879	0	7,879	5,921	
						7,057 会場展示・装飾関係費
2 広報・PR事業	14,000	11,777	1,596	13,373	627	
						10,310 新聞、テレビ、ラジオ広告費 1,863 市民との協働事業経費
3 関連事業	12,700	12,336	0	12,336	364	
						5,762 歓迎行事開催関係費 2,616 日本文化鑑賞開催関係費 3,320 県・市主催レセプション開催関係費
4 総務・渉外事業	15,200	2,395	5,145	7,540	7,660	
						3,908 記録誌作成費 3,384 協議会総会開催関係費、その他事務費
支出合計(B)	55,700	34,387	6,741	※ 2 41,128	14,572	

決算見込差額
収入の部※ 1 67,730 千円 - 支出の部※ 2 41,128 千円 = 精算額(見込) 26,602 千円

なお、平成 20 年 7 月 15 日に行われた第 4 回総会で、最終決算額についての承認は役員に一任された。

7 協議会のあゆみ

年	月	会合に関連した政府動向など	いがた2008年サミット誘致推進協議会及びいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会の歩み	協議会構成員などの取り組み
平成18年	5月		16日 いがた2008年サミット誘致推進協議会設立総会	9日 G8サミット誘致記者発表(新潟県、新潟市、横浜市) 12日 いがた2008年サミット誘致推進本部設置(新潟市)
	6月		27～30日 2000年サミット開催地視察	
	7月		7日 政府への要望 19日 第2回いがた2008年サミット誘致推進協議会総会	
	8月		8月28日～9月2日 2005年、2006年サミット開催地視察	3日 政府への要望(社)東北経済連合会)
	9月			
	10月		7日 開港都市サミットの実現を! 新潟フォーラム	
	11月			14日 2008年開港都市サミット誘致議員連盟設立 21日 政府への要望(2008年開港都市サミット誘致議員連盟)
	12月	14日 外務省による立候補地への照会	27日 開催計画提案書の外務省への提示	11日 新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟市議会議員の会設立 22日 新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟県議会議員の会設立
	1月	17日 政府(外務省、財務省、警察庁及び海上保安庁)視察		15日 政府への要望活動(新潟・横浜サミット誘致実現を推進する新潟県議会議員の会)
	2月		15日 参議院国際問題に関する調査会への要望 25日 来県した安倍晋三内閣総理大臣への要望	
平成19年	3月		23日 第3回いがた2008年サミット誘致推進協議会総会	
	4月	23日 北海道での首脳会合開催決定		
	5月	11日 G8労働大臣会合の新潟開催決定 28日～29日 厚生労働省による新潟視察 29日 塩崎内閣官房長官による日程発表		11日 G8労働大臣閣僚会議警備準備室設置(新潟県警) 14日 サミット推進庁内連絡会議設置(新潟県) 15日 2008年サミット推進課及びサミット推進本部設置(新潟市)
	6月	1日 厚生労働省内にG8労働大臣会合開催準備室発足	4日 第4回いがた2008年サミット誘致推進協議会設立総会(兼第1回いがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会総会)	

年	月	会合に関連した政府動向など	いがた2008年サミット誘致推進協議会及びいがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会の歩み	協議会構成員などの取り組み
平成19年	7月	11～12日 G8労働大臣会合開催準備室による新潟視察		1～2日 前回会合開催地(ドイツ・ドレスデン)視察(新潟市) 31日 G8労働大臣閣僚会議警備準備室をG8労働大臣会議備対策室に改組(新潟県警)
	8月		4日 新潟まつりにサミットパレード隊が参加 29日 第2回いがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会総会	
	9月		18日 活動協力職員募集開始	
	10月		15日 支援ボランティア募集開始	
	11月		28～29日 大使館員等新潟視察会	12～13日 プレスツアー(新潟市)
	12月			
	1月			
	2月	8日 2008年G8労働大臣会合ロゴマークの決定 28～29日 G8労働大臣会合準備会合(千葉市)	2月18日～3月18日 大使、公使訪問の受け入れ 26～27日 G8労働大臣会合担当職員視察会	
	3月		27～28日 インドネシア大使館員視察の受け入れ 28日 ジュニア労働サミット	27日～28日 プレスツアー(新潟県)
	4月	21日 厚生労働省大臣官房松井総括審議官による新潟視察 21～23日 ILO研究会議:アジア太平洋グリーン・ジョブ会議(新潟市)		21日～5月2日 サミット給食(新潟市)
	5月	11～13日 G8労働大臣会合	14～18日 G8労相会合展	
	6月			
7月	31日 G8労働大臣会合開催準備室解散	15日 第4回いがた2008年サミット労働大臣会合推進協議会総会	16～22日 朱碧メッセでのパネル写真展(新潟県) 31日 2008年サミット推進課廃止(新潟市)	

データ提供元
写真提供：厚生労働省
気象情報提供：新潟地方気象台
121、185 ページ図面：新潟市発行 1 万分の 1 地形図を基図として作成

にいがた 2008 G8 労働大臣会合開催の記録

平成二十年九月

発行・編集 | にいがた 2008 年サミット労働大臣会合推進協議会

印刷・製本 | 小野塚印刷株式会社

本書掲載の記事・写真・図版などの無断転載・複製を禁じます